

平成27年度 生涯学習関連事業 所管課事業評価シート

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
1	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	中学校社会科学習資料「わたしたちの生活と税金」の発行	中学生の税に対する理解を深める。	「わたしたちの生活と税金」発行部数:6,000部 「研究授業」開催回数:1回	本事業は、市内中学3年生に対し、税に対する理解を深めるために学習資料を作成し、授業を行うことから具体的な数値目標はそぐわない。	中学生の税に対する理解を深める。	A	市内全ての中学3年生を対象に配布し、研究授業を実施することで、中学生の租税教育に係る指導方法の向上に寄与した。	全市域	子ども	実行委員会		260	継続		312	税制課(八王子市中学生租税教育研究委員会)
2	1-①	びと生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	浅川ガサガサ探検隊	子どもたちに浅川の自然と川遊びの楽しさを知ってもらうことで身近な環境を大切に思う気持ちを醸成する。	台風の影響により中止。	参加者の満足度	アンケートを実施し、満足度を測る。	D	開催に至らなかったため、評価できない。	本庁	子ども	実行委員会		-	継続		46	水再生課(八王子浅川水辺の楽校運営協議会)
3	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	キッズパトロール隊防犯教室	児童の防犯意識の高揚	日頃大人が行っている地域のパトロールを体験。青色パトロールカーに乗車して行う広報体験や、特殊詐欺被害防止を呼びかけるチラシ等を配布する啓発活動をした。	参加者の満足度	参加者に対しアンケートを実施し、「楽しかった」「またやりたい」という回答が半数以上となる事を目指す。	A	防犯に関する知識を学び、広報体験や、啓発活動等体を動かして、体験することで、児童及び生徒の防犯意識を高めることができたため。	由木	子ども	その他	警察署・母の会とのタイアップ	0	継続		3	防犯課
4	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み親子施設見学会	公募市民(小学生とその保護者)対象の施設見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	市内の公共施設や大学、企業などをバスでめぐり見学する。全2回(7/28・30)実施し、参加者は各回20名。	参加者の満足度	施設見学会への満足度や市政への関心を高めること。市民参加のきっかけ作り	B	平成26年度の募集の際に、小学校低学年の参加を求める意見があり、平成27年度は意見を反映できたが、低学年と高学年で見学先の説明の方法を変えるなど工夫が必要であった。	全市域	小学生とその保護者	共催		0円	検討中	管財課で計上バス借り上げ費		広聴課
5	1-①	ど生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	母子家庭等就業・自立支援センター事業(就業支援講習会)	母子家庭の母及び父子家庭の父の自立を促進すること。	就労支援セミナー6回実施19名参加 パソコン講習会8回実施71名参加	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが90%以上とする。	A	満足度が、セミナーは94.7%、パソコン講習会は91.1%で目標を達成することができた。	全市域	ひとり親家庭の母又は父	委託		4,212	継続		6,600	子育て支援課
6	1-①	の生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み親子で学ぶ自転車教室	親子で交通安全ルールや安全な自転車の乗り方を学ぶことにより、交通事故の防止を図る。	8月23日、東浅川交通公園で、自転車シミュレータを利用した自転車の乗り方教室など交通安全体験イベントを開催したほか、ストライダー教室を子どもの集まるイベント会場で実施した。	応募者・参加者の人数	交通公園を利用し、親子で交通安全ルールや安全な自転車の乗り方を学ぶことのできるイベントを開催する。	B	雨の影響で参加者が少ないイベントもあったが、親子で楽しく交通ルール・マナーを学ぶ機会を設けることができた。	全市域	対象者制限なし	共催		-	継続		-	交通事業課
7	1-①	の生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	みんなEnjoyわくわくステージ	バンド活動や特技の向上のために自主的に練習している中高生年齢の子どもたちにその成果を披露する機会をつくる。	中学生・高校生が実行委員となり、事業の企画・準備、当日の運営を担うことで、自主性や社会性を育む。また、出演者とともにステージを作り上げることで達成感を得る。	参加者の満足度	実行委員及び出演者の事業参加の満足度90%以上	B	実行委員及び出演者アンケートで事業参加の満足度が100%であった。	全市域	子ども	市単独		71	継続		61	児童青少年課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
8	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども意見発表会	八王子市子どもすこやか宣言における「子どもの意見表明権」の機会を設け、子どもの参画を促す。	中学生・高校生が企画委員となり、「私たちが考える未来の八王子」をテーマに意見交換を重ね、市長・教育長に発言をする「子ども意見発表会」を開催した。	参加者の満足度	参加者が自身の考えを深め、意見を表明する。	B	中学1年～高校3年生まで15名の子どもたちが意見を発表した。高校3年生の子ども企画委員による「商店街の再生」について、事業実施後、子ども企画委員が八王子市商店会連合会の方々へ提案発表及び意見交換を実施した。	全市域	子ども	市単独		302	継続		296	児童青少年課
9	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	児童館まつり・児童館子どもシティ	子どもたちに遊びを通したミニ社会体験の場を提供し、協調性を学んでもらう機会とする。	食べ物、ゲーム、工作などの模擬店でお客さんとして遊んだり、模擬店で自分のやりたい仕事を探して体験をしたり、ミニ社会を体験できる。実際の商店街で模擬アルバイトをする企画事業もある。地域住民、学生等と協力し、「児童館まつり」及び「こどもシティ」を15回開催。8756名の参加があった。	協働事業の推進	子どもたちに社会性を身につける機会を提供するため、地域住民、学生等と協力し、児童館まつりを10回実施、こどもシティを5回開催。	B	子どもたちに社会性を身につける機会を提供できた。また、地域住民や学生等に協力してもらうことにより、知識や経験を伝える機会を提供できた。	全市域	子ども	実行委員会		815	継続		791	児童青少年課
10	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	オーケストラ・ワンダーランドへようこそ！	身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞し、こどもたちに感動体験を提供する。	東京交響楽団パートナーシップ事業。指揮者・山下一史氏と交響楽団によるクラシックコンサート。市立横山中学校吹奏楽部と共演あり。バックステージツアー、楽器紹介教室、指揮者体験コーナー等のプログラム実施。	参加者の満足度	演目の工夫やアウトリーチの充実	A	多摩・島しょ子ども体験塾日野市・八王子市共同事業として、市長会助成金と学園都市文化ふれあい財団の負担金で、質・参加者数ともに充実した事業を実施できたため。	本庁	市内小・中学生とその保護者	実行委員会		0	継続		0	子どものしあわせ課(学園都市文化ふれあい財団)
11	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	青少年講座	知的好奇心を刺激するとともに、人間関係のありかたを考えるきっかけづくりとする。	24講座を実施。延べ820名の参加。 【参考】26年度21講座延べ722名の参加	応募者・参加者の人数	小学生から大学生までを対象に、学校教育で体験できない学習機会を提供する。自主的な学習への足がかりとする。	B	前年度水準以上の参加者数があったため。 【参考】26年度延べ722名 27年度延べ820名	全市域	対象者制限なし	市単独		367	継続		387	学習支援課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
12	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども映画会	長期の休みに、親子で優良映画を鑑賞する機会を提供する。	夏休み：計4回上映 冬休み：計4回上映 春休み：計3回上映 計341名の参加 【参考】26年度 14回上映392名の参加 24年度730名 25年度425名 26年度392名 27年度341名	応募者・参加者の人数	長期の休みに、親子で優良映画(アニメ)を鑑賞する機会を提供する。	C	様々なテレビ放送や映像メディア等が普及し、家庭で容易にアニメを視聴できるようになってきたため、年々参加者が減少していると考えられる。また、映画を放映する16ミリフィルム映写機は、修繕部品の生産が終了しており、また、新規映写機の新産も行っていない。よって、現在残っている映写機が故障した時点でフィルムの放映はできなくなる。今後廃止も含め見直しを検討していく必要がある。	全市域	子ども	市単独	0	継続		0	学習支援課	
13	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	中学生ボランティア体験	社会奉仕としてのボランティアを体験することで社会の一員としての自覚と働くこと助け合うことの大切さを学習する。	研修を受け、本の配架・整架・カウンターなど様々な図書館業務の体験をする。 中学生 5名が参加	参加者の満足度	汚破損の本の修理や、利用者の方に気持ち良く利用していただくための図書館員の仕事を体験し、図書館でのマナーや本の扱いについて知ってもらう。	A	図書館業務はカウンターだけでなく、多くの内部での仕事があることを知ってもらえた。	本庁	中学生	市単独	0	継続		0	生涯学習センター 図書館	
14	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	南大沢文化会館バックステージツアー	劇場の楽しさを知ってもらうことにより、南大沢地区の文化を担う文化びとを育成し、来館者及び利用者の増加を図る。	児童たちに照明・音響設備等の操作を体験させたことに「おもしろかった(児童)」「子どもが喜んでいた(保護者)」等の意見が寄せられた。ツアー中は保護者からの質問も多く、大人にも関心の高い内容と思われる。	参加者の満足度	文化会館の認知度向上 会館職員の研修機会とする 将来のリピータの場につなげる	A	児童たちに照明・音響設備等の操作を体験させた。「舞台の裏側には色々な秘密があり、とても勉強になった。」(児童)「改めてバックステージが広いことがわかった。ピアノ発表会もここでやりたい!」(保護者)等の声が寄せられた。 今回のツアーから参加者からの関心が高いことがわかり、今後の利用につながる意見をふまえ次回につなげたい。	由木	小学生とその保護者	指定管理者	169	継続		177	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)	
15	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	北海道白糠町小学生交流事業	本市とゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し友情を育み親善を深める。	白糠町の小学生が八王子市を訪問。プログラムに八王子の伝統と最先端産業に触れる企画を取り入れ、体験活動を充実させた。	参加者の満足度	白糠町と本市の間で小学生同士の友情を育み、心豊かな子どもを育てる。またアンケートにて参加者全員が参加して良かったと回答する、交流を目指す。	A	アンケートの結果、参加者全員から交流事業に「参加して良かった」との回答を得た。様々なプログラムを通じて、子ども達の絆を深めることができた。	その他	子ども	委託	1,094	継続		1,507	生涯学習政策課	

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
16	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	青少年海外交流事業	海外の青少年と交流することで、国際理解と異文化を体験する機会を与え、スポーツや文化を通じて国際的視野を持った青少年を育成する。	台湾高雄市に16名の中学生を派遣。高雄市内2校の中学生と野球を介した交流を行い、また歴史博物館なども訪れ、台湾の歴史や文化について学習した。	参加者の満足度	スポーツ等の交流を通じ、青少年の国際的感覚を養う。	A	3泊4日の海外交流の中で、子どもたちは異文化を理解することの大切さを知り、また国際的視野を身に付けることがつながった。	市外	子ども	市単独		3,683	継続		5366 (図書館分含む)	生涯学習政策課
17	1-①	子どもが主体的に学ぶ力を育む	1日図書館員	小学生に社会体験の一環として、図書館業務を体験してもらう。	一般利用者への図書の貸出・返却、配架・整架などを体験してもらう。 参加者27名(4回実施)	応募者・参加者の人数	一回当たりの参加人数約7名	B	一回当たりの参加人数は、概ね目標に近い人数となった。	元八王子	子ども	市単独		0	継続		0	川口図書館
18	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	天気予報入門、浅川化石観察会などの科学講座	八王子の気象・地質などを知り、自然への興味を深める場を提供する。	北浅川河川敷のハチオウジソウの化石が発掘された場所でメタセコイア化石などの見学を行い、これらに関連する事項を学ぶ 27年度は、2回開催し、大人60名、子ども56名が参加した。	応募者・参加者の人数	八王子の気象・地質などを知り、自然への興味を深める場を提供する。	A	参加者に八王子の気象・地質に関する知識の提供・自然への興味を深める場の提供が出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
19	1-①	子どもが主体的に学ぶ力を育む	星空観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	プラネタリウムでの事前学習後に天体望遠鏡で月や惑星など、その日に見える天体を観望する 27年度は、6回開催し、大人394名、こども363名が参加した	応募者・参加者の人数	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	A	天体の観望などを通じ、多くの参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
20	1-①	子どもが主体的に学ぶ力を育む	夏休み天文講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	プラネタリウムで夏の星座や天文現象など夏休みにできる星の観察について解説 27年度は、2回開催し、大人84名、子ども73名が参加した	応募者・参加者の人数	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	A	天体の観望などを通じ、多くの参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
21	1-①	子どもが主体的に学ぶ力を育む	天文講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	プラネタリウムで星座や天文現象などを解説 27年度は4回開催し、大人100名、子ども177名が参加した	応募者・参加者の人数	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	A	プラネタリウムで星座などの解説を通じ、参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
22	1-①	子どもが主体的に学ぶ力を育む	コズミックカレッジ	実験や工作を行うことを通じて、宇宙に関する知識の普及、啓発を行う。	宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力を得て行う講座 27年度は、大人30名、子ども35名が参加した	応募者・参加者の人数	実験や工作を行うことを通じて、宇宙に関する知識の普及、啓発を行う。	A	参加者に、実験や工作を通じて、宇宙に関する科学知識の普及・啓発が出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
23	1-①	子どもが主体的に学ぶ力を育む	科学講演会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	特別展の開催に合わせて、八王子隕石についての講演会を開催した	応募者・参加者の人数	隕石や小惑星、太陽系に関する知識の普及、啓発を行う	B	参加者に八王子隕石に関する普及・啓発ができたため	全市域	対象者制限なし	市単独		21	継続		0	こども科学館
24	1-①	子どもが主体的に学ぶ力を育む	プラネタリウム番組の投影	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発(年4回番組入替有)	今夜の星空(生解説)とプラネタリウム番組の投影 平成27年度は、1016回投影し、大人23116人、子ども33867人が観覧した	応募者・参加者の人数	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発(年4回番組入替有)	A	こどもから大人まで、多くの方々に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独		8,856	継続		4,752	こども科学館

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合、内容は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
25	1-①	子どもの学力を育む体験	科学実験ショー	身近な科学的事象の体験を通じ、科学への興味を深める場を提供する。	身のまわりに見られる様々な科学的事象について実験。 平成27年度は、14日開催し、大人506名、子ども561名が参加した。	応募者・参加者の人数	身近な科学的事象の体験を通じ、科学への興味を深める場を提供する。	A	こどもから大人まで、多くの方々に科学的事象の実験を通じ、科学への興味を深める場が提供出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
26	1-①	子どもの学力を育む体験	フリー工作広場	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	身近な材料で自由に工作。 平成27年度は、34日開催し、大人761名、子ども945名が参加した。	応募者・参加者の人数	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	A	多くの参加者に、物を作る・触れるなどを体験する場が提供でき、科学の楽しさを伝えることが出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
27	1-①	子どもの学力を育む体験	かんたん工作室	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	身近な材料で自由に工作 平成27年度は、37日開催し、大人810名、子ども1095名が参加した。	応募者・参加者の人数	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	A	多くの参加者に、物を作る・触れるなどを体験する場が提供でき、科学の楽しさを伝えることが出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
28	1-①	子どもの学力を育む体験	屋間の天体観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	太陽黒点・プロミネンスや屋間でも観望可能な天体の観測 平成27年度は、2日開催し、大人169名、子ども221名が参加した。	応募者・参加者の人数	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	A	太陽などの天体を観望することを通じ、多くの参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
29	1-①	子どもの学力を育む体験	科学工作教室	物を作ることを実際に体験して、科学の楽しさを知る。	偏光板で作るトリックケースなどを製作 平成27年度は、8回開催し、大人75名、子ども83名が参加した。	応募者・参加者の人数	物を作ることを実際に体験して、科学の楽しさを知る。	A	多くの参加者に、物を作る・触れるなどを体験する場が提供でき、科学の楽しさを伝えることが出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
30	1-①	子どもの学力を育む体験	電子顕微鏡を活用した講座	電子顕微鏡により、様々なものを拡大して、その表面や構造を見ることが、物の形成や成り立ちを学ぶ。	電子顕微鏡という科学技術を用い、身の回りにある生物や材料を活用した講座 平成27年度は、1日開催し、大人15名、子ども18名が参加した。	応募者・参加者の人数	電子顕微鏡により、様々なものを拡大して、その表面や構造を見ることが、物の形成や成り立ちを学ぶ。	A	こどもたちに対して、電子顕微鏡と光学顕微鏡を用い、昆虫などの作りや形を理解させることが出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
31	1-②	家庭教育の支援	子育て 프로모ーション施設見学会	公募市民対象の施設見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	市内の公共施設や大学、企業などをバスでめぐり見学・体感する。 子育てプロモーション施設見学会(1回・参加者19名)	参加者の満足度	施設見学会への満足度や市政への関心を高めること及び市民参加のきっかけ作り。子どものしあわせ課と連携し、参加者自らが、子育て広報大使として子育てプロモーション(情報発信)を推進していく。	B	マイクロバスのため、応募者に対する定員が少ないという反省点があったが、参加者の満足度が高く、また参加したい旨の意見が多数あった。	全市域	未就学児とその保護者	共催		0円	検討中		管財課で計上バス借上げ費	広聴課
32	1-②	家庭教育の支援	初めてのほみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。 年12回164組345人	参加者の満足度	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	A	計画通り実施	本庁	乳幼児・保護者	市単独		29	継続		幼児歯科相談予算内	大横保健福祉センター
33	1-②	家庭教育の支援	こども歯科教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。 年12回100組211人	参加者の満足度	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	A	計画通り実施	本庁	乳幼児・保護者	市単独		6	継続		幼児歯科相談予算内	大横保健福祉センター
34	1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。 年5回22組48人	参加者の満足度	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	A	計画通り実施	本庁	乳幼児・保護者	市単独		0	継続		幼児歯科相談予算内	大横保健福祉センター

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
35	1-②	家庭教育の支援	ブレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	平日1回休日1回開催。合計32人参加。 平日は母のみ、休日は父も調理に参加しルーからカレーを作る。とりわけ離乳食のデモが好評。	参加者の満足度	妊娠期・授乳期の食生活の見直し、効果的な栄養摂取について理解し、参加者同士の交流を図る。	A	計画通り実施	本庁	成人(妊婦・パートナー)	市単独		64	継続		84	大横保健福祉センター
36	1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促すとともに妊婦自身の歯科保健意識や健康観の向上を図り、あわせて家族の健康観の確立に努める。	口腔内健康診査、講話、歯みがき実習、保健指導、相談。 年12回66人	参加者の満足度	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促すとともに妊婦自身の歯科保健意識や健康観の向上を図り、あわせて家族の健康観の確立に努める。	B	計画通り実施	本庁	成人(妊婦)	市単独		125	継続		妊婦健康診査予算内	大横保健福祉センター
37	1-②	家庭教育の支援	マタニティフェスタ	医師の講話や抱っこ体験、視聴覚教材に触れ楽しみながら、ゆったりした時間を過ごすこととおなかの赤ちゃんに対する愛おしさや親になることへの肯定感を養う。また妊婦だけではなく、広く関心のある方、関係機関に参加を呼び掛けることで子育てしやすい地域づくりの機会となる。	開催に先立ってミニコンサートを実施しリラクセスした後、産婦人科医の講話や図書館による読み聞かせ、希望者には妊婦体験や呼吸法、沐浴の見学と進めた 38人参加	参加者の満足度	安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援していくことを目的にポピュレーションアプローチとして実施	B	計画通り実施	本庁	対象者制限なし	市単独		69	休止			大横保健福祉センター
38	1-②	家庭教育の支援	パパママクラス(平日・休日)	妊娠・出産・育児について講話・実習・グループワークを実施し、母親・父親の役割について夫婦で考える機会となり、不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	平日開催5回休日開催3回 273人参加 特に妊婦体験や沐浴実習が好評で参加してよかったと9割以上の参加者がアンケートに記入あり	参加者の満足度	・妊娠期からの切れ目のない支援として開催 ・妊娠、出産育児についての知識の伝授と安心して出産にのぞみ、不安のない子育てに取り組む ・父親の育児参加の促進	B	計画通り実施	本庁	成人(妊婦・パートナー)	市単独		190	継続		299	大横保健福祉センター
39	1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	幼児期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	年2回開催。合計37人参加。 幼児食の調理の工夫や心理的発達に着目した講話。母同士の交流。 9割の方がアンケートにて満足と回答。	参加者の満足度	幼児期の食事や発達、調理等の工夫を理解できる。母同士の交流を通し、不安軽減を図る。	A	計画通り実施	本庁	乳幼児・保護者	市単独		15	継続		11	大横保健福祉センター
40	1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	年8回合計159人参加。 離乳食初期から後期にかけての講話。 母通しの交流。 9割の方がアンケートにて満足と回答。	参加者の満足度	離乳食の適切な情報、親の食事からの離乳食の展開を理解する。母通しの交流を通し不安軽減を図る。	A	計画通り実施	本庁	乳幼児・保護者	市単独		29	継続		41	大横保健福祉センター
41	1-②	家庭教育の支援	初めてのほみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	14回249人	参加者の満足度	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	A	第1子の保護者の参加が多く、むし歯予防についての知識を知ることができて良かったとの感想が多いため。	浅川	乳幼児	市単独			継続		0	東浅川保健福祉センター
42	1-②	家庭教育の支援	パパとママの仕上げ磨き教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	12回166人	参加者の満足度	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	A	みがき方を実際に指導することでみがき方が分かったとの感想が多いため。	浅川	乳幼児	市単独			継続		0	東浅川保健福祉センター
43	1-②	家庭教育の支援	パパママ講座 栄養・歯科教室	妊娠期から子どもの歯と栄養に関する情報提供行い、出産後のむし歯予防、望ましい食習慣の意識づけを図る。	4回50人	応募者・参加者の人数	妊娠期から子どもの歯と栄養に関する情報提供行い、出産後のむし歯予防、望ましい食習慣の意識づけを図る。	B	家族全体の口腔ケア・食事について振り返る機会となった。	浅川	成人(妊婦・とパートナー)	市単独			継続			東浅川保健福祉センター
44	1-②	家庭教育の支援	リトミック	障害児の発達支援と保護者への子育て支援を図る。	18回×2コース(A・B) 12回×1コース(C) 計30回 参加者数439人	参加者の満足度	障害児の発達支援と保護者への子育て支援を図る。	B	各コース共に、参加者は楽しく参加され、保護者同士の交流の機会にもなった。	浅川	乳幼児・保護者(愛の手帳及び障害手帳を取得、それに準ずる)	市単独		277	継続		110	東浅川保健福祉センター

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
45	1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	6回 59人 (うち妊婦48人)	応募者・参加者の人数	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	B	健診や歯みがき指導は丁寧に行っているが、申し込み人数が少ない。	浅川	成人(妊婦)	市単独			継続		215	東浅川保健福祉センター
46	1-②	家庭教育の支援	マタニティフェスタ	親になることへの肯定感を養う。関係機関に参加を呼びかけ、子育てしやすい地域づくりの機会とする。	1回 27人	応募者・参加者の人数	親になることへの肯定感を養う。関係機関に参加を呼びかけ、子育てしやすい地域づくりの機会とする。	A	申込み制で受講できない方への受け皿にもなり、参加された方の満足度も高かった。	浅川	対象者制限なし	市単独			廃止・終了	パパママクラスの回数増設等充実を図ったことで、参加者が減少。事業見直し。新規事業「妊娠期支援事業」の開始に伴い、産婦人科医療機関と連携実施。		東浅川保健福祉センター
47	1-②	家庭教育の支援	パパママクラス	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	9回346人	参加者の満足度	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	A	講座全体について全員の方が満足。また各内容に対し、98%の方が満足度。	浅川	成人(妊婦・とパートナー)	市単独			継続			東浅川保健福祉センター
48	1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成の推進をし、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	2回59人	参加者の満足度	望ましい食生活形成の推進をし、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	B	親子で食生活を見直す機会となったとともに、他の受講者との交流の場となり情報交換ができた。	浅川	乳幼児	市単独			継続		11	東浅川保健福祉センター
49	1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	・離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。・知識の普及を図り不安や悩みの軽減を支援する。	8回235人	参加者の満足度	・離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。・知識の普及を図り不安や悩みの軽減を支援する。	A	グループワークを通して個々の不安や悩みに対応し、また受講者同士が情報交換できたことで不安や悩みの軽減につながった。	浅川	乳幼児	市単独			継続		21	東浅川保健福祉センター
50	1-②	家庭教育の支援	ブレママ料理教室	・妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。・交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る	年2回 37人参加	参加者の満足度	・妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。・交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る	A	アンケートの結果なお用の参考度が高かった。参加者同士の交流も見受けられた。	由木	妊婦及びその家族	市単独		84	継続		84	南大沢保健福祉センター
51	1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成の推進をし、適切な食習慣の基礎作りを図る。子育てする中での不安や悩みの軽減の支援をする。	年2回 41組参加	参加者の満足度	望ましい食生活形成の推進をし、適切な食習慣の基礎作りを図る。子育てする中での不安や悩みの軽減の支援をする。	A	アンケートの結果食生活の稲生氏の機会となった。また不安や悩みも解消されている。	由木	乳幼児	市単独		11	継続		11	南大沢保健福祉センター
52	1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。・知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	年10回 151組参加	参加者の満足度	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。・知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	A	アンケートの結果離乳食の進め方の理解は深まっている。また悩みも解消されている。	由木	乳幼児	市単独		41	継続		41	南大沢保健福祉センター
53	1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室(出張含む)	乳幼児の口腔の健全な発育発達を促す	年85回 1417人参加	応募者・参加者の人数	う蝕のある3歳児の削減	A	う蝕のある3歳児を削減できたH26年度12.1%→H27年度10.8%	由木	乳幼児	指定管理者	市民団体等と共に行うこともあり	131	継続		131	南大沢保健福祉センター

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
54	1~②	家庭教育の支援	マタニティフェスタ	胎児に対する愛おしさや親になることへの肯定感を養う。また妊婦だけではなく広く関心のある方を対象とし、子育てしやすい地域づくりの機会とする。	年1回 28人参加	参加者の満足度	胎児に対する愛おしさや親になることへの肯定感を養う。また妊婦だけではなく広く関心のある方を対象とし、子育てしやすい地域づくりの機会とする。	C	申し込み不要であるため参加者同士の交流の機会が希薄となり地域づくりまで至らなかった。	由木	対象者制限なし	市単独			廃止・終了	パパママクラスを増加させて妊婦さんが参加しやすいようスケジュールを立てたことにより廃止する		南大沢保健福祉センター
55	1~②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促すとともに妊婦自身の歯科保健意識や健康観の向上を図り、あわせて家族の健康観の確立に努める	年12回 58人参加	応募者・参加者の人数	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療(受診)により安全な出産をめざす	B	出産を控えた妊婦さんの口腔衛生を確認する機会を設けることができた。ただ就業している方への対応が今後の課題であると考え	由木	妊婦	市単独		454	継続		454	南大沢保健福祉センター
56	1~②	家庭教育の支援	パパママクラス (平日・休日)	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	年 10 回 344人参加	参加者の満足度	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	A	不安なく子育てに取り組めるよう、沐浴実習や妊婦体験ジャケットなどの体験コーナーは参加者の満足も高く好評だった。	由木	妊婦及びその家族	市単独		240	継続		240	南大沢保健福祉センター
57	1~②	家庭教育の支援	児童館幼児クラブ	乳幼児とその保護者に遊びと交流の機会を提供する。	おもちゃや遊具等で自由に遊び、親同士の交流の場を設定したり、体操、手遊び、紙芝居、工作などの活動をする。いもほり、クリスマス会などの季節の行事も行う。2219回の乳幼児活動を行い名の36669名の参加があった。	応募者・参加者の人数	子育て中の保護者の孤立感を解消し、仲間作りを促進する。	B	2219回の事業を実施し、36669名の参加があった。	全市域	乳幼児	市単独		4,796	継続		12,611	児童青少年課
58	1~②	家庭教育の支援	子育て講座	子育てに係る各分野の専門家による講演や遊びのプログラムの提供により、保護者が楽しく子育てできるように支援していく。	113回の子育て講座を開催、3361名の参加があった。	事業の拡大	乳幼児の保護者への子育て支援を目的として子育て講座の拡充を図る。	B	平成26年度と比較し、事業実施回数参加者数とともに増加した。	全市域	保護者	市単独		1,775	継続		4,242	児童青少年課
59	1~②	家庭教育の支援	のびのび子育て講座	地域の人材活用や子育て機関の協力により、子育ての不安や負担を軽減し、子育てを楽しむ時間を提供する。	のびのび子育て講座1,055回。 参加者延べ人数19,933人。	参加者の満足度	地域の人材活用や子育て機関の協力により、子育ての不安や負担を軽減し、子育てを楽しむ時間を提供する。	A	市民に対して様々な講座の提供を行うことができ、参加者にはおおむね満足していただいた。	全市域	保護者・乳幼児等	委託		225	継続		305	子ども家庭支援センター
60	1~②	家庭教育の支援	家庭教育自主グループ支援	子育てについて自主的に学んでいるグループへの活動支援	4グループに支援を行うとともに、市民向け公開講座を2講座開催。延べ41名の参加。 【参考】26年度4グループに支援	応募者・参加者の人数	子育てについて自主的に学んでいるグループへの活動支援	B	前年水準で支援することができたため。	本庁	有資格者等	市単独		21	継続		40	学習支援課
61	1~②	家庭教育の支援	子育て応援ひろば	子育ての中で生じる悩みを解消する。	5講座を実施。延べ279名の参加。 【参考】26年度5講座を実施。延べ381名の参加	応募者・参加者の人数	子育てのあり方等について学習することで、思春期の子どもへの理解を深め、親同士の人間関係を深めていく。	C	参加者数が減少したため。 【参考】5講座を実施。26年度延べ381名の参加	全市域	対象者制限なし	市単独		183	継続		181	学習支援課
62	1~②	家庭教育の支援	家庭教育講座	学習の中で親子のふれあいを持つ。	27講座を実施。延べ600名の参加。 【参考】26年度30講座を実施。延べ729名の参加。	応募者・参加者の人数	親子で参加できる講座を開催し、親子のふれあいの機会を提供することで良好な家庭環境作りに寄与する。	C	事業数、参加者数ともに減少したため。	全市域	保護者・子ども	市単独		255	継続		235	学習支援課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
63	1-②	家庭教育の支援	三歳児検診読み聞かせ	ブックスタートのフォローとして三歳児検診時にも読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	図書館職員・ボランティアで絵本等の読み聞かせを行う。 24回実施 1,501人が参加	協働事業の推進	ブックスタートに続き、保健福祉センターで行う三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	A	ブックスタートのフォローとして、効果的なタイミングである。親子で本を読む場を提供できている。	本庁	乳幼児・保護者	市単独		0	継続		0	生涯学習センター図書館
64	1-②	家庭教育の支援	ブックスタート	子育てに役立つ情報を伝え、親と子のふれあいのひと時を応援することにより乳児が健やかに育ち、その保護者が安心して子育てのできる環境づくりに寄与する。	保健福祉センターで行う乳幼児健康診査会場で、乳児に絵本を読みきかせ、絵本、わらべうたDVD等の入ったブックスタートバッグを贈る。 24回実施 1,195人が参加	協働事業の推進と親子ふれあいの啓蒙	絵本やわらべうたたをとおして親子のふれあいのひと時を応援し、乳児が健やかに育ち保護者が安心して子育てできる環境づくりに寄与する。	A	27年度では、バッグの上質化、DVD配付の再開ができ、ブックスタートバッグが充実した。	本庁	乳幼児・保護者	市単独		0	継続		0	生涯学習センター図書館
65	1-②	家庭教育の支援	三歳児健診読みきかせ	ブックスタートに続き三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	図書館職員・ボランティアで絵本等の読み聞かせを行う。	協働事業の推進	ブックスタートに続き三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	A	ブックスタートのフォローとして、効果的なタイミングである。親子で本を読む場を提供できている。	本庁	保護者・乳幼児	共催			継続		48	中央図書館
66	1-②	家庭教育の支援	ブックスタート	親子のふれあいのひと時を応援し、乳児が健やかに育ち保護者が安心して子育てできる環境づくりに寄与する。	保健福祉センターで行う乳幼児健康診査会場で、乳児に絵本を読みきかせ、絵本、わらべうたDVD等の入ったブックスタートバッグを贈る。	協働事業の推進	親子のふれあいのひと時を応援し、乳児が健やかに育ち保護者が安心して子育てできる環境づくりに寄与する。	A	27年度では、バッグの上質化、DVD配付の再開ができ、ブックスタートバッグが充実した。	本庁	保護者・乳幼児	共催			継続		4,669	中央図書館
67	1-②	家庭教育の支援	ブックスタート	親子のふれあいのひと時を応援し、乳児が健やかに育ち保護者が安心して子育てできる環境づくりに寄与する。	保健所で行う乳幼児健康診査会場で乳児に絵本、わらべ歌DVD、子育てに役立つ情報冊子等の入ったブックスタートバックを贈る。24回実施し、配布数は1,394個。	協働事業の推進	親子のふれあいのひと時を応援し、乳児が健やかに育ち、保護者が安心して子育てできる環境づくりに寄与する。	A	絵本と赤ちゃんを結びつけるきっかけづくりとなっている。	由木	乳幼児・保護者	市単独		0	継続		0	南大沢図書館
68	1-②	家庭教育の支援	三歳児健診読み聞かせ	ブックスタートに続き三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	図書館職員・ボランティアで絵本等の読み聞かせを行う。24回実施し、1,528名参加。	協働事業の推進	ブックスタートに続き三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	A	ブックスタートのフォローとして、効果的な啓発のタイミングであり、多くの方に参加していただいている。	由木	乳幼児・保護者	共催		0	継続		0	南大沢図書館
69	1-②	家庭教育の支援	パパママ支援ワークショップ 星とおひさま フィーカキャラバン	茶話会形式のワークショップにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭教育力の向上を図る。	年3回のワークショップを実施した。ワークショップ終了後も、参加者同士が連絡先の交換を行うなど、親同士が新たな繋がりを持つ機会となった。 南大沢：11名 山口：5名	参加者の満足度	27年度から開始した当事業を市民に広める。また、地域や保護者間で孤立する保護者の心理的負担を軽減する。	B	広報、チラシ、HP、Facebookなどで周知を図ったが、参加者が定員に満たなかった。	全市域	保護者	実行委員会		0	継続		730	生涯学習政策課
70	1-②	家庭教育の支援	リーフレット「八王子の家庭教育8か条」の配布	リーフレットを配布し、家庭内において社会のマナーや基本的な生活習慣等を見守る。生徒に身に付けさせる。	家庭教育への提言として重要なポイントについてまとめたリーフレット「みんなで育てよう はちおうじっ子」を、市立小・中学校、幼稚園、保育園を通じて各家庭に配布した。	事業の拡大	リーフレットを配布するとともに、関係所管と連携し、家庭教育の重要性について更なる周知を図る。	B	家庭教育8か条の配布を例年どおり行ったが、デザインや配布方法などの見直しが必要であるため。	全市域	保護者	市単独		106	継続		108	生涯学習政策課
71	1-③	学校教育活動の支援	「八王子の川と友だちになるノート」の発行	川での環境調査や生き物調査を行うためのフィールドノートとして活用してもらう。	5,050部発行。 冊子の内容を一部変更し、市内小学4年生を対象に配布。	参加者の満足度	内容のレベルアップおよび、満足度の向上。	B	内容に一部変更を加え、よりわかりやすいように改良した。また、学校関係者から内容についての評価をいただいたため。	全市域	子ども	市単独		448	継続		519	水再生課
72	1-③	学校教育活動の支援	教育フォーラム	教育に関するテーマでフォーラムを実施。市民が教育について学び、考える機会を提供する。	H27は開催せず、代替事業(学運協との意見交換会など)により今後の方向性を検討	参加者の満足度		D			対象者制限なし	市単独		0	休止		62	教育総務課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
73	1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験	中学生に社会体験の一環として、図書館業務を体験してもらう。	一般利用者への図書の貸出・返却、配架・整架、資料整理、閉架作業などを体験してもらう。 2校 5名参加	応募者・参加者の人数	一回当たりの参加人数約3名	B	一回当たりの参加人数は、ほぼ目標に近い人数となった。	元八王子	子ども	市単独		0	継続		0	川口図書館
74	1-③	学校教育活動の支援	地域小学校読書支援活動	小学生に読書の面白さを伝え、本に接する機会を増やす。	学校の授業の一環として、図書館の利用の仕方を教え、実際に本を借りてもらう。 各学年 年2回実施、延べ参加者数793名	応募者・参加者の人数	一回当たりの参加人数約35名	B	一回当たりの参加人数は、目標に若干届かなかったが、年2回 全学年の児童が参加し、学校の読書に対する取り組みを支援することができた。	元八王子	子ども	共催		0	継続		0	川口図書館 (近隣小学校と共催)
75	1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	図書館業務についての研修を受け、資料の貸出・返却業務やその他付随する仕事の体験をする。 参加校12校、34名が参加し、のべ27日間実施した。	応募者・参加者の人数及び参加者の習熟度	汚破損の本の修理や、利用者の方に気持ち良く利用していただくための図書館員の仕事を体験し、図書館でのマナーや本の扱いについて知ってもらう。	A	一回当たりの参加人数は、ほぼ目標に近い人数となり、図書館業務はカウンターだけでなく、多くの内部での仕事があることを知ってもらえた。	本庁	中学生	市単独		0	継続		0	生涯学習センター 図書館
76	1-③	学校教育活動の支援	学校図書館サポートセンターとの連携・支援	調べ学習・学級文庫用の資料の貸出を通し学校図書館の充実につなげていく。	学校へ、配送便(一部、直接受け取り)により、団体貸出を行う。	事業の拡大	調べ学習・学級文庫用の資料の貸出を通し学校図書館の充実につなげていく。	A	貸出資料をセット化してより利用し易くしたことにより学級文庫の利用が増えた。	全市域	学校	委託			継続		8,153	中央図書館
77	1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験の受け入れ	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	図書館業務についての研修を受け、資料の貸出・返却業務やその他付随する仕事の体験をする。	事業の拡大	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	A	体験を通じて、図書館がより身近な場所となり、チームワークの大切さや、見えない部分での努力等、働くことの意義を感じてもらえた。	本庁	子ども	市単独			継続		0	中央図書館
78	1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	図書館業務についての研修を受け、資料の貸出・返却業務やその他付随する仕事の体験をする。 参加校 6校、21名が参加。	応募者・参加者の人数	汚破損の本の修理や、利用者の方に気持ち良く利用していただくための図書館員の仕事を体験し、図書館でのマナーや本の扱いについて知ってもらう。	A	図書館業務はカウンターだけでなく、多くの内部での仕事があることを知ってもらえた。	由木	中学生	市単独		0	継続		0	南大沢図書館
79	1-③	学校教育活動の支援	あったかホール職場体験	館内施設スタッフの就業体験を通じて、働く事の意義や尊さを学び、社会性、協調性を養う場を提供する。	中学生の就業体験実績 (11校 52人)	応募者・参加者の人数	市内中学校に冊子等でPRして働くことの意義や尊さを学ぶ機会を提供し環境教育・学習の更なる充実を目指す。(数値目標を設定していない)	B	学校のニーズに基づく事前準備や調整についてほぼ予定通り実施できた。	北野	中学生、教職員	指定管理者		0	継続		0	北野清掃工場
80	1-③	学校教育活動の支援	東京交響楽団 アウトリーチ事業	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	小学校3校、中学校1校で実施し、1153名の参加であった。	参加者の満足度	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	目標を達成できたため。	全市域	子ども	補助		1,155	継続		1,000	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
81	1-③	学校教育活動の支援	職場訪問、職場体験、その他研修の受け入れ	職場訪問者などに、科学館の事業について普及し、訪問者の知識の向上を図る。	中学生の職場体験、職場訪問、大学生の博物館実習、インターンシップ。来館者案内、プラネタリウム操作などの仕事の体験、講座の補助などをおこなう。	応募者・参加者の人数	職場訪問者などに、科学館の事業について普及し、訪問者の知識の向上を図る。	A	科学館の実務を体験してもらうことができた。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事 業 名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担 当 課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実 績 (60字程度)	評価指標項目	目 標	所管課 事業評価	評 価 理 由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事 業】で「そ の他」を選 択した場 合は内容 を記入	決 算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向 性】で「廃止・終 了」を選択した 場合はその理 由を記入	予 算 (千円)	
82	1-④	活 地 か 域 す ・ 教 育 力 を	こどもエコク ラブ事務局	こどもたちの主体的な環 境の学習や実践活動を支 援する。	団体数:2団体 参加者数:76人	応募者・参加者 の人数	参加団体の増加	B	団体数、参加 人数がともに 昨年度より増 加したため	全市域	子ども	市単独		0	継続		0	環境政策課
83	1-④	活 地 か 域 す ・ 教 育 力 を	エコひろばで の環境講座	環境について感心を持っ きかけづくりとして環境 教育・環境学習の講座を 実施する。	講座数:98回 参加者数:6,364人	応募者・参加者 の人数	4,100人	A	目標を上回っ たため	全市域	対象者制限なし	委託		0	継続		0	環境政策課 (NPO法人環境活 動センター八王 子)
84	1-④	活 地 か 域 す ・ 教 育 力 を	エコひろばで の環境啓発 DVD等の貸 し出し	環境に関するDVD教材や 図書を貸し出しすること により、市民に情報提供す る。	図書の貸出:25件 DVDの貸出:4件	応募者・参加者 の人数	貸出件数の増加	C	貸し出し件数 が減少したた め	全市域	対象者制限なし	委託		0	継続		0	環境政策課 (NPO法人環境活 動センター八王 子)
85	1-④	地 域 か 域 す ・ 教 育 力 を 活	こども囲碁教 室	囲碁を通した世代間の交 流を図る。	20回138人	応募者・参加者 の人数	囲碁を通した世代間の交流 を図る。	B	数名の子供ち が毎回参加し ている。世代 間の交流をし ながら囲碁を 楽しんでいる。	浅川	対象者制限なし	市単独			継続		0	東浅川保健福祉 センター
86	1-④	地 域 す ・ 教 育 力 を 活 か	シニアボラン ティア子ども 将棋教室	市民と協働で技能を持つ 高齢者をシニアボランテ ィア講師として活用し、異 世代間の交流を促進する ことにより地域の活性化を 図る	初心者の小中生が、高齢 者の将棋サークル会員か ら将棋を学び、双方の交 流と将棋の普及を行う。	参加者の満足 度	市民と協働で技能を持つ 高齢者をシニアボランテ ィア講師として活用し、 異世代間の交流を促進 することにより地域の 活性化を図る	A	高齢者将棋 サークル会員 の健康の増 進と生きがい の高揚に効果 があり、異世 代間の交流に も十分効果が あった。	由木	子ども	共催		0	継続		0	南大沢保健福祉 センター
87	1-④	活 地 か 域 す ・ 教 育 力 を	子ども手作り 甲冑教室	甲冑づくりを通して八王 子城の歴史を学び、ふる さと八王子を愛する心 を育てる。	NPO法人八王子城跡三 ツ鱗会に甲冑作りの下 準備や講座当日の製作 指導などを委託し実施 した。参加者数32名 (32名定員【申込者 数54名】)	参加者の満足 度	アンケート回答者の7割 以上が講座内容につい て「良い」と回答。ま た、開催日数を3日か ら2日に削減し講座内 容の充実・効率化を図 る。	A	参加者の8割 以上の方が 「良い」と回 答。日数につ いても満足度 が高かったた め。	元八王子	親子	委託		70	継続		86	文化財課
88	1-④	地 域 の 教 育 力 を 活 か す ・ 高 め る	南大沢文化 会館ダンス ワークショッ プ	市内の小中学生を対象 にダンスの楽しさや素晴 らしさを感じてもらい、 将来の文化芸術に携わ る層の拡充を図る。	年間49回開催(土日) ジャンル別の設定 工学院大学でダンスサ ークルの学生等を講師 に依頼、大学との連携 をはかる。3月に成果 発表会を開催する。	参加者の満足 度	より専門的に各々の技 術を向上させることを HipHop、LockWaack、 Freestyleに分けレッ スンを行うことにより 高度な技術を習得す る。	A	ワークショップ の目標として、3月 に発表会を開催 東京工科大学のサ ークルともコラボを し、学生たちは練習 の成果を思う存分 発揮していた。当日 は1・2部合わせて 718名の方が来場し 、アンケートの結果 から9割以上から 「良い」評価を得た	由木	小中学生	指定管理者		1,774	継続		1,782	学園都市文化課 (学園都市文化ふ れあい財団)
89	1-④	地 域 の 教 育 力 を 活 か す ・ 高	放課後子ども 教室	平日の放課後や週末、 夏休み等に小学校内の 施設を活用し、地域の 人材、ボランティアの 参画を得て子どもた ちに安全で安心な居 場所を提供する。	地域や学校の協力を 得て59校で実施し、 子どもたちに安全で 安心して過ごせる放 課後の居場所を提 供できた。	事業の拡大	学校や地域の協力を 得ながら、全校で子 どもの安全安心な 居場所を提供する。	C	地域や学校の協 力を得ながら事 業を行い、未実 施校のうち3校 が新規開設とな ったが、目標の 9校には達しな かった。	全市域	子ども	委託		57,675	継続		104,544	生涯学習政策課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
90	1-④	地域の教育力を活かす・高める	夏休み科学体験	参加者は、物を作る事を通じ科学の楽しさを知り、スタッフ(中・高生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	児童館の科学体験の事業として共催。児童館利用者の中学生・高校生がスタッフとして参加し、講座を開催 平成27年度は、2日開催し、大人53名、子ども90名が参加した。	応募者・参加者の人数	参加者は、物を作る事を通じ科学の楽しさを知り、スタッフ(中・高生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	A	多くの参加者に、科学の楽しさを伝えられたこと、また学生スタッフも参加者に対する指導方法を学べたため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
91	1-④	地域の教育力を活かす・高める	親子化学実験教室・理科教室	参加者は、化学反応等を体験し、科学の楽しさを知り、スタッフ(学生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	首都大学東京の化学サークルの学生による講座 平成27年度は、2日開催し、大人93名、子ども168名が参加した。	応募者・参加者の人数	参加者は、化学反応等を体験し、科学の楽しさを知り、スタッフ(学生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	A	白衣を着て本格的な科学実験を体験する機会を提供することができた	全市域	対象者制限なし	共催			継続		20	こども科学館
92	2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費生活講座	食品、契約、金融学習など日常生活に関する講座や見学会を開催し消費者の啓発を図る。	・講座 計70名 5回 ・講演会 計87名1回 ・親子見学会(小学生5・6年生とその保護者が対象)1回(19組39名)	その他	市民のニーズにあったテーマを用いた講座等を実施する。	A	アンケート結果から講座参加者の満足度は高く、市民のニーズにあったテーマで講座等を実施できたため。	本庁	対象者制限なし	共催		22	継続		18	消費生活センター
93	2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費者力アップ講座	専門家による消費生活に関する講座を開催し消費者の啓発・育成を図る。	講座 計69名 5回	その他	市民のニーズにあったテーマを用いた講座等を実施する。	A	身近な消費生活に関するテーマで実施し、消費者力の向上と自立した消費者の育成を図ることができたため。	本庁	対象者制限なし	市単独		240	継続		240	消費生活センター
94	2-①	身近で多様な学習機会の充実	地球温暖化防止普及啓発イベント	地球温暖化問題について市民の意識や関心を高め、具体的な行動を起こすきっかけとする。	12月12日にオリンパスホール八王子にて気象予報士の平井信行氏による環境講演会及び映画「メアリーと秘密の王国」を上映。参加者数1,313名。	応募者・参加者の人数	参加者数1,500名。	B	参加者数は目標を下回ったが、多くの市民が参加し、地球温暖化防止の意識啓発・向上に繋げることができた。	本庁	対象者制限なし	委託		-	継続		-	環境政策課 (NPO法人環境活動センター八王子)
95	2-①	身近で多様な学習機会の充実	施設見学会	公募市民対象の施設見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	市内の公共施設や大学、企業などをバスでめぐり見学・体感する。 10月施設見学会(3回・参加者60名)	参加者の満足度	施設見学会への満足度や市政への関心を高めること及び市民参加のきっかけ作り。	B	参加者の満足度が高く、また参加したい旨の意見が多数あった。	全市域	どなたでも(18歳以上)	共催		0円	検討中		管財課で計上バス借り上げ費	広聴課
96	2-①	身近で多様な学習機会の充実	介護の日	介護についての理解と認識を深め、地域社会における支え合いの精神の効用と介護の日の周知を図る。	【内容】 「介護の日」のイベントで、講演を開催する。 【実績】 講演会来場者 140名	応募者・参加者の人数	170名	B	平成26年度より来場者数が減少したが、来場者からの評判は良かった。	本庁	対象者制限なし	市単独		157	継続		192	高齢者いきいき課
97	2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯の健康相談	歯周病予防等、口腔衛生についての総合的な相談に応じ、主体的健康づくりに取り組める様、支援する。	歯科衛生士による口腔に関する個別の相談および保健指導(予約制) 年6回14人	参加者の満足度	歯周病予防等、口腔衛生についての総合的な相談に応じ、主体的健康づくりに取り組める様、支援する。	B	計画通り実施	本庁	乳幼児・こども・成人	市単独		0	継続		成人健康相談内	大槓保健福祉センター
98	2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯の健康教室	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	歯科衛生士による歯周病教育、保健指導、相談。 年6回27人	参加者の満足度	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	A	計画通り実施	本庁	成人(50～70歳)	市単独		0	継続		成人健康教育内	大槓保健福祉センター

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
99	2-①	身近で多様な学習機会の充実	成人健康教室(保健・栄養)	食事・運動などの生活習慣改善について講話や実習を行い、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発する。	①糖尿病教室 3日 22人 ②高血圧教室 2日 19人 ③脂質異常症教室 2日 44人 ④糖尿病食事教室 2日 9人 ⑤高血圧・脂質フォロー教室 1日 10人 ⑥女性の健康講座 2日 42人	参加者の満足度	生活習慣病の正しい知識の普及。自らの健康状態を振り返り、改善のための生活行動を考える。生活習慣病の重症化を防ぐ。	B	計画通り実施できた	本庁	成人	市単独		91	継続		104	大横保健福祉センター
100	2-①	身近で多様な学習機会の充実	巡回健康教育・健康相談会	自分のからだの状態を知り、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発する。	7回183人	参加者の満足度	自分のからだの状態を知り、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発する。	B	保健福祉センターまでは来館されない方等、身近な場所での生活習慣病予防の普及啓発が出来た。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		75	東浅川保健福祉センター
101	2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯周病予防教室	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を啓発する。	3回10人	参加者の満足度	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を啓発する。	B	歯のみがき方がよくわかったとの感想が多いが、申し込み人数が少ない。	浅川	成人(50～75歳)	市単独			継続		22	東浅川保健福祉センター
102	2-①	身近で多様な学習機会の充実	成人健康教室(保健・栄養・歯科)	食事・運動などの生活習慣改善について講話や実習を行い、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発する。	開催回数 156回 述べ参加人数 5912人	参加者の満足度	食事・運動などの生活習慣改善について講話や実習を行い、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発する。	A	食事・運動などの生活習慣改善について講話や実習を行い、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発できた。	由木	成人	市単独		331	継続		331	南大沢保健福祉センター
103	2-①	身近で多様な学習機会の充実	交通安全教室	交通安全のルールやマナーの学習を行うことで、交通事故の防止を図る。	保育園、幼稚園、小学校、中学校での交通安全教室、高齢者サロンでの教育の実施、職員、一般市民を対象とした交通安全教育に加え、新たに大学での講話、自転車安全利用講習会を開催した。	応募者・参加者の人数	幼児から高齢者まで年齢に応じた交通安全教育を実施する。一般市民や自転車利用者を対象とした教育の充実を図る。	A	新たに、大学での交通安全講話や自転車安全利用講習会を開催し、幅広い年齢層を対象に交通安全教育を実施することができた。	全市域	対象者制限なし	共催		3,857	継続		4,681	交通事業課
104	2-①	身近で多様な学習機会の充実	体験学習・講座	体験学習・講座を開催し、歴史・文化の普及に努める。	「火おこしと土器づくり」、「火おこし」2回、「まゆ人形を作ろう」、「紙芝居の上演と見て歩き」2回、「八王子かるたとお正月遊び」、「織物で小物を作ろう」、「甲冑を着てみよう」、講座は「八王子空襲と戦時下の生活」を実施。	応募者・参加者の人数	参加人数300人	A	本事業を通じて歴史・文化に興味を深めてもらうことができ、目標参加人数を上回った。	本庁	対象者制限なし(火おこしと土器づくりのみ子ども限定)	市単独		51	継続		47	文化財課 (郷土資料館)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事 業 名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担 当 課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目 標	所管課 事業評価	評 価 理 由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「 そ 他 」を選 択した場 合は内容 を記入	決 算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向 性】で「 廃止・終 了 」を選 択した場 合はその理 由を記入	予 算 (千円)	
105	2-①	身近で多様な学習機会の充実	映画会	優れた映像文化を通じて、豊かな心をはぐくみ生活文化の向上を図る。	21日41回実施。延べ872名の参加。 【参考】24年度2677名 25年度1029名 26年度984名 27年度872名	応募者・参加者の人数	健全な劇映画・名作映画等多彩なジャンルの作品に触れることで豊かな情操を育む。	C	様々なテレビ放送や映像メディア等が普及し、家庭で容易にアニメを視聴できるようになってきたため、年々参加者が減少していると考えられる。また、映画を放映する16ミリフィルム映写機は、修繕部品の生産が終了しており、また、新規映写機の新産も行っていない。よって、現在残っている映写機が故障した時点でフィルムの放映はできなくなる。今後廃止も含め見直しを検討していく必要がある。	全市域	対象者制限なし	市単独	47	継続		19	学習支援課	
106	2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民自由講座	実生活に即した文化的教養を高める。	100講座実施。延べ8955名の参加。 【参考】26年度121講座を実施。延べ11,314名の参加	応募者・参加者の人数	生活文化の向上・多様な市民の学習意欲の充足に努め、学習機会を提供し、生涯学習活動の支援を図る。	C	市制100周年に向けて講座のメイン会場であるクリエイトホール5階ホールのリニューアル工事や視聴覚室の修繕工事を行ったため、一定期間講座を実施できず、実施回数、参加者ともに例年に比べ減ったため。	全市域	対象者制限なし	市単独	1,757	継続		2,105	学習支援課	
107	2-①	身近で多様な学習機会の充実	認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識の普及啓発を図る。	認知症サポーター養成講座開催数 218回 参加人数5,411人 (延べ)	応募者・参加者の人数	高齢者計画・第6期介護保険事業計画に基づき、平成29年度末までに養成者数述べ25,000人を目指して、積極的に講座を開催していく。	A	都内で最も多い養成数である。また、小学校や中学校、民間企業を対象として開催するなど、積極的に拡大している。	全市域	対象者制限なし	委託	578	継続		846	高齢者福祉課	
108	2-①	身近で多様な学習機会の充実	北野清掃工場施設見学	施設見学者を受入れ実施することで、可燃ごみ処理と余熱利用の方法と現状を理解してもらい、ごみの減量・分別の大切さを理解してもらう。	市内小学校見学者数 (30校 2,267人) 市内幼稚園見学者数 (2園 123人) その他 (12団体 247人 8校 768人	応募者・参加者の人数	工場の仕組みや環境問題や現状を小学生等に見学、説明することにより総合的学習の機会を更に提供していく。 (数値目標は設定していない)	B	工場見学の他収集車による収集体験や足湯(再生可能エネルギー)についても体験する機会を提供した。	北野	対象者制限なし	市単独	0	継続		0	北野清掃工場	
109	2-①	身近で多様な学習機会の充実	再生可能エネルギー(木質バイオマスボイラー・足湯併設)の普及啓発	木質バイオマスの活用を図り、再生可能エネルギーの普及促進及び環境啓発について市民の意識や関心を高める	足湯稼働日数(222日) 足湯利用者数(10,455人) 足湯営業日 (木・金・土・日曜日及び祝日)	応募者・参加者の人数	木質バイオマスの活用を図り、再生可能エネルギーの普及促進及び環境啓発について市民の意識や関心を高める	B	社会科見学時のツールとしても活用し平成24年度稼働から毎年度利用者数が増加しているため。	北野	対象者制限なし	市単独	1,494	継続		2,312	北野清掃工場	
110	2-①	身近で多様な学習機会の充実	あったかホール社会科見学	隣接する北野清掃工場のごみ焼却余熱を利用し館内設備に活用しているあったかホールの見学を実施することで、余熱利用を体感してもらう。	社会科見学者来館者数 小学校8校768人、他239人、計1,007人	応募者・参加者の人数	余熱エネルギーの館内活用に加え、館内各環境関連施設の見学、説明をすることにより、総合的学習の機会を更に提供していく。	B	環境関連施設が協働して社会科見学をすることにより子ども達や市民に施設の重要性について理解を得る。	北野	対象者制限なし	指定管理者	0	継続		0	北野清掃工場	

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
111	2-①	身近で多様な学習機会の充	北野環境教育・学習拠点づくり	環境教育・学習への市民参加の推進・環境啓発を目的に環境に関する各種講座・講師派遣、情報発信等市民との連帯を図る。(官民協働事業)	生き物を通じた自然環境の 出前講座実施(川・水の循環等) 北野環境施設周辺の環境整備(花壇やベンチの設置) 近隣町会、小学校との東放 射線アイロードへの花植栽。 各種イベント(環境フェスタ、 あったかホールまつり)での 環境啓発活動。	協働事業の推進	環境教育・学習への市民参加の推進・環境啓発を目的に環境に関する各種講座・講師派遣、情報発信等市民との連帯を図る。(官民協働事業)	B	北野地区に位置する環境関連施設を有効活用し環境教育・学習への市民参加(小中含む)情報提供や市民との連携事業も実施できた。	北野	対象者制限なし	共催		1,296	継続		743	北野清掃工場
112	2-①	身近で多様な学習機会の充	八王子学園都市大学(公開講座)	市民の生涯学習活動の向上を図る。	地域の大学等による、幅広い分野の講座の実施により、市民の生涯学習活動の向上を図る。63講座提供、3,301名受講。	応募者・参加者の人数	市民の生涯学習活動の向上を図る。	B	講座数、受講者数ともに昨年度の水準を維持したうえで、委託の基準目標値を達成した。	全市域	対象者制限なし	委託		一般講座とあわせて委託契約	継続		一般講座とあわせて委託契約	学園都市文化課
113	2-①	身近で多様な学習機会の充	八王子学園都市大学(一般講座)	市民の生涯学習活動の向上を図る。	地域の大学等による、幅広い分野の講座の実施により、市民の生涯学習活動の向上を図る。206講座提供、2,256名受講。	応募者・参加者の人数	市民の生涯学習活動の向上を図る。	B	講座数、受講者数ともに昨年度の水準を維持したうえで、委託の基準目標値を達成した。	全市域	成人	委託		60,653	継続		56,503	学園都市文化課
114	2-①	身近で多様な学習機会の充	初心者のための茶道教室	長い歴史を通して洗練され伝承してきた「茶道」の なお一層の普及を図る。	(4月～3月) 月2回各午前の部・午後の部(隔週/月2回)で開催。延べ608名参加。 講師は、文化連盟茶道連盟推薦の表千家・渡辺宗洋氏。	応募者・参加者の人数	参加者、各回15名	A	本格的な指導が気軽に廉価で受けられることから、各回の応募は活発でリピーターも多い人気事業となった。 例年、修了した受講生が自主的にサークルをつくり活動を行っている。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		838	継続		800	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団)
115	2-①	身近で多様な学習機会の充	初心者のための煎茶道教室	江戸時代から続いているが一般には浸透していない「煎茶道」の普及を図る。	(4月～3月) 月2回各午前の部・午後の部(隔週/月2回)で開催。延べ199名参加。 講師は、八王子煎茶道連盟推薦の静雪流・宮内宗高氏。	応募者・参加者の人数	参加者、各回15名	B	定員には達しなかったが、江戸時代より自由な表現形式として文人文化と深く関わりながら伝わってきた煎茶道について紹介することができた。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		695	継続		673	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団)
116	2-①	身近で多様な学習機会の充	合唱ワークショップ	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	4月から7月はモーツァルトのレクイエム合唱延べ3007名参加、新たに9月から12月にオフトレーニングを実施し延べ286名参加、1月から3月はヘンデルのメサイア合唱延べ1447名参加した。	参加者の満足度	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	集客が多く、新たな募集を見合わせる程の参加があったため。	本庁	対象者制限なし	補助		3,980	継続		4,130	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団)
117	2-①	身近で多様な学習機会の充	自然体験・自然観察会	旧稲荷山小学校の博物館機能の発展充実のため市民を対象とした自然観察会を行う。	里山の保全活動が行われている雑木林や湿地周辺で、動植物の野外観察を行った。 6月ホテル観察会 10月秋の観察会 2月冬の観察会	参加者の満足度	参加者アンケートの「参加して良かった」の回答が90%以上	A	応募者数は定員に満たなかった回があるものの、アンケート結果や当日の様子から、参加の満足度は高かったことが窺える。	浅川	小学生以上	実行委員会		4,000	継続		45	生涯学習政策課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
118	2-①	身近で多様な学習機 会の充実	はちおうじ出前講座	市民の生涯学習に対する支援と意識の向上を図り、市政に対する理解を深める。	市民で構成するグループ、団体が主催する学習会等に市の職員等を講師として派遣し、担当所管の事業等についての講義を行い、市民の生涯学習活動への支援や市政への理解を深める。	応募者・参加者の人数	市民の生涯学習の推進に寄与し、出前講座の利用者が300,000人に達することを目標とする。	B	平成26年度利用者279,800人→平成27年度291,914人 目標値には達しなかったものの、利用者は4.3%増したため。	全市域	対象者制限なし	共催		0	継続		0	生涯学習政策課
119	2-②	読書のまち八王子の推進	地区図書室・読み聞かせ等行事	地区図書室の活性化を図る。	読み聞かせ等行事の実施 26年度109回延べ4,450名 27年度103回延べ3,979名	応募者・参加者の人数	読書活動の活性化と地域住民の交流を図るため、市民参加により市民センター等17施設で地区図書室を運営し、読み聞かせや各種工作等の行事を行う。	B	参加人数を増やそうと、工作等の行事をあわせて行うなど、工夫していたため。	全市域	子ども	補助		0	継続		地区図書室運営事業補助の中で実施	協働推進課 (各地域住民協議会)
120	2-②	読書のまち八王子の推進	図書館資料テーマ展示	図書館利用者に対し、有益な情報発信を行う。	毎月テーマを(歴史、健康等)を決め、そのテーマに沿った資料を展示コーナーに並べて紹介する。 年12回実施	指標を数値化できないため、未記入	市民の興味を引くテーマ展示を行う。	B	市民にとって関心の高い事柄や、季節にちなんだ資料をコーナーに集め、効果的に展示、提供することができた。	元八王子	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	川口図書館
121	2-②	読書のまち八王子の推進	読書感想文コンクール	読書による印象や感動を文章で表現し、感動をさらに深めるとともに、読書習慣を身に付ける。	応募期間8月26日～9月30日 応募作品 小学校低学年(1～3年)の部1038作品、同高学年(4～6年)の部1849作品、中学生の部1296作品、計4183作品	応募者・参加者の人数	応募作品数 3500点	A	応募作品数は、目標を大幅に上回り、応募学校数も2割以上増え、関心の高さが窺えた。	全市域	子ども	共催		0	継続		0	川口図書館 (東京八王子西ロータリークラブと共催、多文化共生推進課・市立小学校校長会・市立中学校校長会が協力)
122	2-②	読書のまち八王子の推進	おはなし会	子どもと保護者を対象に本に親しむ機会を与えるとともに、読書習慣の育成を図る。	絵本や紙芝居などの読み聞かせや、わらべうた・手遊びなどを行う。 12回実施、540名参加	応募者・参加者の人数	一回当たりの参加人数 約30名	A	一回当たりの参加人数は、目標を大きく超え、子どもたちが本に親しむきっかけづくりに、十分に貢献した。	元八王子	子ども	共催		0	継続		0	川口図書館 (八王子おはなしの会との共催)
123	2-②	読書のまち八王子の推進	図書館まつり	図書館の利用促進や「読書のまち八王子」の推進	図書・雑誌のリサイクル、講演会、朗読会、4館共通のテーマ展示を行ったほか、図書館を中心に活動しているボランティア団体の活動成果発表と来場者が体験できるワークショップの実施。	応募者・参加者の人数	多くの市民に本に親しみ、図書館に関心を持つ機会とするため、各種催しを実施し、図書館を利用する市民を増やしていくことを目標とする。	B	図書・雑誌のリサイクル、講演会、朗読会、4館共通のテーマ展示やボランティア団体と協働のワークショップを開催し、延べ2,000人を超える来場者があった。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		52	図書館4館
124	2-②	読書のまち八王子の推進	おはなし会	子どもを対象に、読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、お話しを楽しむさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	絵本や紙芝居などの読み聞かせを行った。 13回 302名が参加した。	参加者の満足度	読み聞かせ等のおはなし会や工作会を実施で、物語や本の楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	A	読書へのきっかけづくりの役割をはたしており、ボランティアの活動の場にもなった。	本庁	子ども	共催		0	継続		0	生涯学習センター 図書館
125	2-②	読書のまち八王子の推進	クリスマスおはなし会	児童と本・図書館が身近になる機会を設け、児童の読書推進と親子の触れ合う場を提供する。	クリスマスにちなんだ絵本やパネルシアターによるおはなし会とルースの工作会を行った。 20名の幼児・小学生が参加した。	参加者の満足度	読み聞かせや等のおはなし会や工作会を実施し、子どもたちの読書活動の推進を図る。	A	読書へのきっかけづくりの役割をはたしており、親子のふれあいに役立った。	本庁	子ども	市単独		0	継続		0	生涯学習センター 図書館

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
126	2-②	読書のまち八王子の推進	七夕行事の実施	児童と本・図書館が身近になるように、七夕行事を行う。	子どもたちの願い事を書いた短冊を、七夕飾りとともに笹に飾った。 参加枚数 236枚	応募者・参加者の人数	児童と本・図書館が身近になるように、七夕行事を行う。	A	短冊をつるした笹を飾ることにより、昨年を上回る利用者に楽しんでもらえた。年中行事を通して文化を知り、継承されていく一助となった。	本庁	子ども	市単独		0	継続		0	生涯学習センター図書館
127	2-②	読書のまち八王子の推進	図書・雑誌のリサイクル	所蔵期限の過ぎた雑誌資料を有効活用してもらうため、市民に提供する。	生涯学習フェスティバルに取り込む形で多くの市民の方に提供する。 配布冊数 4,842冊 来場者 702人	応募者・参加者の人数	より多くの人に図書・雑誌を提供するとともに、図書館に利用促進を促す。	A	昨年度の502人を上回る来場があり、配布数も昨年度を上回り、より多くの方に提供できた。	本庁	対象者制限なし	市単独			継続		0	生涯学習センター図書館
128	2-②	読書のまち八王子の推進	図書のテーマ展示(児童・一般)	図書館から様々な種類の図書を紹介し、図書に親しむ機会の提供	テーマを決めて、図書を表示・紹介し、いろいろな本の情報を発信する。季節や行事、社会的関心の高いことをテーマにした本を紹介する。児童・一般書とも12回行った。	読書推進の啓発	利用者に表の書架にある本だけでなくさまざまなテーマの本があることを広く知り興味をみて利用してもらう。	B	利用は増えているが、さらにテーマの設定や展示の工夫を行い、利用の促進をする必要がある。	本庁	対象者制限なし	市単独			継続		0	生涯学習センター図書館
129	2-②	読書のまち八王子の推進	読書感想画コンクール	本に親しんでもらうために読書感想画を公募し、入賞作品を展示する。海外友好都市の作品も展示する。	小学校の部 801点 中学校の部 414点 合計1,215点の応募があった。 (昨年度は988点)	応募者・参加者の人数	八王子全域の児童に読書に親しんで感想画を応募してもらう。	A	応募数と学校数が昨年度を上回った。特に応募総数は昨年度より23%アップになった。	全市域	子ども	共催			継続		40	生涯学習センター図書館
130	2-②	読書のまち八王子の推進	一日図書館員	小学校高学年を対象に、図書館業務の実体験を通して、図書館への理解を深める。	一般利用者への図書の貸出・返却、配架・整架などを体験してもらう。 参加者35名(4回実施)	応募者・参加者の人数及び参加者の満足度	一回当たりの参加人数予定数 40名	A	参加人数が、概ね目標に近い人数となり、また体験を通して図書館の理解を深められた。	本庁	子ども	市単独		0	継続		0	生涯学習センター図書館
131	2-②	読書のまち八王子の推進	としょかんたんけんたい	小学校低学年を対象に、図書館窓口や内部業務等の幅広い業務の図書館を探検するなど、図書館をより身近な存在に感じてもらう、利用促進に努める。	研修を受け、本の配架・整架・カウンターなど様々な図書館業務の体験をする。 参加者 36名	応募者・参加者の人数及び参加者の満足度	一回当たりの参加人数予定数 40名	A	参加人数が、概ね目標に近い人数となり、また体験を通して図書館をより身近な存在に感じてもらえた。	本庁	子ども	市単独		0	継続		0	生涯学習センター図書館
132	2-②	読書のまち八王子の推進	八王子千人塾	高齢者の調べ学習に対する場所の提供と情報提供を支援する。	参加人数:8名 ①説明会・図書館の使い方 ②テーマを決める ③資料の探し方 ④レポート作成・発表のコツ といった連続講座を「塾生の会」の協力のもとで開催。講座終了後、各自調べ学習を実施する。	参加者の満足度	調べものを通じて、図書館をより活用していただくことを目標とする。	A	発表したレポートが「図書館を使った調べる学習コンクール」で毎年受賞作品を出すなど高い評価を得ている。	本庁	高齢者	市単独		0	継続		0	中央図書館
133	2-②	読書のまち八王子の推進	おはなし会	読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、物語や本の楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	絵本や紙芝居などの読み聞かせを行う	応募者・参加者の人数	読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、物語や本の楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	B	読書へのきっかけづくりの役割をはたしており、ボランティアの活動の場にもなった。	本庁	子ども	共催		0	継続		0	中央図書館

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
134	2-②	読書のまち八王子の推進	図書館のテーマ展示	図書館から様々な種類の図書を紹介し、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図る。	テーマを決めて、図書を展示・紹介し、いろいろな本の情報を発信する。季節や行事、社会的関心の高いことをテーマにした本を紹介する。	参加者の満足度	図書館から様々な種類の図書を紹介し、図書に親しむ機会を提供する。	A	市民にとって関心の高いものや、季節・学校行事などにちなんだ資料をコーナーに集め、効果的に展示・提供することができた。	本庁	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	中央図書館
135	2-②	読書のまち八王子の推進	春の朗読会	ボランティアが本等の朗読を行い、高齢者が読書することへのきっかけを創出する。	平成27年5月30日、参加者65名 中央図書館3階視聴覚ホールを会場に、話し手として民間ボランティア団体の協力を得て開催した。	応募者・参加者の人数	ボランティアが本を中心に朗読を行い、まず声で本を聞くことで、高齢者に読書への関心を持つきっかけとする。	A	当日は、5日連続の真夏日となり、会場内も暑くなったが、多くの方が朗読に聞き入った。	本庁	対象者制限なし	共催		0	継続		0	中央図書館
136	2-②	読書のまち八王子の推進	秋の朗読会	ボランティアが本等の朗読を行い、高齢者が読書することへのきっかけを創出する。	平成27年10月24日、参加者78名 中央図書館3階視聴覚ホールを会場に、話し手として民間ボランティア団体の協力を得て開催した。	応募者・参加者の人数	ボランティアが本を中心に朗読を行い、まず声で本を聞くことで、高齢者に読書への関心を持つきっかけとする。	A	開始後は徐々に増え、ほぼ満席となった。	本庁	対象者制限なし	共催		0	継続		0	中央図書館
137	2-②	読書のまち八王子の推進	「八王子に関する新聞記事索引」の発行	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	平成27年1月から12月までの1年間の八王子市に関する新聞記事のタイトルを日付項目別に配列した冊子を240部作成し、各図書館の資料として保存し閲覧に供すとともに、関係各所に配布した。	応募者・参加者の人数	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	B	新聞記事のデータ化については引き続き調整中だが、冊子については例年通り作成し、市民の利用に供することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	中央図書館
138	2-②	読書のまち八王子の推進	ちいちゃいこのお話会	1～3歳児と保護者を対象に本に親しむ機会を与え、とともに、読書習慣の育成を図る。	絵本や紙芝居の読み聞かせや、わらべうた、手遊びをおこなう。	応募者・参加者の人数	1～3歳児と保護者を対象に本に親しむ機会を与え、とともに、読書習慣の育成を図る。	B	親子で図書館に来るきっかけづくりや、子育ての交流の場としての役割を果たしている。	本庁	乳幼児・保護者	市単独		0	継続		0	中央図書館
139	2-②	読書のまち八王子の推進	子ども読書の日記念事業	子ども読書の日にちなみ、本に親しむ機会を設けて、子どもの読書活動を推進する。	おはなし会、わらべうた、図書館たんけんたい、切り紙などのイベントを行った。	応募者・参加者の人数	子ども読書の日にちなみ、本に親しむ機会を設けて、子どもの読書活動を推進する。	A	様々なイベントを行うことで、本に親しむ機会を作るとともに、図書館への興味を持たせることができる。	本庁	子ども	共催		15	継続		15	中央図書館
140	2-②	読書のまち八王子の推進	七夕行事の実施	児童と本・図書館が身近になるように、七夕行事を行う。	子どもたちの願い事を書いた短冊を、七夕飾りとともに笹に飾る。	応募者・参加者の人数	児童と本・図書館が身近になるように、七夕行事を行う。	A	短冊をつるした笹を飾ることにより、利用者に楽しんでもらえた。年中行事を通して文化を知り、継承されていく一助となった。	本庁	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	中央図書館
141	2-②	読書のまち八王子の推進	手づくりの本展	手づくりの本を公募・展示し、本に親しみと愛着を持つ機会とする。	手づくり絵本の会会員と市民が手作りの本を展示する。	応募者・参加者の人数	手づくりの本を公募・展示し、本に親しみと愛着を持つ機会とする。	B	市民団体と協力しながら、長期にわたり継続している。	本庁	対象者制限なし	共催		0	継続		0	中央図書館

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
142	2-②	読書のまち八王子の推進	高齢者・障害者への図書宅配サービス	寝たきり高齢者・障害者等で図書館にいけない人に対して、図書を宅配するなど読書環境を整備する。	延べ183回の宅配サービスを実施した。	応募者・参加者の人数	寝たきり高齢者・障害者等で図書館にいけない人に対して、図書を宅配するなど読書環境を整備する。	A	高齢等で利用を休止する利用者がいる一方で、新規の利用者もあった。ボランティアと協働で実施しており、ほとんどボランティアの方に行っていたいている。	全市域	高齢者・障害者	委託		60	継続		125	中央図書館
143	2-②	読書のまち八王子の推進	対面朗読	視力障害等で読書に親しむ機会の少ない市民に対し、図書館の対面朗読室で図書の朗読を行うなど、読書環境を整備する。	中央・生涯・川口・南大沢図書館において「八王子朗読の会“灯”」及び「南大沢音訳の会「こだま」」の協力のもと、視覚障害者や外国人等利用者1人当たり1～2名の対応で、延べ312回の対面朗読を実施した。	応募者・参加者の人数	視力障害等で読書に親しむ機会の少ない市民に対し、図書館の対面朗読室で図書朗読を行うなど、読書環境を整備する。	A	休止している利用者や実施日に来ることのできなかった利用者もいたが、ボランティア団体の協力のおかげでスムーズに実施できた。また利用者の要求に応じた資料を提供できた。	全市域	障害者	委託		271	継続		450	中央図書館
144	2-②	読書のまち八王子の推進	ユニバーサルデザインによる読書環境づくり	大活字本等を有料特別老人ホームに搬入して出張図書サービスを実施する。	訪問延回数 11回 訪問箇所 3か所 貸出冊数 1,845冊 読み聞かせ会参加者 195人	参加者の満足度	図書館員と図書館ボランティアが、図書館の蔵書を老人ホームに持ち込み、入所者に貸出を行う。また、配送時等に本の読み聞かせなども行う。	B	図書館に直接来ることが難しいホーム入所者に、本にふれてもらうため、今後も継続して実施する必要がある。	全市域	高齢者	共催		0	継続		0	生涯学習センター図書館
145	2-②	読書のまち八王子の推進	夏休み手づくりの絵本	夏休みに、世界に一冊しかない絵本作りを行い、本や読書に親しむ機会の促進を図る。	八王子手づくり絵本の会の製本指導を受け、本を作成し、文章や絵を描き、世界に1つの自分だけの本を作る。	参加者の満足度	夏休みに、世界に一冊しかない絵本作りを行い、本や読書に親しむ機会の促進を図る。	A	毎年、多くの子どもたちが参加している。市民団体と協力し、行えている。	本庁	子ども	共催			継続		41	中央図書館
146	2-②	読書のまち八王子の推進	地域子ども文庫育成事業	地域での読書環境の充実を図るため、地域文庫との連携を強化する。	希望図書を図書館で購入し、団体貸出を行った。	協働事業の推進	地域での読書環境の充実を図るため、地域文庫との連携を強化する。	A	希望図書について、購入・貸出することができた。	全市域	八王子子ども文庫連	補助			継続		480	中央図書館
147	2-②	読書のまち八王子の推進	びよびよ絵本の時間	絵本の読み聞かせ、手遊び、体操及び読書相談・交流等を通じて1・2歳児と保護者を対象に絵本の楽しさの啓発、相談を行う。	図書館職員・ボランティアで絵本等の読み聞かせを行い、毎月第4水曜日、年間12回実施し、236名の参加者があった。	応募者・参加者の人数	乳幼児・保護者を対象に本に親しむ機会を与えようと、読書習慣の育成を図る。	A	好評を得ている事業であり、多くの方に参加していただいている。	由木	乳幼児・保護者	共催		13	継続		13	南大沢図書館
148	2-②	読書のまち八王子の推進	おはなし会	子どもを対象に読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、おはなしの楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	おはなし、本・絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行う。5回(5・6・9・1・2・月)実施し、参加者は40名。	応募者・参加者の人数	読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、物語や本の楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	A	親子で本に触れる機会が提供できており、読書へのきっかけづくりの役割が果たせている。	由木	子ども	共催		0	継続		0	南大沢図書館
149	2-②	読書のまち八王子の推進	イベントおはなし会	季節行事等に合わせたおはなし会と関連する工作体験等を行い、読書推進と親子の触れ合う場を提供する。	子どもが関心を持つ年中行事にまつわるお話しと、関連する工作体験を行う。6回(4・7・8・11・12・3月)実施し、参加者は107名。	応募者・参加者の人数	季節感を感じてもらい、本だけではなく、工作体験を行うことで図書館を身近に感じてもらう。	A	読書へのきっかけづくりの役割をはたしており、親子のふれあいに役立った。	由木	子ども	市単独		0	継続		0	南大沢図書館

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事 業 名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担 当 課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目 標	所管課 事業評価	評 価 理 由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決 算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予 算 (千円)	
150	2-②	読書のまち八王子の推進	図書館のテーマ展示	図書館から様々な種類の図書を紹介し、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図る。	テーマを決めて、図書を展示・紹介し、いろいろな本の情報を発信する。季節や行事、社会的関心の高いことをテーマにした本を紹介する。児童書:12回実施、一般書:5回実施。	事業の拡大	季節や行事、社会的関心の高いことをテーマにした本を紹介し、読書に親しむ機会を提供・図書館利用の促進を図る	A	市民に関心の高いものや、季節・学校行事などにちなんだ資料を集め、効果的に展示・提供することができた。目標とした展示以外にも、図書館まつり時に全館等一テーマの展示や著名人の計報等トピックスのミニ展示も適宜実施した	由木	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	南大沢図書館
151	2-②	読書のまち八王子の推進	南大沢市民センターまつり特別おはなし会	児童奉仕の一環としておはなし会を実施する。	おはなし(素話)、本・絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行う。10月4日に実施し17名が参加。	応募者・参加者の人数	各施設が同時に開催することで、地域の活性化と新たな利用者を増やす。	A	市民センターまつりとして参加しており、参加者も多い。	由木	子ども	市単独		0	継続		0	南大沢図書館
152	2-②	読書のまち八王子の推進	中学生ボランティア体験	社会奉仕としてのボランティアを体験することで社会の一員としての自覚と働くこと助け合うことの大切さを学習する。	研修を受け、本の配架・整架・カウンターなど様々な図書館業務の体験をする。6名が参加。	応募者・参加者の人数	汚破損の本の修理や、利用者の方に気持ち良く利用していただくための図書館員の仕事を体験し、図書館でのマナーや本の扱いについて知ってもらう。	A	図書館業務はカウンターだけでなく、多くの内部での仕事があることを知ってもらえた。	由木	中学生	市単独		0	継続		0	南大沢図書館
153	2-②	読書のまち八王子の推進	海外友好交流都市との合同読書感想画展	世界共通で知られる本の感想を絵で表し、国による感性や表現の違いを感じていただき国際理解につなげる。	本市の海外友好交流都市の小学生が描いた読書感想画から優秀作品を審査、選定した。友好交流都市より送付された作品を本庁舎及びいちようホールに展示した。応募作品数:30点 来場者数:260人(H26 344人)	応募者・参加者の人数	展示会場来場者数:300人	C	展示会来場者が目標を下回ったため。	本庁	どなたでも	共催		31	廃止・終了	相手都市より事業の継続が難しいとの申し出があったため。なお、図書館が単独で実施している、市内小中学生の読書感想画展は継続する。	0	多文化共生推進課 (図書館との共催)
154	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	歴史探訪施設見学会	公募市民対象の施設見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	市内の公共施設や大学、企業などをバスでめぐり見学する。3月施設見学会(1回・参加者18名)	参加者の満足度	施設見学会への満足度や市政100周年記念事業への関心を高めること及び市民参加のきっかけ作り。 文化財課の施策との連携。	B	参加者の満足度が高く、また参加したい旨の意見が多数あった。 ガイドボランティアを活用し、文化財課の施策と連携することができた。 時間が足りず、意見交換ができなかった。	全市域	どなたでも(18歳以上)	共催		0円	検討中		管財課で計上バス 借り上げ費	広聴課
155	2-③	か八王子の文芸特色をの活	市史編さん室・生涯学習センター共催市民講座	市民が八王子の歴史に理解を深める機会を創出し、市史編さん事業の普及と市民協働への足掛かりとする。	市史編さん室・生涯学習センター共催市民講座「新八王子市史を読み解く 通史編1 原始・古代」全3回を実施。市民参加総数162名。	参加者の満足度	「満足」の声が参加者の7割を占めること。	A	アンケートを実施した結果、83%の割合で「満足した」との回答を得たため。	本庁	対象者制限なし	共催		0 (謝礼は学習支援課で対応)	継続		27	市史編さん室
156	2-③	八王子の文化芸術を活かした文	文化財見て歩き	市内の文化財等を市民に紹介し、八王子の歴史等の普及を行う。	文化財見て歩き「千人同心ゆかりの地を歩く」「親子で歩く八王子城跡」「絹の道を歩く」「滝山城跡を歩く」を実施し、歴史や文化に触れ、理解を深めた。(4回 参加者106人、前年度 4回 152人)	応募者・参加者の人数	参加者100人～120人	A	どの回も参加者から好評で「継続してほしい」との声もあり、当選者の参加率も高かったため。	全市域	対象者制限なし	市単独		6	継続		8	文化財課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
157	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし、振興	コーナー展 「八王子市の 発掘成果展」	市内にある埋蔵文化財や 八王子城跡の発掘成果を 市民に広く紹介する。	平成25年度に八王子市内で 発掘調査され、市の歴史に 新たな資料が得られた南谷 遺跡と日南田遺跡に関する 展示を行った(開館日数32 日、入館者数2245名)	コスト削減	平成25年度の重要な考古資 料に関する展示を、マンバ ワーで行う。	A	発掘調査に よって発見さ れた最新の文 化財を展示し たことで、郷 土の歴史を広 く紹介できた ため。	本庁	対象者制限なし	市単独		0	継続		648	文化財課
158	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし、文	伝統文化ふれあい事業 「説経節体験・発表講座 ～三味線・語り～」	後継者の発掘及び育成支 援を行う。	7名の参加者が、12月6日～ 3月5日の期間で練習を重ね、 3月6日にいちようホール でその発表を行った。3月6日 は2377人の入場があった。	参加者の満足度	アンケート回答者の7割以上 が講座内容について「良い」 と回答。	A	参加者全員 から「良い」と 回答を頂くと ともに、受講 後3人の参加 者が説経節の 会に入会した ことから、後 継者の発掘に つながったため。	本庁	中学生以上	実行委員会		0	継続		0	文化財課
159	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし、文	第13回八王子車人形と 民俗芸能の公演	伝統芸能の普及と保存伝 承に対する市民の理解を 深めてもらう。	27年度は「八王子車人形」 「説経節」「小津の獅子舞」 「氷川神社の獅子舞」の公演 を行った。(入場者数855人 前年度892人)	応募者・参加者の人数	参加者900人	B	参加者の伝 統芸能に対す る親しみと理 解を深めるこ とができたこと ともに、出演 者のやりがい や達成感につ ながったため。	本庁	対象者制限なし	委託		1,650	継続		1,650	文化財課
160	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし、文	東京文化財ウィーク	東京都が主催し、都内の 指定文化財を一斉に公開 する。	10月31日から11月8日の期 間中、国や都の指定文化財 を公開した。	東京都が人数の集計等を行 うため、設定なし	東京都が人数の集計等を行 うため、設定なし	B	普段は一般 公開されてい ない都の指定 文化財をはじめ、様々な文 化財を公開し、多くの 方々に文化財に触れる機会 を提供できたため。	本庁	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	文化財課
161	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし、文	文化財年報	文化財の調査及び研究活動 を発表することで、八王子 の文化財に対する市民 の理解を深めてもらう。	八王子市文化財年報第9号 を発行した。	発行時期	発行時期	A	予定通り12月 に発行できた ため。		対象者制限なし	市単独		103	継続		230	文化財課
162	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし、文	伝統文化ふれあい事業 「民俗芸能講座」	文化財の保護及び普及を 図る。	「木遣」「田守神社の獅子舞」 「氷川の獅子舞」の3講座を 開催し、59人が参加した。	参加者の満足度	アンケート回答者の7割以上 が講座内容について「良い」 と回答。	A	保存会の協 力により、普 段触れること のできない獅子 頭や万灯といった道具に 触れることができ、参加者 の高い満足を 得られたため。	本庁	対象者制限なし	実行委員会		0	継続		0	文化財課
163	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし、文	特別展・企画展	さまざまな展示を実施する ことで地域の歴史を紹介し、 市民に郷土史学習の機会を 提供できるよう努める。	特別展「戦後70年 昭和の戦争 と八王子」、「八王子の指定 文化財」、企画展「八王子市 の発掘成果展」、「八王子の 鉄道」、コーナー展「七福神 ～八王子の恵比寿・大黒・お めでたいもの大集合～」	特別展・企画展実施回数	特別展を2回、企画展を3回 開催する。	A	目標だった特別展、企画展 の開催することができ、前 年より多くの来館者を迎 えることができた。	本庁	対象者制限なし	市単独		71	継続		85	文化財課 (郷土資料館)
164	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし、文	特別展示図録の刊行	特別展の一環として展示 図録を刊行する。	特別展「戦後70年 昭和の戦争 と八王子」「八王子の指定 文化財」の展示内容について 解説した展示図録を刊行し、 完売していた「八王子の鉄 道」を増刷した。	展示図録の発行	特別展に合わせて刊行し、 特別展の展示を分かりやすく 解説した図録及び完売した 図書をあわせて3冊刊行する。	A	写真や図を分 かりやすくまとめ、展示 内容について理解を深める 役割を果たした。	本庁	対象者制限なし	市単独		1,437	継続		1,944	文化財課 (郷土資料館)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合内容は記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
165	2-③	か し 王 子 振 文 の 興 化 特 色 術 を の 活	ボランティア活動	郷土の歴史を学んだ市民に実践の場を提供し、郷土愛の醸成を図るとともに館内展示・イベントの充実を図る。	研修会を開催し、自主活動を通したスキルアップに協力するとともに、ボランティア保険の費用を負担。また、新規紙芝居作成などの自主活動に協力。	協働事業の推進	郷土資料館の運営を担っているボランティアの活動を積極的に支援する。	A	ボランティア活動を支援し、ボランティアの育成と活躍の場を提供することができた。	本庁	対象者制限なし	市単独		7	継続		12	文化財課 (郷土資料館)
166	2-③	活 か 王 子 の た 文 化 特 色 芸 を	真夏の夜のジャズ	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	恒例となった南大沢でJAZZの名曲を…シリーズ。チケットも完売し、アンケートの結果も良好であった。	応募者・参加者の人数	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	集客が多くアンケートの結果、満足度が高いことがわかったため。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		339	継続		353	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
167	2-③	化 を 八 芸 活 王 子 か の し の 振 文 化 特 色	クリスマスジャズ	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	恒例となった南大沢でJAZZの名曲を…シリーズ。特にクリスマスジャズは好評のため2回公演を実施した。	応募者・参加者の人数	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	集客が多くアンケートの結果、満足度が高いことがわかったため。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		535	継続		533	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
168	2-③	し 八 た 王 文 子 化 の 芸 特 術 色 を 振 興 か	八王子音楽祭	音楽の魅力を通した人と人のふれあい、八王子への関心・愛・誇りをもち芸術の薫る街にしていこう。	期間中77の事業を実施し、入場者数20,945名、参加者数1,585名であった。	事業の拡大	音楽の魅力を通した人と人のふれあい八王子への関心・愛・誇りをもち芸術の薫る街にしていこう。	A	事業数、入場者数や参加者数が昨年を大きく上回ったこと、大型企画(ゲーム音楽の祭典等)を実施したため。	全市域	対象者制限なし	指定管理者		27,037	継続		20,750	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
169	2-③	し 八 た 王 文 子 化 の 芸 特 術 色 を 振 興 か	オヤジバンドフェスティバル	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	フラワーフェスティバル由木との提携事業として恒例になっており、今回も6団体の出場で245名の入場者であった。	参加者の満足度	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	駅に近く身近な場所で、多くの入場者で賑わうフェスティバル事業となり、気軽に鑑賞機会を提供できたため。	由木	成人	指定管理者		125	継続		210	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
170	2-③	活 か 王 子 の た 文 化 特 色 芸 を	フォレストコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	屋の部は完売、夜の部も98%の販売率であった。	応募者・参加者の人数	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	集客も多く、アンケート結果から満足度が高いことがわかったため	本庁	対象者制限なし	実行委員会		3,820	継続		4,665	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
171	2-③	か し 王 子 振 文 の 興 化 特 色 術 を の 活	南大沢ミュージックウィークス	音楽の魅力を通して人々がふれあい、南大沢を活気ある街にする。	2週間に渡り、青少年のための音楽祭、地域音楽祭、Jazz夜話、親子のためのクラシック、コミュニティオペラ(別項目)、モーニングコンサート(別項目)、アフタヌーンコンサート(別項目)を実施した。	事業の拡大	音楽の魅力を通して人々がふれあい、南大沢を活気ある街にする。	A	集客も多く、賑わいを生んだほか、芸術文化を通じた地域住民の交流を創出できた。	由木	対象者制限なし	指定管理者		435	継続		1,557	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
172	2-③	八 王 子 の 特 色 を 活 か し た 文 化 芸 術 の 振 興	SUN ☆ KAN7リー	市内美術館が共同し市民に芸術文化に触れる機会を提供	市内にある夢美術館、東京富士美術館、村内美術館の3館が共同し、夏休み期間中に主に子ども向け(大人の参加も可)に実施するスタンプラリー事業。平成27年度は3館で延べ844人(夢美術館は304人)あった。	応募者・参加者の人数	3館での目標参加者数は延べ1,200人(内夢美術館は500人)。	B	実績値が目標値の70%の達成率のため、ほぼ目標を達成している。参加者減の要因は3館中、東京富士美術館と夢美術館の夏休み期間中特別展(村内美術館は常設展)がやや大人向けの内容だったため子どもの参加者数が伸び悩んだ。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		439	継続		586	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
173	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	ギャラリーートーク	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を充実させる。	特別展と常設展(収蔵品展示)にあわせて外部講師(美術家や研究者)や夢美術館学芸員によるギャラリーートークを開催。平成27年度は計8回(内常設展は1回)を実施した。	実施の回数	特別展と収蔵品展で計7回の開催。	A	目標としていた計7回を上回り、計8回の実施回数となったため。特別展「ますむらひろしの北斎展」において当初予定の無かった作家によるギャラリーートークを開催し目標実施回数を上回る結果となった。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		265	継続		142	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
174	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	常設展(収蔵品展示)	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する。	収蔵品からテーマや作家を選定し、市民に優れた絵画等を鑑賞する機会を提供。平成27年度の入場者数は221日間で30,683人となった。	応募者・参加者の人数	常設展(収蔵品展示)の目標入場者数は32,600人。	A	実績値が目標値の94%の達成率のため、ほぼ目標を達成している。入場者減の要因は常設展(収蔵品展示)が特別展のほぼ併設展示となっており(常設展単独では3日間のみの開催)特別展の実績値と連動した結果となったため。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		303	継続		1,153	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
175	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する。	国内外で高い評価を得ている美術作品等の紹介や学生・子どもたちも楽しめる企画および地域の著名な画家を紹介する企画など幅広いジャンルで特別展を年間6本開催。平成27年度の入場者数は255日間で36,897人となった。	応募者・参加者の人数	特別展の目標入場者数は38,700人。	A	実績値が目標値の95%の達成率のため、ほぼ目標を達成している。入場者減の要因は特別展の内の1つ「幕末明治の浮世絵展」で高齢者を中心とする多くの入場者を見込んでいたが実際は予想よりもそうした層の来館が少なかったため達成できなかった。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		43,228	継続		23,743	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
176	2-③	八王子文化の特色を振興かし	オリンパスホール八王子避難訓練コンサート	災害発生時におけるホールでの避難行動を学習する機会を提供する	オリンパスホール八王子の職員、公演スタッフ、出演者が協力して実際の災害を想定した避難訓練を行いました。	協働事業の推進	災害発生時におけるホールでの避難行動を学習する機会を提供する	A	災害発生時におけるホールでの避難行動を学習する機会を提供する	本庁	対象者制限なし	指定管理者		▲386千円 (千円未満切り捨て)	継続		399千円	学園都市文化課 (共立・NTTファンリティーズ共同事業体)
177	2-③	か八王子文化の興化特色をを活かし	響き渡るワタ・シン～私のためのコンサート～	ホール舞台でスタインウェイピアノを演奏いただくことで、公共ホールに興味を持って頂く	オリンパスホールのステージを利用してフルコンサートグレードの最高峰といわれるSteinway & Sonsを約27名の方々に弾いて頂き、オリンパスホールの響きのよさを体感していただきました。	参加者の満足度	ホール舞台でスタインウェイピアノを演奏いただくことで、公共ホールに興味を持って頂く	A	ホール舞台でスタインウェイピアノを演奏いただくことで、公共ホールに興味を持って頂く	本庁	対象者制限なし	指定管理者		▲242千円 (千円未満切り捨て)	継続		337千円	学園都市文化課 (共立・NTTファンリティーズ共同事業体)
178	2-③	八王子文化の特色を振興かし	モーニングコンサート Vol.14	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	大学生による弦楽四重奏若い演奏家のはつらつとした演奏に共感を得られた単なる演奏ではなく、自ら演出も考えてきたことに高い評価が表れた。	参加者の満足度	日々研鑽を積んでいる若手演奏家等に発表の機会を提供するとともに、市民に身近な場所で、質の高い芸術・文化を鑑賞する機会を提供する。	A	入場者数144名アンケートから9割の方から高評価を得た大学生のはつらつとした演奏への評価が高かった	由木	対象者制限なし	指定管理者		121	継続		97	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
179	2-③	化を八芸活王術か子のしの振た特興文色	モーニングコンサート Vol.15	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	演奏者が怪我のため中止	参加者の満足度		D			対象者制限なし	指定管理者						学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
180	2-③	八王文化の芸術を活性化	モーニングコンサート Vol.16	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	ピアノとヴァイオリンの演奏朝のコンサートは新鮮と評価が高く、選曲や演奏について評価が良かった	参加者の満足度	日々研鑽を積んでいる若手演奏家等に発表の機会を提供するとともに、市民に身近な場所で、質の高い芸術・文化を鑑賞する機会を提供する。	A	入場者数100名 アンケートでは全ての方から高評価を得た 質の高い演奏を提供できた。	由木	対象者制限なし	指定管理者		93	継続		122	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
181	2-③	八王文化の芸術を活性化	モーニングコンサート Vol.17	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	サクソ、ピアノ、ヴァイオリンの演奏は珍しい組み合わせだった。 サクソの音が新鮮 サクソとピアノとヴァイオリンのトリオは初めて。 知っている曲を多く演奏したことが高評価を得た。	参加者の満足度	日々研鑽を積んでいる若手演奏家等に発表の機会を提供するとともに、市民に身近な場所で、質の高い芸術・文化を鑑賞する機会を提供する。	A	入場者数103名 アンケートでは全ての方から高評価を得た 質の高い演奏を提供できた。	由木	対象者制限なし	指定管理者		127	継続		111	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
182	2-③	八王文化の芸術を活性化	ユースオーケストラワークショップとコンサート(発表会)	プロのオーケストラの指導者の講師により若手演奏家(中学生・高校生・大学生)の育成を図る。	今年度から通年のワークショップとなり、8月に演奏会を実施した。また1月のフレッシュ名曲コンサートでの東京交響楽団との共演を果たした。	参加者の満足度	プロのオーケストラの指導者の講師により若手演奏家(小・中・高・大学生)の育成を図る。	A	メンバー数、練習内容、公演内容共に充実していたほか、保護者・お客様からの評価をいただいたため。	本庁	対象者制限なし	補助		5,225	継続		6,023	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
183	2-③	八王文化の芸術を活性化	アフタヌーンコンサート Vol.5	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	ピアノ伴奏によるトランペットのコンサートを実施。様々な解説や実験的試みがあり、興味を呼んだ。	参加者の満足度	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	市内3カ所のホールで、昼間の時間帯に(トーク付き)気軽に楽しめる本物の演奏を提供できたため。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		425	継続		502	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
184	2-③	八王文化の芸術を活性化	東京交響楽団PS事業アフタヌーンコンサートVol.6	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	東京交響楽団の大師所「大谷康子」のコンサートを昨年に引き続き実施し、演奏・トーク・演出ともに大変満足度の高い公演だった。	参加者の満足度	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	市内3カ所のホールで、昼間の時間帯に(トーク付き)気軽に楽しめる本物の演奏を提供できたため。	本庁	対象者制限なし	補助		697	継続		601	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
185	2-③	八王文化の芸術を活性化	東京交響楽団PS事業アフタヌーンコンサート Vol.7	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	南大沢文化会館の交流ホールで、バレンタインにちなんだ公演を実施した。	参加者の満足度	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	市内3カ所のホールで、昼間の時間帯に(トーク付き)気軽に楽しめる本物の演奏を提供できたため。	由木	対象者制限なし	補助		486	継続		642	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
186	2-③	八王子の芸術を活性化させた文化	車人形公演	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	八王子の伝統芸能である車人形公演を誘致し、特にPR面で支援した。	参加者の満足度	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	ポスターチラシの作成による出演者の負担減とPR、財団情報紙への掲載、プレスリリースによる新聞掲載等によるPR強化を実現できたため。	本庁	対象者制限なし	補助		277	継続		376	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事 業 名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担 当 課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評 価 理 由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「 そ 他 」を選 択した場 合は内容 を記入	決 算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向 性】で「 廃止・終 了 」を選択した 場合はその理 由を記入	予 算 (千円)	
187	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし	飯森範親指揮 東京交響楽団 モーツァルト 作曲「レクイエム」	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	昨年に続き、飯森範親指揮による全曲モーツァルトのプログラム。	応募者・参加者の人数	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	チケット販売率、入場者率共に目標を上回り、アンケート結果から、お客様の満足度も高かったため。	本庁	対象者制限なし	補助		8,178	継続		11,620	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
188	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし	大友直人指揮 東京交響楽団 第九演奏会	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	本格的なオーケストラによる著名な曲の演奏だけでなくカサドコンクールに出場した八王子出身のチェリストや、セミプロの東響コーラスの出演により、集客も多かった。	応募者・参加者の人数	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	チケット販売率、入場者率共に目標を上回り、アンケート結果から、お客様の満足度も高かったため。	本庁	対象者制限なし	補助		10,676	継続		10,220	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
189	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし	すぎやまこういち×東京 都交響楽団 ドラゴンクエストコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	毎回完売する人気のゲーム音楽公演。日本全国からの集客と、20代30代中心の客層で、他事業では無い様相を呈する。	応募者・参加者の人数	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	A	チケット販売率、入場者率共に目標を上回り、アンケート結果から、お客様の満足度も高かったため。	本庁	対象者制限なし	補助		7,844	継続		8,038	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
190	2-③	八王子文化芸術の特色を 活かし	星空コンサート	市民に音楽に触れる機会、天体学習の機会を提供する。	プラネタリウムの星空の下で行う生演奏によるコンサート 平成27年度は、5回開催し、大人585名、子ども232名が参加した。	応募者・参加者の人数	市民に音楽に触れる機会、天体学習の機会を提供する。	A	多くの市民の方々に、音楽に触れる機会・天体学習の機会を提供出来たため。	全市域	対象者制限なし	市単独			継続		0	こども科学館
191	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ネオテニス教室	八王子市生まれのスポーツ「ネオテニス」を普及させ、市民へのスポーツの振興に役立てる。	18歳以上の市民を対象に10月から11月までの間、毎週1回(計6回)の教室を開催する。 申込者数:37名 延べ参加者数:183名	応募者・参加者の人数	誰もが生涯にわたって楽しめる八王子市生まれのスポーツ「ネオテニス」を普及させ、市民へのスポーツの振興に役立てる。	A	昨年度よりも申込者数、延べ参加者数は減少したものの、参加者の何名かは体育館の一般開放に参加し、地区のネオテニスクラブや市主催のネオテニス大会に非常に関心を寄せており、ネオテニスの普及活動ができた。	浅川	18歳以上	委託		80	継続		80	スポーツ振興課
192	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	八王子市民水泳大会	水泳の普及と競技力の向上を目指し、日頃の練習の成果を発揮する場を提供する。	50mの各競技を市内在住、在勤、在学の小学3年生以上が競い合う。 平成27年9月27日実施 延べ参加人数:479名	応募者・参加者の人数	水泳の普及と競技力の向上を目指し、日頃の練習の成果を発揮する場を提供する。	A	参加者数が昨年よりも100名ほど増加し、過去最多となった。また、当日は、市内の高校4校に協力をいただき、効率の良い大会運営も実現できた。	市外	小学校3年生以上	委託		340	継続		340	スポーツ振興課
193	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	市民へのスポーツの振興及び中心市街地並びに沿道地域の活性化を図ること。	甲州街道をメインとして開催する駅伝大会。 平成28年2月14日実施 申込チーム数:545チーム 申込選手数:2,180名	応募者・参加者の人数	市民へのスポーツの振興及び中心市街地並びに沿道地域の活性化を図ること。	A	参加チーム数が昨年から大幅に増加し、過去最多を更新した。また、大会運営には数多くのボランティアが参加し、沿道地域の活性化やコミュニティ振興にも寄与した。	本庁	市内中学生・高校生・大学生・成人	実行委員会		13,699	継続		13,704	スポーツ振興課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
194	2-④	リ生 エース ション ツの・ 推進ク	ヘルシー ウォーキング	市内各所を「歩くこと」で、市民の体力向上・健康維持増進への意識を高める。	スタンプを集めながら市内各所を巡り、ウォーキングを楽しむイベント。 平成27年5月17日実施 延べ参加者数:879名	応募者・参加者の人数	市内各所を「歩くこと」で、市民の体力向上・健康維持増進への意識を高める。	B	小さなお子様からお年寄りまでの幅広い世代の方に参加をいただいた。 また、事故なく効率的に運営ができた。	浅川	対象者制限なし	実行委員会		728	継続		728	スポーツ振興課
195	2-④	ク生 リエース 推進 ション・ レ	市民いきいき リフレッシュ 体操	各市民センターで、ストレッチ・エアロビクス等の軽運動を行い、市民の健康維持及び体力増進を図る。	個人向け体操教室 1回1時間の初心者エアロビクス教室を各市民センターで行う。年間128回開催する。 ※ 参加料:1回100円 開催回数126回 延べ参加人数4,164人	応募者・参加者の人数	各市民センターで、ストレッチ・エアロビクス等の軽運動を行い、市民の健康維持及び体力増進を図る。	A	毎回多くの参加者が参加し、リピータや数か所の会場に足を運ぶ参加者も増えたため。	全市域	18歳以上	市単独		3,104	継続		3,198	スポーツ振興課
196	2-④	生 涯スポ ーション の・ 推進ク リエーシ ョ	市民レクリ エーション大 会	レクリエーション活動の成果を発表する場を提供し、市民へのスポーツの振興と生きがいづくりに役立てる。	市内レクリエーション団体の演技発表の場として開催する。 平成28年3月6日実施 出演団体:13団体 参加延べ人数:2976名	応募者・参加者の人数	レクリエーション活動の日頃の成果を発表する場を提供し、市民へのスポーツの振興と生きがいづくりに役立てる。	A	各団体は日頃の練習の成果を発揮する場として、また、市民はレクリエーションを鑑賞する場として、今年度も多くの方が参加し、レクリエーションの振興を図ることができた。	本庁	対象者制限なし	委託		602	継続		602	スポーツ振興課
197	2-④	生 エース ション ツの・ 推進ク リ	地区運動会	市内各地域で運動会を開催することでスポーツの振興と地域コミュニティの醸成を図る。	市内を23地区に分け、それぞれの地域の実情に即した運動会を開催する。 開催地区:18地区 延べ参加人数:8,622名	応募者・参加者の人数	市内各地域で運動会を開催することでスポーツの振興と地域コミュニティの醸成を図る。	B	前年度よりも延べ参加者数は減少したが、各地域においてイベントを実施することで地域住民の交流を深め、健康意識の向上に寄与した。	全市域	対象者制限なし	補助		1,881	継続		2,079	スポーツ振興課
198	2-④	リ生 エース ション ツの・ 推進ク	八王子あるこ う会	市内各所を「歩くこと」で、市民の体力向上・健康維持増進への意識を高める。	市内各所を巡り、ウォーキングを楽しむイベント。 平成27年11月7日実施 参加者数:282名	応募者・参加者の人数	市内各所を「歩くこと」で、市民の体力向上・健康維持増進への意識を高める。	A	今年度より傷害保険料として100円/人徴収したが、昨年度よりも大幅に参加数が増加し、事故なく運営できた。	本庁	対象者制限なし	実行委員会		22	廃止・終了	開催予定である11月1週土曜日に新規事業を実施する。	0	スポーツ振興課
199	2-④	生 涯ス ション ツの・ 推進ク リエー ー	ネオテニス親 子教室	八王子市生まれのスポーツ「ネオテニス」を普及させ、市民へのスポーツの振興に役立てる。	市内小学生とその親を対象に毎週1回(計6回)の教室を開催する。【スポーツ推進委員主管事業】 参加申込者数:36名 延べ参加者数:174	応募者・参加者の人数	誰もが生涯にわたって楽しめる八王子市生まれのスポーツ「ネオテニス」を普及させ、市民へのスポーツの振興に役立てる。	B	ラケットにボールを当てることができる子と当てることのできない子があり、レベルに差が出てしまった。指導内容等を改善する必要がある。	浅川	小学生と保護者	共催		7	継続		9	スポーツ振興課
200	2-④	レ生 クリス エース ション ツの・ 推進ク リ	八王子市民 スキー競技 大会	スキー競技の普及と振興を図ることを目的に実施する。	小学校低学年から60歳以上の部まで、大回転競技を行う。 平成27年度の大会は雪不足により中止となった。	応募者・参加者の人数	スキー競技の普及と振興を図ることを目的に実施する。	D	今年度は、雪不足のため中止となったため。	市外	小学生以上	委託		20	継続		330	スポーツ振興課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
201	2-④	生涯スポーツの推進	八王子市陸上競技選手権大会	陸上競技の普及と競技力の向上を図ることを目的に実施する。	小学生から70歳以上まで、体育大会・選手権大会の部を合わせて全12種目を行う。平成27年9月13日実施 延べ参加人数:1,538名	応募者・参加者の人数	陸上競技の普及と競技力の向上を図ることを目的に実施する。	A	今年度から、大会を日本陸上競技連盟の公認大会としたこともあり、過去最多の参加人数となった。参加者が多い中、事故等なく無事に開催することができた。	由木	小学校高学年以上	委託		193	継続		193	スポーツ振興課
202	2-④	生涯スポーツの推進	市民スケート教室	スケートに親しみ、楽しく滑る技術と機会を提供することで市民へのスポーツの振興を図る。	小学生以上の市内在住・在勤在学の市民を対象にスケートの技術を指導する。平成27年11月27日実施 参加者数:50名	応募者・参加者の人数	スケートに親しみ、楽しく滑る技術と機会を提供することで市民へのスポーツの振興を図る。	B	今年度より共催事業となり、年2回の開催となった。第2回の開催について、申込者が定員に届かず中止となってしまうため、周知方法等検討する必要がある。	市外	小学生以上	共催		0	廃止・終了	主催団体と実施について調整中であるため。	0	スポーツ振興課
203	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民ネオテニス大会	八王子市生まれのスポーツ「ネオテニス」を普及させ、市民へのスポーツの振興に役立てる。	順位づけはしない総当たり戦を行う大会。【スポーツ推進委員主管事業】平成28年1月17日実施 参加チーム数:32チーム 参加者数:227名	応募者・参加者の人数	誰もが生涯にわたって楽しめる八王子市生まれのスポーツ「ネオテニス」を普及させ、市民へのスポーツの振興に役立てる。	A	参加者数が昨年よりも減少したものの、事故なく開催できた。また、今年度は障害者スポーツの体験コーナーを設け、障害者スポーツの普及活動を行った。計112名の参加があり、多くの方に体験していただいた。	浅川	中学生以上	共催		46	継続		26	スポーツ振興課
204	2-④	生涯スポーツの推進	やさしいフィットネス	市内団体の求めに応じ、指導員を派遣して、健康体操の指導を行い、市民の健康維持及び体力増進を図る。	団体向け体操教室 市内団体の依頼により1回1時間の教室を3ヶ月間で8回(決まった曜日)に行い、年間計160回の枠で実施する。指導回数157回 延べ参加人数 2,805人	応募者・参加者の人数	市内団体の求めに応じ、指導員を派遣して、ストレッチ・エアロビクス等の健康体操の指導を行い、市民の健康維持及び体力増進を図る。	B	団体の固定化、参加人数の減少が進行しており、新規の申し込みを増やしていく必要がある。	全市域	18歳以上のグループ	市単独		2,885	継続		2,942	スポーツ振興課
205	2-④	生涯スポーツの推進	ジュニア育成事業	スポーツイベントを開催し、子どものスポーツを始めるきっかけづくりを目指す。	ジュニア向けにバスケットボール教室・バドミントン教室・走り方教室・ヘキサスロン(運動遊びプログラム)の四事業を実施。 参加延べ人数:329人	応募者・参加者の人数	スポーツイベントを開催し、子どものスポーツを始めるきっかけづくりを目指す。	A	各事業において、子どもたちが各競技の習得やレベルアップに向け積極的に活動できた。初心者にはスポーツに親しみを持ち、経験者にはより高い目標意識を持つ良いきっかけづくりとなった。	浅川	小学生以上	委託		1,885	継続		1,500	スポーツ振興課
206	2-④	生涯スポーツの推進	市民スポーツ・レクリエーション大会	自分にあった生涯スポーツを見出す機会を提供し参加を促す。	レクリエーション協会加盟団体のうち12団体が参加。平成27年4月～平成28年3月 開催延べ日数:59日 参加延べ人数:2,929人	応募者・参加者の人数	自分にあった生涯スポーツを見出す機会を提供し参加を促す。	B	例年より参加者数が若干減少したが、日頃の成果を発揮し、参加者同士が楽しみながら交流を深めることができた。また、事故なく安全に大会を開催することができた。	本庁	対象者制限なし	委託		260	継続		260	スポーツ振興課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
207	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	八王子市民体育大会	スポーツ団体の育成と市民の競技力の向上に寄与するもの。	八王子市体育協会加盟団体のうち32団体が参加。 平成27年4月～平成28年3月開催延べ日数:86日 参加延べ人数:17,093人	応募者・参加者の人数	スポーツ団体の育成と市民の競技力の向上に寄与するもの。	A	今年度は、市民体育館が休館中だったため、会場をエスフォルタアリーナに変更して実施する競技があったが、全体として事故なく安全な大会が開催できた。各競技団体の競技力向上とともに選手同士の親交を深めることができた。	全市域	対象者制限なし	委託		2,686	継続		2,686	スポーツ振興課
208	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	TOKYO八峰マウンテントレイル2016	山岳スポーツのマナーを本市から全国に発信するとともに本市の文化・観光資源を再発見する機会を与える。	タやけ小やけふれあいの里をスタートし、和田峠、小仏城山、三沢峠を経由し落合公園をゴールとする大会。 平成27年12月23日実施 申込者数:880名	関連団体その連携によるマナーの定着及びルールへの啓発	競技者への「東京都自然公園利用ルール」の啓発とマナーアップおよび地域活性化に寄与する。	A	新規事業であったが、当日は市内外から約700名の参加者が集まった。また、マナーが守られていた参加者をグッドマナー賞として表彰することで更なるマナー向上へのきっかけづくりとなった。	元八王子浅川	18歳以上	共催		0	継続		0	スポーツ振興課
209	2-④	生涯スポーツの推進	八王子ロードレース大会	陸上競技の普及と競技力の向上を目指し、日頃の練習の成果を発揮する場を提供する。	陵南公園対岸をスタート・ゴールとして浅川ゆったりロードを走る大会。 平成27年10月11日実施 延べ参加人数:382名	応募者・参加者の人数	陸上競技の普及と競技力の向上を目指し、日頃の練習の成果を発揮する場を提供する。	B	今年度も小学生から50歳以上の方まで、幅広い世代の参加が見られた。事故等なく大会を開催できたが、参加者数が例年より少し減少した。	浅川	小学校3年生以上	委託		385	継続		385	スポーツ振興課
210	2-④	生涯スポーツの推進	あったか健康教室	子どもから高齢者まで、それぞれのニーズに合った健康教室を実施し、市民の健康づくり、健康増進に寄与する。	年間計20教室 参加者延べ人数14,683人	応募者・参加者の人数	幅広い年齢層のリピーターが生まれるような魅力的な充実した内容の健康教室を開催し、更なる市民の健康づくり、健康増進に寄与していく。	B	複合施設として、環境以外に健康促進等のイベントも開催し市民ニーズに応えている。	北野	子ども:4歳～小学生、成人:18歳以上	指定管理者		0	継続		0	北野清掃工場
211	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	口腔の健康づくり	口腔ケアの正しい知識の普及を図ることを通じ、高齢者が地域で健やかに生活できることを目指す。	【内容】 健康な方を対象に口腔ケアに関する教室を出前講座形式で開催する。 【実績】 開催回数 32回 参加人数 823人	開催回数	50回	B	目標回数に達することはできなかったが、平成26年度より開催回数が増加したため。	全市域	高齢者	委託		1,001	継続		1,170	高齢者いきいき課
212	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア元気塾コーディネーター養成講座	高齢者活動コーディネーターを養成し、高齢者の社会参加促進を図る。	【内容】 高齢者活動コーディネーターを養成する講座 【実績】 6回実施 34人受講 34人修了	応募者・参加者の人数	60人	B	目標人数に達することができなかったが、修了率が100%であったため。	本庁	高齢者	委託		3,503(他事業あり)	継続		3,246(他事業あり)	高齢者いきいき課 (高齢者活動コーディネーター)
213	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア元気塾ボランティア入門講座	ボランティア活動のきっかけをつくり、高齢者の社会参加促進を図る。	【内容】 高齢者のボランティアや社会参加を促す講座 【実績】 8回実施 35人受講 29人修了	応募者・参加者の人数	60人	B	目標人数に達することができなかったが、修了率が80%を超えたため。	本庁	高齢者	委託		3,503(他事業あり)	継続		3,246(他事業あり)	高齢者いきいき課 (高齢者活動コーディネーター)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R		
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績												平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)			
214	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	体力アップ運動教室	65歳以上の高齢者が身体機能が低下している方を対象に介護状態に陥ることなく、健康で生き生きした生活を送れるよう支援する。	第1回 15人 ×10回 第2回 15人 ×10回 第3回 15人 ×10回	参加者の満足度	運動習慣を身につけ、身体機能の維持向上をはかるとともに日常生活の中に体操を取り入れ、要介護に陥る事を防ぐ	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		360	継続		120	大横保健福祉センター		
215	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	バランスアップ教室	65歳以上の高齢者が身体機能が低下している方を対象に介護状態に陥ることなく、健康で生き生きした生活を送れるよう支援する。	第1回 16人 ×10回 第2回 15人 ×10回 第3回 15人 ×10回	参加者の満足度	運動習慣を身につけ、身体機能の維持向上をはかるとともに日常生活の中に体操を取り入れ、要介護に陥る事を防ぐ	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		360	継続		240	大横保健福祉センター		
216	2-⑤	高齢者がいきいきと生活できる	ヘルスアップ運動教室	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを予防する。	1回 20名	参加者の満足度	運動を継続し、習慣化するために参加者による自主サークルを立ち上げる	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		148	継続		178	大横保健福祉センター		
217	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	・ロコモ 37名 ・健脚 34名 ・聞こえ 25名 ・尿もれ 34名 ・誤嚥 29名	参加者の満足度	加齢に伴う運動機能の低下の仕組みや予防のための方法について理解する	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		150	継続		120	大横保健福祉センター		
218	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	男の料理教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	八王子管理栄養士の会及び食育ボランティアの協力を得て今年度から開催した。2回(全12回)開催した。 第1回(定員20名)延べ108名 第2回(定員20名)延べ110名	参加者の満足度	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場を提供することにより、その後も継続してもらうことを目標とし、引きこもりや認知症予防を図る。	A	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		210	継続		222	大横保健福祉センター		
219	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	はじめてのタブレット教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供(27年度から開始)	第1回(定員12名)延べ45名 第2回(定員12名)延べ42名 第3回(定員12名)延べ48名 第4回(定員12名)延べ46名 合計181名	参加者の満足度	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場を提供することにより、その後も継続してもらうことを目標とし、引きこもりや認知症予防を図る。	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		718	継続		1,066	大横保健福祉センター		
220	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	はつらつトリム	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供(27年度から開始)	6月から毎月第1月曜日開催 定員20名×9回開催 延べ179名	参加者の満足度	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場を提供することにより、その後も継続してもらうことを目標とし、引きこもりや認知症予防を図る。	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		45	継続		60	大横保健福祉センター		
221	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	気軽にヨガ	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供(27年度から開始)	6月から毎月第3月曜日開催 定員20名×97回開催 延べ121名	参加者の満足度	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場を提供することにより、その後も継続してもらうことを目標とし、引きこもりや認知症予防を図る。	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		35	継続		60	大横保健福祉センター		
222	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	おりがみ教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	前期(定員24名)×10回＝198名 後期(定員23名)×10回＝186名 合計 延べ384名	参加者の満足度	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場を提供することにより、その後も継続してもらうことを目標とし、引きこもりや認知症予防を図る。	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		100	継続		100	大横保健福祉センター		
223	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	トリム健康体操教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	前期(定員25名)×10回＝195名 後期(定員20名)× 9回＝116名 合計 延べ311名	参加者の満足度	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場を提供することにより、その後も継続してもらうことを目標とし、引きこもりや認知症予防を図る。	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		95	継続		100	大横保健福祉センター		
224	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ボールペン習字教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	前期(定員24名)×10回＝197名 後期(定員24名)×10回＝182名 合計 延べ379名	参加者の満足度	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場を提供することにより、その後も継続してもらうことを目標とし、引きこもりや認知症予防を図る。	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		100	継続		100	大横保健福祉センター		

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
225	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	らくらくヨガ教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	前期(定員20名)×10回＝166名 後期(定員20名)×10回＝173名 合計 延べ339名	参加者の満足度	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場を提供することにより、その後も継続してもらうことを目標とし、引きこもりや認知症予防を図る。	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		100	継続		100	大横保健福祉センター
226	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	太極拳教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	全期(定員25名)×20回＝351名	参加者の満足度	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場を提供することにより、その後も継続してもらうことを目標とし、引きこもりや認知症予防を図る。	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		130	継続		130	大横保健福祉センター
227	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初めてのパソコン教室 (午前・午後)	高齢者・障害者の生きがいと自立の促進	午前・午後:40回326人	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいと自立の促進	A	申込者が多く、内容に満足したという意見を多く頂いている。レベルアップした教室開催の希望もあり、高い満足度である。	浅川	高齢者・障害者	市単独		200	継続		200	東浅川保健福祉センター
228	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	イタミ楽々体操	高齢者の身体能力を高め、要介護状態になることを予防する。	2コース実施 火曜日コース:33回 述537人 木曜日コース:33回 述556人	参加者の満足度	高齢者の身体能力を高め、要介護状態になることを予防する。	A	継続参加希望者も多く、介護予防に対する意識向上が図れた。	浅川	高齢者(65歳以上)	市単独		782	廃止・終了	参加者のリピータも多く、事業目的から地域に向向って行った講座へ実施方法を見直し、本事業については廃止		東浅川保健福祉センター
229	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	5回235人	参加者の満足度	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	B	多くの方に介護予防に対する意識、知識に対する啓発が出来た。	浅川	高齢者	市単独		59	継続		52	東浅川保健福祉センター
230	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	健康体操	高齢者・障害者を対象としてストレッチ体操・リズム体操を中心に行い、一層の健康づくりを目指す。	24回2,238人	参加者の満足度	高齢者・障害者を対象としてストレッチ体操・リズム体操を中心に行い、一層の健康づくりを目指す。	A	アンケートの結果、「満足」という回答がとて多かった。	浅川	高齢者・障害者	市単独		153	継続		117	東浅川保健福祉センター
231	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	さわやか運動教室	高齢者・障害者を対象として、ウォーキングやボールを用いた運動を行う。	24回1864人	参加者の満足度	高齢者・障害者を対象として、ウォーキングやボールを用いた運動を行う。	A	アンケートの結果、「非常に満足」、「満足」という回答がとて多かった。	浅川	高齢者・障害者	市単独		180	継続		135	東浅川保健福祉センター
232	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	はじめてのヨガ教室	高齢者・障害者を対象として、運動器の機能維持・向上を図る。	4回91名	参加者の満足度	ヨガで体を動かすことを通して、運動器の機能維持(ロコモ予防)と健康づくりを図る。	A	受講者からの評判が大変良く新年度の教室にもぜひ参加したいという声が多かった。	浅川	高齢者	市単独		20	継続		100	東浅川保健福祉センター
233	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	栄養・口腔ケア教室	高齢期の栄養・口腔ケアについての知識を普及啓発をする。	10回193人	参加者の満足度	高齢期の栄養・口腔ケアについての知識を普及啓発をする。	B	介護予防全般に対する取り組みへ意識向上が図れた。	浅川	高齢者(65歳以上)	市単独			廃止・終了	単独講座ではなく、他の普及啓発講座等に講座の内容を盛り込み実施。		東浅川保健福祉センター

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
234	2-⑤	高齢者の生きがいがいづく	水中ウォーキング	高齢者・障害者に対して、腰や膝への負担が軽い水中運動によって肩こりや腰痛予防につなげる。	24回446人	参加者の満足度	高齢者・障害者に対して、腰や膝への負担が軽い水中運動によって肩こりや腰痛予防につなげる。	A	申込者が多く、内容に満足したという意見を多く頂いている。継続参加や回数増加の希望もあり、高い満足度である。	浅川	高齢者・障害者	市単独		156	継続		156	東浅川保健福祉センター
235	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	健康プラザ	高齢者と障害者を対象として体操とレクリエーションによって心身のリフレッシュを図る。	20回1315人	参加者の満足度	高齢者と障害者を対象として体操とレクリエーションによって心身のリフレッシュを図る。	B	申込みが少なく出席率も低かった。	浅川	高齢者・障害者	市単独		113	廃止・終了	申し込みも少なく、参加者からも別の講座開催への要望もあり、他の講座へ移行し、本事業は廃止		東浅川保健福祉センター
236	2-⑤	高齢者の生きがいがいづく	いきいき教室	高齢者の身体機能高め、要介護状態になることを予防する。	2コース 全35回 述544人	応募者・参加者の人数	高齢者の身体機能高め、要介護状態になることを予防する。	B	継続参加希望者も多く、介護予防に対する意識向上を図れ教室の目的である閉じこもり予防に繋がった。。	浅川	高齢者(65歳以上)	市単独		464	廃止・終了	参加者のリピータも多く、事業目的から地域に出向いて行った講座へ実施方法を見直し、本事業については廃止		東浅川保健福祉センター
237	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	楽しい歌声	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	オルガンの伴奏で合唱し、健康の増進、教養の向上、生きがいの高揚を図る。参加者の自主的な運営で実施。	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供。	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	高齢者障害者	共催		60	継続		60	南大沢保健福祉センター
238	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティアレクリエーション	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	音楽を媒介としてコミュニケーションを図る。 開催回数 12回 延参加人数 230人	参加者の満足度	参加者健康増進と生きがいの高揚。	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	高齢者障害者	共催		0	継続		0	南大沢保健福祉センター
239	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座	介護予防に関する知識の普及・啓発をする。	開催回数 16 回 述べ参加人数 267 人	参加者の満足度	介護予防に関する知識の普及・啓発をする。	A	各講座の満足度高く知識普及と啓発ができたため。	由木	高齢者	市単独		29	継続		29	南大沢保健福祉センター
240	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	若さアップ運動教室(前期・中期・後期)	一般高齢者の身体機能高め、要介護に陥ることを防ぐ。	開催回数 32 回 述べ参加人数 619人	参加者の満足度	一般高齢者の身体機能高め、要介護に陥ることを防ぐ。	A	アンケートより参加者の体力アップが認められロコモ予防に効果があったため。	由木	高齢者(介護認定を受けていない方)	市単独		231	継続		231	南大沢保健福祉センター
241	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	体力アップ運動教室(前期・中期・後期)	一般高齢者の身体機能高め、要介護に陥ることを防ぐ。	開催回数 33 回 述べ参加人数 611 人	参加者の満足度	一般高齢者の身体機能高め、要介護に陥ることを防ぐ。	A	アンケートより定期的な運動習慣が身に付き身体機能高めることができたため。	由木	高齢者(介護認定を受けていない方)	市単独		396	継続		396	南大沢保健福祉センター
242	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	歌って楽しく健康づくり教室(前期・後期)	一般高齢者の身体機能高め、要介護に陥ることを防ぐ。	開催回数 24 回 述べ参加人数 530 人	参加者の満足度	一般高齢者の身体機能高め、要介護に陥ることを防ぐ。	A	アンケートより教室を楽しみにされている方が多く、生きがい作りができたため。	由木	高齢者(介護認定を受けていない方)	市単独		288	継続		288	南大沢保健福祉センター
243	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	トリム体操教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・身障者の初心者を対象とした教室でトリム体操の初歩を学ぶ。 開催回数 4回 延参加人数 72人	参加者の満足度	参加者の健康増進と生きがいの高揚。	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	高齢者障害者	市単独		20	継続		20	南大沢保健福祉センター

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
244	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初めてのパソコン	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	初心者を対象とした教室でパソコンの基本操作を学び、高齢者や障害者の生きがいと自立を促進する。	参加者の満足度	参加者の健康増進と生きがいの高揚。	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	高齢者障害者	市単独		400	継続		400	南大沢保健福祉センター
245	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	らくらくヨガ	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・身障者の初心者を対象とした教室でヨガの初歩を学ぶ。 開催回数 4回 延参加人数 79人	参加者の満足度	参加者の健康増進と生きがいの高揚。	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	高齢者障害者	市単独		20	継続		20	南大沢保健福祉センター
246	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア 囲碁入門(前期・後期)	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	初心者を対象とした教室で囲碁の初歩を学び、高齢者・障害者の健康の増進、教養の向上、生きがいの高揚を図る。	参加者の満足度	参加者の健康増進と生きがいの高揚。	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	高齢者障害者	共催		0	継続		0	南大沢保健福祉センター
247	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア 絵手紙(前期・後期)	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	初心者を対象とした教室で絵手紙の初歩を学び、高齢者・障害者の健康の増進、教養の向上、生きがいの高揚を図る。	参加者の満足度	参加者の健康増進と生きがいの高揚。	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	高齢者障害者	共催		0	継続		0	南大沢保健福祉センター
248	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ゆうゆうシニア講座	健康維持やいきがいを持ちつづけ、生涯にわたる学習意欲促進を目指す。	44講座実施。延べ1610名の参加 【参考】26年度48講座を実施。延べ1,874名が参加した。	応募者・参加者の人数	高齢者に学習機会を提供し、学習意欲の充足に努め、学習活動の支援を図る。	C	事業数、受講者数ともに減少したため。	全市域	高齢者	市単独		1,154	継続		1,144	学習支援課
249	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	家族介護教室	高齢者がいつまでも健やかで安心して生活できる地域社会を目指す。	開催回数432件 参加人数6,804人(延べ)	応募者・参加者の人数	担当地域の要援護高齢者の家族等に対し、介護方法、介護者自身の健康管理等の技術・知識を習得してもらうために家族介護教室を開催。	B	前年度と比較して回数は増加したが、参加人数は減少した。	全市域	高齢者	委託			継続			高齢者福祉課
250	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	トリム体操	障害者の生きがいと自立を促進する。	34回述2719人	参加者の満足度	障害者の生きがいと自立を促進する。	A	多くの参加者が継続して参加している。参加者が楽しんでいる様子が見られ、高い満足度である。	浅川	障害者	市単独		221	継続		156	東浅川保健福祉センター
251	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	障害者教室	障害者の生きがいと社会参加を促進する。	22回128人	応募者・参加者の人数	障害者の生きがいと社会参加を促進する。	B	参加者にとって教室参加が外出、他者との交流の機会となった。	浅川	障害者	市単独		152	継続		174	東浅川保健福祉センター
252	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	ぶんぶん(知的障害児教室)	運動・絵画・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	開催回数 12回 述べ参加人数 205人	参加者の満足度	運動・絵画・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	A	アンケートより、活動を通して時の成長を感じられたとの声が多かったため。	由木	障害者(愛の手帳を持つ小未就学児)	市単独		186	継続		186	南大沢保健福祉センター
253	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	リズム(知的障害者教室)	運動・絵画・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	開催回数 12回 述べ参加人数 110人	参加者の満足度	運動・絵画・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	A	参加者全員が昨年から継続参加。地域の祭りでも発表される様子があった。	由木	障害者【愛の手帳を持つ18歳～40歳位）	市単独		83	継続		83	南大沢保健福祉センター

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事 業 名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担 当 課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目 標	所管課 事業評価	評 価 理 由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「 その他 」を 選択した場合 は 内容を記入	決 算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「 廃止・終了 」を 選択した場合 はその理由を記入	予 算 (千円)	
254	2-⑥	生 共 社 会 の 画 実 ・ 現 共	図画工作 (知的障害者・児教室)	運動・絵画・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	開催回数 12回 述べ参加人数 171人	参加者の満足度	運動・絵画・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	A	参加者は毎回の活動を楽しんでいる様子あり。途中で辞退する方はいなかった。	由木	障害者(愛の手帳を持つ小学生～40歳位)	市単独		94	継続		94	南大沢保健福祉センター
255	2-⑥	共 同 会 の 画 実 ・ 現 共 生 社	ぶるーむ (身体障害者運動教室)	運動・絵画・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	開催回数 12回 述べ参加人数 239人	参加者の満足度	運動・絵画・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	A	継続参加の方が多く参加することが生活の中の一つの目標になっている方が多い。	由木	障害者(18歳以上の身体障害者手帳保持者)	市単独		175	継続		175	南大沢保健福祉センター
256	2-⑥	共 同 会 の 画 実 ・ 現 共 生 社	ふれあいコンサート	「障害者週間」のイベントとして、障害者の音楽愛好家の発表の場として、また一般からの参加も促し、広く交流することで障害者福祉の啓発を図る	回数:1回 参加者:120名 (前年度比133.3%)	応募者・参加者の人数	90名	B	障害を持つ音楽愛好家に発表の場を提供し、障害者と健常者が一体となって楽しんだ。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		32	継続		35	障害者福祉課
257	2-⑥	共 同 参 画 実 ・ 現 共 生 社 会 の	ハーモニーのタペ	市民と障害者の「ふれあいの場」として行い、障害者福祉に対する理解を深めると共に、正しい発声と唱歌の技術を身につけ、日本の四季を折り込んだ心に沁みる歌をうたうことで、生活の一部として豊かな音楽性を学ぶ。	回数:32回 利用者:510名 (前年度比107.6%)	応募者・参加者の人数	612名	B	音楽を通じて、障害理解を深めるとともに、利用者へ生活の楽しみを供与できた。	本庁	障害者	指定管理者		264	継続		264	障害者福祉課
258	2-⑥	共 社 会 の 画 実 ・ 現 共 生	夕涼み会	すぎな愛育園と共催で実施、それぞれの施設の事業と障害者福祉に果たす役割を地域に伝え、障害児・者を交えて交流を図る	回数:1回 参加者:318名 (前年度比83.5%)	応募者・参加者の人数	400名	B	茶道や陶芸の色付の体験コーナーを設け、センターでの講習会の様子を地域住民に紹介できた。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		25	継続		40	障害者福祉課
259	2-⑥	共 同 参 画 実 ・ 現 共 生 社 会 の	パソコン学習会	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す	回数:36回 利用者:1,152名 (前年度比98.1%)	応募者・参加者の人数	900名	B	パソコン講習会のアフターフォローとして機能した。外出が困難な方への訪問相談も実施。	本庁	障害者	指定管理者		630	継続		630	障害者福祉課
260	2-⑥	共 同 参 画 実 ・ 現 共 生 社 会 の	フラワーアレンジメント教室	フラワーアレンジメントを通じて、生活に潤いと明るさをもたせる。	回数:10回 利用者:162回 (前年度比86.2%)	応募者・参加者の人数	180名	B	美的感覚を養成し、生活の楽しみを供与できた。講習終了後も、継続して取り組む方が多い。	本庁	障害者	指定管理者		149	継続		143	障害者福祉課
261	2-⑥	共 同 会 の 画 実 ・ 現 共 生 社	囲碁教室	囲碁という知的ゲームを通して、知的操作力を維持、向上させる。加えて孤独になりがちな障害者に交流の場を提供し、社会性の向上に寄与する。	回数:22回 利用者:227名 (前年度比88.3%)	応募者・参加者の人数	192名	B	対面型のゲームは相手との交流も深まり、社会性の向上に寄与した。	本庁	障害者	指定管理者		66	継続		72	障害者福祉課
262	2-⑥	共 社 会 の 画 実 ・ 現 共 生	精神障害者の絵画教室	絵画制作を通じて、自然な形で話し合ったり、行動を共にすることで孤独がちな人が再び元の生活へと自信を取り戻していくための支援をしていく	回数:19回 利用者:131名 (前年度比161.7%)	応募者・参加者の人数	138名	A	参加率の向上は、こもりがちな精神障害者を対象とした事業としては、一定の成果といえる。	本庁	障害者	指定管理者		124	継続		156	障害者福祉課
263	2-⑥	共 同 参 画 実 ・ 現 共 生 社 会 の	失語症言語リハビリ教室	言語機能の障害を受けた人に対して機能回復と維持を指導訓練する。	回数:62回 利用者:613名 (前年度比88.8%)	訓練の実施回数	756名	B	言語聴覚士が利用者の希望や障害状況を、個別に相談・把握することで適切な訓練を実施した。	本庁	障害者	指定管理者		1,840	継続		1,835	障害者福祉課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
264	2-⑥	共同 会 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生 社	聴障者のつどい	聴覚障害者の交流と情報交換の場として開催し、併せて教養の向上を図る	回数:4回 利用者:224名 (前年度比106. 2%)	応募者・参加者の人数	240名	B	マイナンバー等、時事的な話題について情報共有を図った。多様なテーマで講演会を行った。	本庁	障害者	指定管理者		152	継続		152	障害者福祉課
265	2-⑥	共同 会 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生 社	障害者作業所等作品展 示即売会	市内作業所等の作品を展示・紹介をしながら福祉作業所等について理解を深めてもらう。また、購入希望者には頒布する	回数:1回 出展施設:25団体 (前年度比113. 6%) 売上:324, 230円 (前年度比100. 03%)	出展する施設数	25団体	B	出展施設は3団体増加。 売上は例年並みであり、周知を出展団体や市にも依頼していく。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		2	継続		0	障害者福祉課
266	2-⑥	共同 会 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生 社	面づくり教室	手先の巧緻性を養いながら、面をつくる楽しさになれる。	平成27年度実施せず	応募者・参加者の人数	28名	D	講師の体調不良により実施しなかったが、希望者には個別に指導するなど可能な範囲で対応した。	本庁	障害者	指定管理者		0	継続		0	障害者福祉課
267	2-⑥	共同 会 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生 社	七宝焼教室	豊かな色彩感覚と指先の細かな動作を通して、手先を訓練するとともに豊かな生活を築く	回数:23回 利用者:136名 (前年度比73. 1%)	応募者・参加者の人数	150名	B	手先の細かな動きを必要とする、訓練性の高い作業があるが、利用者は楽しみながら取り組んだ。	本庁	障害者	指定管理者		0	継続		0	障害者福祉課
268	2-⑥	共同 会 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生 社	書道教室	かな書道の基礎を着実に学習し、更に創造性と表現力を会得することで心豊かな生活を築けるよう書の心と技を学ぶ。	回数:12回 利用者147名 (前年度比108. 9%)	応募者・参加者の人数	120名	B	指先の感覚と、集中力が養える講習会であり、利用者の意欲も高い。	本庁	障害者	指定管理者		78	継続		78	障害者福祉課
269	2-⑥	共同 会 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生 社	ふれあい運動会	障害者と市民との交流を通して、障害に関する理解を促進する。	回数:1回 参加者:1523名 (前年度比95. 1%)	応募者・参加者の人数	1, 800名	B	雨天延期のため、参加施設は少なかったが参加者は例年並であった。多数のボランティアの協力が得られた。	本庁	障害者	実行委員会		2,827	継続		400	障害者福祉課
270	2-⑥	共同 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生 社 会 の	福祉講演会	講演会や映画上映会などを通して、障害者の福祉に貢献をしている方々を講演者として招き、障害者福祉の向上に寄与する	回数:1回 参加者56名 (前年度比175%)	応募者・参加者の人数	20名	B	映画「ちづる」の上映と監督による講演を実施。自閉症がテーマの映画であり、参加者からは多様な感想が寄せられた。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		52	継続		48	障害者福祉課
271	2-⑥	共 社 会 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生	障害者文化展	障害当事者に対し作品発表の機会を提供すると共に、広く障害者福祉の啓発につなげる。また賞を贈り、今後の創作を奨励する	出展作品:189点 (前年度比98. 4%) 来場者:653名 (前年度比104. 4%)	出展作品数	550名 (来場者)	B	市内障害者施設や特別支援学級など、出展団体は多様となっている。	本庁	障害者	指定管理者		119	継続		125	障害者福祉課
272	2-⑥	共同 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生 社 会	パソコン講習会	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す	回数:36回 利用者:505名 (前年度比88. 9%)	応募者・参加者の人数	240名	A	利用者から要望の多かったタブレット端末を今年度は導入。環境に適応した実践的な講習を目指す。	本庁	障害者	指定管理者		914	継続		1,167	障害者福祉課
273	2-⑥	共 社 会 参 画 実 ・ 現 ・ 共 生	プール開放	プールを一日開放し、盛夏のひとつときを楽しく過ごし、心身障害者(児)およびその介助者等の交流を深める。	回数:1回 参加者:175名 (前年度比88. 3%)	応募者・参加者の人数	200名	B	一般利用者への事前周知など、陵南プールの協力のもと安全に実施できた。	浅川	障害者	市単独		7	継続		10	障害者福祉課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
274	2-⑥	共同 会の 実 現 ・ 共 生 社	折り紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、目と手の供応動作の訓練になると共に、つくりあげる楽しさを味わう。	回数:12回 利用者:152名 (前年度比98.7%)	応募者・参加者の人数	156名	B	慣れ親しんだ折り紙に利用者は楽しみながら取り組んでいる。	本庁	障害者	指定管理者		0	継続		0	障害者福祉課
275	2-⑥	共同 会の 実 現 ・ 共 生 社	茶道教室	日本の伝統文化にふれながら、礼儀作法や日常のマナーを身につけて、生活にゆとりと豊かさをもてるように茶の精神と技を学ぶ。	回数:18名 利用者:176名 (前年度比94.1%)	応募者・参加者の人数	240名	B	夕涼み会など、発表の場を提供することで、利用者の意識も向上し、充実した講習となっている。	本庁	障害者	指定管理者		95	継続		115	障害者福祉課
276	2-⑥	共同 会の 実 現 ・ 共 生 社 会	読話学習会	中途失聴・難聴者の社会参加促進に寄与する	回数:12回 利用者:122名 (前年度比109.9%)	応募者・参加者の人数	108名	B	都内でも少ない、中途障害者を対象とした講習であり、関係機関と協力しながら充実を図った。	本庁	成人	指定管理者		186	継続		198	障害者福祉課
277	2-⑥	共 社 会 の 実 現 ・ 共 生	子ども点字・手話教室	点字・手話だけではなく、福祉全般の啓発をし、子どものうちから偏見のない心を育てる	回数:10回 利用者:317名 (前年度比72.9%)	応募者・参加者の人数	360名	B	「手話舞踊」などの特別公演を開催するなど、楽しみながら学習できる環境づくりに取り組んでいる。	本庁	子ども	指定管理者		172	継続		208	障害者福祉課
278	2-⑥	共同 参 画 の 実 現 ・ 共 生 社 会	見えにくくなった方の学習会	途中で視覚に障害を負った方を主な対象として、点字の学習、歩行訓練、ADL訓練を行い、日常生活の向上を図る	回数:29回 利用者:437名 (前年度比93%)	応募者・参加者の人数	320名	B	仲間作りや生活の相談など、中途障害者の支えとなるセンターの重点事業であり、充実を図った。	本庁	障害者	指定管理者		310	継続		336	障害者福祉課
279	2-⑥	共同 参 画 の 実 現 ・ 共 生 社	陶芸教室	てびねりによる和陶芸を行うことで、手先の巧緻性を養うと共に土の感触を通して、情緒の安定を図る。また、色付けや絵付けを通して創造の喜びを味わう。	回数:27回 利用者:349名 (前年度比103.6%)	応募者・参加者の人数	270名	B	力の強弱が難しい手びねりは訓練性の高い作業である。障害者文化展に出展する利用者も見られた。	本庁	障害者	指定管理者		176	継続		169	障害者福祉課
280	2-⑥	共同 参 画 の 実 現 ・ 共 生 社 会	中途失聴・難聴者のための手話講習会	途中で失聴した人や難聴者がコミュニケーションの一手段として手話を習得し生活の中で生かしていく	初級 回数:20回 利用者:332名 (前年度比111%) 中級 回数:20回 利用者472名 (前年度比139.6%) 上級 回数:20回	応募者・参加者の人数	660名	A	生活や習熟度に応じられるよう、繰り返し講座に参加できる体制を整えることで、学びやすい環境を提供している。	本庁	障害者	指定管理者		866	継続		868	障害者福祉課
281	2-⑥	共 社 会 の 実 現 ・ 共 生	ことばの教室	基本的言語発声を軌道に載せる助けとなる機能訓練	回数:26回 利用者:281名 (前年度比91.5%)	訓練の実施回数	224名 (利用者)	B	保護者同席とし、子育て上の悩みや相談に適切に応じることで、訓練効果を高めている。	本庁	障害者	指定管理者		435	継続		434	障害者福祉課
282	2-⑥	共同 参 画 の 実 現 ・ 共 生 社 会	手話通訳者養成講座	手話通訳者統一試験合格を目指す方のための講座	回数:30回 利用者363名 登録者:11名 修了者:11名 (修了率100%)	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	270名 (利用者)	B	「手話通訳者統一試験」の合格者は3名。利用者は、サークルでの活動を続け、次年度の合格を目指す。	本庁	手話通訳者養成講座受講のための試験合格者	指定管理者		285	継続		285	障害者福祉課
283	2-⑥	共 社 会 の 実 現 ・ 共 生	機能回復訓練	身体障害者の四肢体幹機能の回復・維持を専門的に指導訓練する。	回数:89回 利用者:763名 (前年度比98.1%)	訓練の実施回数	828名 (利用者)	B	個別対応により短時間でも集中して訓練に取り組める環境を提供している。	本庁	障害者	指定管理者		2,628	継続		2,803	障害者福祉課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
284	2-⑥	共同参画の実・共生社	染め紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、手先の良い訓練になると共に、偶然にできる模様の面白さ、色彩の組み合わせを楽しむ。	回数:12回 利用者:82名 (前年度比102.5%)	応募者・参加者の人数	108名	B	色彩感覚の養成と手先の訓練を兼ね備えた講習として、利用者の生活向上に寄与した。	本庁	障害者	指定管理者		0	継続		0	障害者福祉課
285	2-⑥	共同参画の実・共生社	藤手芸教室	バスケット等を籐や蔦を曲げ、編んで作ることで手先の動作訓練を行うと共に自然を利用して生活に活かした先人の知恵と技術を受け継ぐことで障害者の豊かな生活の質の向上に資する	回数:4回 利用者:32名 (前年度比103.2%)	応募者・参加者の人数	24名	B	力と根気を要する籐編みは、高い訓練性と達成感を利用者に提供している。	本庁	障害者	指定管理者		52	継続		52	障害者福祉課
286	2-⑥	共同参画の実・共生社	国際理解講座	外国の文化についての教養を高める	8講座実施。延べ426名の参加。 【参考】26年度3講座実施。延べ235名が参加した。	応募者・参加者の人数	国際理解の一助となる事業を実施することで他国への興味を促し、今後の学習意欲向上を図る。	A	事業数・受講者数ともに大幅に増加した。	全市域	対象者制限なし	市単独		114	継続		113	学習支援課
287	2-⑥	共同参画の実・共生社会の	国際交流講座	実生活に即した日本語教養を高める	生涯学習センター(クリエイトホール)午前コース、夜間コース、生涯学習センター南大沢分館コース合わせて年間76回実施し、延べ852名の参加があった。 【参考】26年度年間76回実施。延べ934名が参加した。	応募者・参加者の人数	八王子に暮らす外国人の方のために日本語の学習支援及び交流の場を提供する。	C	参加者数が減少したため。	全市域	外国人	市単独		423	継続		369	学習支援課
288	2-⑥	共同参画の実・共生	男女共同参画週間記念講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会を開催する。	今回は「スポーツ」の視点から男女共同参画について考える講演会を実施した。 ＜参加者数・満足度＞ 45名(満足度100%)	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する。	A	参加者の満足度が100%であるため。	本庁	対象者制限なし	市単独		58	継続		79	男女共同参画課
289	2-⑥	共同参画の実・共生社	就労支援	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座を実施する。	＜延べ参加者数・満足度＞ ・【ビジネス基礎講座】49名(満足度100%) ・【ひとり起業】69名(満足度100%) ⇒【満足度100%】	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する。	A	参加者の満足度が100%であるため。	本庁	成人	市単独		221	継続		226	男女共同参画課
290	2-⑥	共同参画の実・共生社会	男女共同参画の啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座を実施する実施する。	＜延べ参加者数・満足度＞ ・【私の気持ち】58名(満足度85.7%) ・【防災セミナー】66名(満足度96.3%) ・【LGBT】20名(満足度95.0%) ⇒【満足度平均92%】	参加者の満足度	市民に男女共同参画及について啓発する。	A	参加者の満足度が概ね90%以上であるため。	全市域	対象者制限なし	市単独		197	継続		166	男女共同参画課
291	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実	健康・メディア	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座を実施する。	＜延べ参加者数・満足度＞ ・【フレッシュアップ】63名(満足度100%) ・【月経のお話】17組36名(満足度88.2%) ・【思春期男子】21名(満足度95.2%) ・【メディアリテラシー】15名(満足度100%) ⇒【満足度平均95%】	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する。	A	参加者の満足度が概ね90%以上であるため。	本庁	対象者制限なし	市単独		103	継続		143	男女共同参画課
292	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	DVの啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座を実施する。	＜参加者数・満足度＞ ・【デートDV防止講座】110名(満足度96.4%) ・【DV出前講座(看護学校)】39名(満足度97.4%) ・【教職員向けデートDV防止講座】13名(満足度91.7%) ・【デートDV出前講座】212名(満足度97.1%) ⇒【満足度平均95.7%】	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びDVについて啓発する。	A	参加者の満足度が概ね90%以上であるため。	本庁	対象者制限なし	市単独		31	継続		38	男女共同参画課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
293	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	「チャレンジ企画」支援事業	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座を実施する。	<参加者数> ①【昔遊び】8組18名 (満足度100%) ②【おとなだって絵本】20名 (満足度100%) ⇒【満足度100%】	参加者の満足度	市民団体が主体となり、市民に男女共同参画について啓発する。	A	参加者の満足度が100%であるため。	本庁	対象者制限なし	共催		21	継続		34	男女共同参画課
294	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	第25回女と男のいきいきフォーラム八王子	男女共同参画について市民がともに考えることを目的に、女と男のいきいきフォーラム八王子を開催する。	第25回「女と男のいきいきフォーラム八王子」を平成28年2月27日に開催。 講演会参加者 108名 分科会参加者 40名 団体企画参加者 91名 計 239名	協働事業の推進	市民に男女共同参画について啓発する。	B	市民とともにフォーラムを開催し、広く市民に男女共同参画について啓発することができたため。	本庁	対象者制限なし	実行委員会		256	継続		299	男女共同参画課
295	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ワーク・ライフ・バランスの啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座を実施する。	<延べ参加者数・満足度> ・【ヘビータンス】9組26名 (満足度100%) ・【ヘビーマッサージ】10組30名 (満足度100%) ・【男の腕まくり】89名 (満足度94.1%) ・【父子料理】19組38名 (満足度100%) ・【男性の介護教室】21名 (満足度100%) ⇒【満足度平均98.8%】	参加者の満足度	市民に男女共同参画及及びワーク・ライフ・バランスについて啓発する。	A	参加者の満足度が概ね90%以上であるため。	本庁	成人	市単独		82	継続		151	男女共同参画課
296	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	男女共同参画週間記念映画会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための映画会を開催する。	男女共同参画を啓発するための映画会を実施した。(共催) <延べ参加者数・満足度> 【ホーム・スイート・ホーム】24名 (満足度96.7%)	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する。	A	参加者の満足度が概ね90%以上であるため。	本庁	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	男女共同参画課
297	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	市民団体による講座	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座を実施する。	男女共同参画センター登録団体による公開講座を実施した。 <参加者数・満足度> 【八王子女性史サークル】43名 (満足度87.1%)	参加者の満足度	市民団体が主体となり、市民に男女共同参画について啓発する。	B	参加者の満足度が80%以上であるため。	本庁	対象者制限なし	共催		27	継続		58	男女共同参画課
298	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	女性に対する暴力をなくす運動期間講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会を開催する。	【子どもたちを守るために知ってほしいDVの話】 <延べ参加者数・満足度> 27名(満足度95.2%)	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びDVについて啓発する。	A	参加者の満足度が90%以上であるため。	本庁	対象者制限なし	市単独		26	継続		69	男女共同参画課
299	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	外国人のための防災訓練(立川防災館)	地震などの災害に不慣れた外国人に防災訓練を体験し、災害への対応を身につけていただく。	外国人市民が立川防災館で地震体験、応急救護訓練などを行った。 実施日:2月26日 参加者:6名	応募者・参加者の人数	参加者数:16人	B	参加者数が目標を下回ったが、参加者数が目標を下回ったため。	市外	外国人	市単独		1	継続		2	多文化共生推進課
300	2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	外国人のための企業めぐり	本市での就労を希望する外国人留学生に、市内の企業や施設を見学いただき、理解を深めてもらう。	日本国内及び八王子市内での就労を希望する外国人留学生が日本での就労についての理解を深めるため、市内及び周辺の企業を見学した。 実施日:12月2日 参加者:11人	応募者・参加者の人数	参加者数:16人	B	参加者数が目標を下回ったが、参加者のアンケート満足度は高かったため。	全市域	外国人	補助		51	継続		52	多文化共生推進課 (八王子国際協会)
301	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地域防犯リーダー養成講習会(フォローアップ研修会)	市民の防犯意識の高揚を図り、安全なまちづくりに向け自主的に防犯パトロールを行う市民を育成する。	防犯パトロールを行うための心構えや具体的事例による対処法などについて、講義を行った。	応募者・参加者の人数	平成29年度までに参加者累計1000人を達成する。	A	防犯に関する基礎的知識を学び、防犯リーダーとして地域で防犯活動を広めるためのノウハウを周知出来たため。	本庁	町会等で防犯活動をしている者	委託		515	継続		470	防犯課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
302	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	一般高齢者施策の地域介護予防活動支援事業として、広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成するため。	健康づくりサポーター新規登録者数 32名	協働事業の推進	一般高齢者施策の地域介護予防活動支援事業として、広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成するため。	B	健康政策課、3保健福祉センターで全市で広く健康づくり活動が出来るサポーター養成を養成出来きた。	全市域	成人(健康づくりサポーターとして活動できる方)	市単独		284	継続			健康政策課 大横・東浅川・南大沢保健福祉センター
303	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会(昼間・夜間)	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	昼の部 34回758人 夜の部 34回1048人	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	B	夜のコースは修了率が高い一方で昼のコースは修了率が低かった。	浅川	16歳以上の初心者	市単独		811	継続		537	東浅川保健福祉センター
304	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	34回912人	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	A	修了率がとても高く、アンケートでさらにレベルアップしたいという声が多数あった。	浅川	16歳以上で初級修了者または同程度の技量をもらった方	市単独		801	継続		537	東浅川保健福祉センター
305	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	音訳サークル「こだま」から講師、補助が派遣され、毎年5月から9月まで、週1回2時間開講している。	応募者・参加者の人数	視覚障害者向け音訳ボランティアを育成し、視覚障害者に対する理解を深める。	A	16名募集中、9名の応募があった。9名のうち、出席率7割以上の7名に修了証を授与した。事業参加者人数は、延べ63名が参加した。	由木	16歳以上の初心者	補助		50	継続		50	南大沢保健福祉センター
306	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	八王子市聴覚障害者協会から講師、助手、補助が派遣され、毎年5月から2月まで通年で開講している。外部講師を招いて講演会を開催した。	応募者・参加者の人数	初心者が聴覚障害者の講師や助手・補助者から、手話の基礎を学び聴覚障害者に対する理解を深める。	A	48名募集中、36名の応募があった。36名のうち、出席率7割以上の22名に修了証を授与した。事業参加者人数は、延べ812名が参加した。	由木	16歳以上の初心者	補助		527	継続		527	南大沢保健福祉センター
307	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	スキルアップ	健康づくりサポーター(介護予防運動ボランティア含む)が不安なく地域活動を展開できるよう支援する。	開催回数 3回 述べ参加人数 66人	事業の拡大	健康づくりサポーター(介護予防運動ボランティア含む)が不安なく地域活動を展開できるよう支援する。	A	参加者からの人気が高く地域活動を展開するまでの支援ができたため。	由木	成人(健康づくりサポーターとして活動できる方)	市単独		29	継続		29	南大沢保健福祉センター
308	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	八王子市聴覚障害者協会から講師、補助が派遣され、毎年5月から2月まで通年で開講している。外部講師を招いて講演会を開催した。	応募者・参加者の人数	中級者が聴覚障害者の講師や補助者から手話を学び、技術の向上と聴覚障害者に対する理解を深める。	A	24名募集中、15名の応募があった。15名のうち、出席率7割以上の13名に修了証を授与した。事業参加者人数は、延べ431名が参加した。	由木	初級修了者または同程度の技術を持つ方	補助		340	継続		340	南大沢保健福祉センター
309	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	はちおうじ市民塾	これから定年される方や定年を迎えた方を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりとする。	平成27年度受講者数 ◆基礎課程 9人 ◆専門課程 ・CBコース 11人 ・地域活動実践コース 6人	受講後、地域で市民活動に携わっている方の割合	全受講者数のうち5割以上	B	受講後の動向について、ヒアリング等で把握しているが、概ね5割を超える方が何らかの活動に携わっているため。	本庁	対象者制限なし	委託		4,657	継続		4,556	協働推進課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
310	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動入門講座 (アクティブ市民塾)	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	平成26年度 12回実施(月1回)、参加者:399人 平成27年度 12回実施(月1回)、参加者:315人	応募者・参加者の人数	参加者数前年度比増	B	参加者数が前年度比で減少したが、各活動分野における市民活動を、活動の現場や体験を通じて理解してもらうことができ、アンケート結果も満足度が高かったため。	本庁	対象者制限なし	委託		指定管理料の中で実施	継続		指定管理料の中で実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
311	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動スキルアップ講座	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	26年度 1回実施、53名参加 27年度 1回実施、43名参加	応募者・参加者の人数	参加者数前年度比増	B	参加者数が前年度比で減少したが、市民活動団体のニーズに合わせた講座を開催するなど、より充実した内容で実施し、アンケート結果も満足度が高かったため。	本庁	対象者制限なし	委託		指定管理料の中で実施	継続		指定管理料の中で実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
312	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	コミュニティ講座	地域住民の交流の場づくり、地域コミュニティの育成を図る。	講座の実施 26年度15回延べ227名 27年度12回延べ145名	応募者・参加者の人数	講座参加をきっかけに受講生によるサークル化に結び付けコミュニティの活性化を図る。	B	参加人数が減少したが、1講座がサークル化に結び付いたため。	全市域	成人	補助		151	継続		235	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団)
313	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動支援講座	市民活動団体関係者のスキルアップ及びネットワーク作り。	1回実施 参加団体:4	協働事業の推進	市民活動団体間の交流を図り、連携につなげる。	B	市民活動団体間の交流を図り、連携につなげるための場となったため。	本庁	市民活動団体に参加している方のみ	委託		指定管理料の中で実施	継続		指定管理料の中で実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
314	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	八王子城跡ガイドボランティア	郷土の歴史を学んだ市民に実践の場を提供し、郷土愛の醸成を図るとともに、市民との協働による史跡の活用を行う。	27年度は35人の体制でボランティア活動を行い、ガイドをした人数は延べ5,843人だった。研修会の開催と自主活動の場を提供した。	協働事業の推進	ガイド人数1,000人	A	目標を大きく達成し、見学者からも好評を得ているため。	元八王子	対象者制限なし	市単独		11	継続		11	文化財課
315	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	手話通訳者養成講座入門(昼の部・夜の部)	手話通訳者を目指すボランティア養成	昼の部 回数:34回 利用者:675名 登録者:22名 修了者:19名 (修了率86. 3%) 夜の部 回数:34回 利用者:630名 登録者:20名 修了者:18名 (修了率90%)	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	昼の部:680名 (利用者) 夜の部:680名 (利用者)	B	高い修了率からも分かるように、受講者の意欲は高く、修了者の大半が養成講座への進級を希望する。	本庁	成人	指定管理者		666	継続		666	障害者福祉課
316	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会(夜の部)	ボランティア養成	回数:34回 利用者:938名 登録者:32名 修了者:26名 (修了率81. 2%)	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	816名 (利用者)	B	修了率からも高水準であり、受講者も意欲的である。養成講座(入門)への進級希望者も多い。。	本庁	成人	指定管理者		503	継続		503	障害者福祉課
317	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会(初級・中級)	視覚障害者が利用する録音図書や対面朗読で対応できる朗読ボランティアの養成	※平成27年度は中級を実施 回数:8回 利用者:123名 登録者:19名 修了者:17名 (修了率89. 4%)	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	160名 (利用者)	B	修了率は高く、事業目標である朗読ボランティアの養成に対し一定の成果をあげられた。	本庁	成人	指定管理者		120	継続		98	障害者福祉課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事 業 名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担 当 課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評 価 理 由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「 その他 」を選 択した場 合は内容 を記入	決 算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向 性】で「 廃止・終了 」を選 択した場 合はその理 由を記入	予 算 (千円)	
318	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	点字講習会	視覚障害者への理解を深め、視覚障害者のための点字本等の製作の要望に応えられるボランティアを養成する	入門(昼の部、夜の部合計) 回数:30回 利用者:424名 登録者:22名 修了者:19名 (修了率86.3%) 中級(昼の部、夜の部合計) 回数:30回 利用者:370名 登録者:16名 修了者:15名 (修了率93.7%)	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	600名 (利用者)	B	点字学習だけでなく、視覚障害者用の機器の紹介やアイマスク体験など、学習に体験的要素を取り入れた。	本庁	成人	指定管理者		987	継続		987	障害者福祉課
319	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	要約筆記講習会	手話を使えない中途失聴・難聴者の通訳手段である要約筆記の啓発	回数:21回 利用者:220名 登録者:11名 修了者:9名 (修了率81.8%)	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	297名 (利用者)	B	「全国統一要約筆記者認定試験」合格者2名。利用者は、サークルでの活動を続け、次年度の合格を目指す。	本庁	成人	指定管理者		736	継続		1,075	障害者福祉課
320	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	生涯学習 コーディネーター養成講座	市民の生涯学習活動を支援する人材を養成する。	全7回の講座を実施。24名の募集定員に対し、16名の応募、16名の受講があり、13名が修了証の交付を受けた。	参加者の満足度	市民の生涯学習活動を支援する人材を養成する。	B	講座の主旨が受講者に伝わり切らず、また講座修了者のその後の道筋を行政側が示せていなかった。	本庁	成人	共催		82	継続		82	生涯学習政策課
321	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会(昼間)	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	手話講習会34回 672人 特別講演会 1回 27人	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	B	40名募集中、31名の応募がありスタートしたが、出席率7割以上の修了証交付者は20名だった。	本庁	16歳以上の初心者	市単独		537	継続		537	大横保健福祉センター
322	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など子どもたちの健全育成を図る。	当日欠席者を除き、応募者全員が参加できた。 募集者数 128名 応募者数 141名 当日参加者数 130名	参加者の満足度	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など子どもたちの健全育成を図る。	A	各学校から集まった相手と対局することにより、勝つ喜び、負けるくやしさ、相手を思いやる気持ちを学ぶことができ、将棋の普及振興に役だった。	本庁	子ども	委託		304	継続		352	生涯学習政策課
323	3-②	か学す機会の成果を充実	議場コンサート	議会に対する関心を高める。	各市議会定例会初日に公募の出演者によるコンサートを開催。(市内在住・在勤・在学の個人及び団体対象) 傍聴者数 H26年度 134人 H27年度 176人	事業を継続していくことを評価の指標としている。	市民の発表の場の提供 ※具体的な目標値は設定できない。	B	一定数の傍聴者があり、市民にも議場コンサートが定着しつつある。	本庁	対象者制限なし	市単独		0	継続		なし	庶務調査課
324	3-②	か学す機会の成果を充実	八王子市立小・中学校合同作品展「おるい展」	児童生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。	小・中学校が合同で作品展を行い、広く市民に鑑賞の機会を設ける。 出品校 108校 出品数 4,887点 会場 八王子市学園都市センター	来場者の満足度	80%	A	来場者のアンケート結果で、「とてもよかった」「よかった」の合計が96%	本庁	対象者制限なし	共催		2,696	継続		2,569	指導課
325	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	あさかわ写真コンクール	浅川の魅力についての認知度向上及び水辺に近づく動機づけ	「未来へつなげる私たちのあさかわ」をテーマに、中学生以下の部と一般の部に分けて作品を募集。一次審査通過の96作品を本庁ロビーやJR八王子駅自由通路等に展示・投票を行い入賞作品を決定。	応募者・参加者の人数	150人	A	23年度から5年続けたの実施。単一つの河川を対象としていながら多数の応募があり、関心の高さがうかがえる。写真の展示にも多くの市民が訪れており、浅川の魅力の認知度向上に寄与している。	全市域	対象者制限なし	共催		284 (日野市負担分差引後)	継続		593 (事業全体)	水環境整備課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事 業 名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担 当 課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実 績 (60字程度)	評価指標項目	目 標	所管課 事業評価	評 価 理 由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事 業】で「そ の他」を選 択した場 合は内容 を記入	決 算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向 性】で「廃止・終 了」を選択した 場合はその理 由を記入	予 算 (千円)	
326	3-②	か学 すび 機の 会成 果を 充実 を活 かす 機 会の 充 実	八王子市消 防団音楽隊 演奏会	消防団員の日頃の訓練成 果を披露し、消防・防災意 識の高揚を図る。	演奏会、消防団幹部の紹介	応募者・参加者 の人数	市民の音楽を通じ防災にも 触れてもらうよう引き続き継 続して開催していく	A	いちょうホー ルで約700名 の入場があっ た。	本庁	対象者制限なし	共催		3,935	継続		4,058	防災課
327	3-②	学 びの 成 果 を 充 実 を 活 か す 機 会の 充 実	八王子魅力 発見写真コン テスト	市の魅力を探索する経験を 通じて、地域に対する市民 の誇りの醸成をはかる。	市民の目線で、まちの 「ちょっとした魅力」を表現す る「写真＆一言コメントコンテ スト」を実施。 28の応募作品から、1点の 最優秀、3点の優秀作品を決 定。	応募者・参加者 の人数	応募作品40点程度	B	周知が不十分で応募作品 数が伸びな かったもの の、28年度 の市民記者 フェイスブック 開始に向け、 ページの認知 度向上を十分 に果たすこと ができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		142	廃止・終了	「市民目線での 魅力発信」の取 り組みとして は、市民記者に よるフェイスブック 記事の発信を 行っていくことと する。		都市戦略課
328	3-②	か学 すび 機の 会成 果を 充実	川口やまゆり 館まつり	生涯学習センター川口分 館を利用している団体が 日ごろの成果を発表する。	2日間開催、延べ1986名の 参加 【参考】26年度 延べ1805名の参加	応募者・参加者 の人数	生涯学習プランに基づく学習 の成果の発表の場づくり事 業の一環として実施。	B	概ね前年度 水準の参加 者数があった ため。	元八王子	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	学習支援課
329	3-②	活学 か すの 実 機 会 成 果 を 充 実	南大沢総合 センターまつ り	生涯学習センター南大沢 分館を利用している団体が 日ごろの成果を発表する。	延べ1654名の参加 【参考】26年度 1451名の参加	応募者・参加者 の人数	生涯学習プランに基づく学習 の成果の発表の場づくり事 業の一環として実施。	B	概ね前年度 水準の参加 者数があった ため。	由木	対象者制限なし	共催		0	継続		0	学習支援課
330	3-②	学 すび 機の 会成 果を 充実 を活 かす 機 会の 充 実	青年ライブス テージ	生涯学習プランに基づく学 習の成果の発表の場づく り事業の一環として実施。 出演者は、観覧者の発表 することにより今後のより 一層の練習への励みとする。	25団体または個人の出演。 延べ871名の参加。 【参考】26年度 延べ603名の参加	応募者・参加者 の人数	生涯学習プランに基づく学習 の成果の発表の場づくり事 業の一環として実施。出演 者は、観覧者の発表すること により今後のより一層の練 習への励みとする。	B	前年度水準 以上の参加 者数があった ため。	本庁	40歳未満	市単独		0	継続		0	学習支援課
331	3-②	を学 会 活 か す 機 会 の 充 実	彫刻写真コン クール	市民が彫刻を身近に感じ、 親しめるよう、彫刻を活用 した事業を行う。	第6回わがまち八王子の写 真コンクールを実施 募集機関：6月2日～12月19 日 応募者数：29名 応募点数：98点	応募者・参加者 の人数	市民が彫刻を身近に感じ、 親しめるよう、彫刻を活用 した事業を行う。	A	多くの市民が 彫刻に触れる 機会となっ た。	全市域	対象者制限なし	委託		584	継続		584	学園都市文化課
332	3-②	学 びの 成 果 を 充 実 を活 かす 機 会の 充 実	いちょうホー ルロビーコン サート	市民に身近な場所で優れた 文化や芸術を鑑賞する 機会を提供する。	4月～3月実施(49回) 多様なジャンルにわたる49 組138名の出演によるコン サートを開催し、2,513名の来 場者があった。	応募者・参加者 の人数	参加者(入場者)2,000人以上	A	年々、事業の 認知度が上 がり、レベル の高い市民 アーティスト が数多く参加 し、集客につ いても毎回コン スタントに 40～50名を確保 する人気事業 となった。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		0	継続		77	学園都市文化課 (学園都市文化ふ れあい財団)
333	3-②	学 びの 成 果 を 活 かす 機 会の 充 実	ステップアップ コンサート	ロビーコンサート出演者の 活動の場を広げる一助と するとともに、市民に様々 なジャンルの音楽に親しめ る機会を提供する。	ロビーコンサート出演者に呼 びかけて応募のあった26組 から選考を行い、4組12名に よるコンサートを開催し、194 名の来場者があった。	参加者の満足 度	参加者(入場者)の満足度 95%以上	A	ロビーコン サート出演者 に対して、ワン ランク上の 演奏披露の 場を提供し、 市民アーティ ストのステッ プアップを支 援するととも に、気楽に音 楽を楽しめる 演奏会を催す ことができた。 来場者の満 足度も95%を 達成した。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		136	継続		129	学園都市文化課 (学園都市文化ふ れあい財団)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合、内容は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
334	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	BOXギャラリー	市民の芸術活動の発表の場を提供	八王子市在住・在勤・在学者を対象に個人の作品を期間中(最長1か月)1ケースのみの展示できる市民の芸術活動の発表の場として提供。	協働事業の推進	市民の芸術活動の発表の場として年間を通じて提供。	A	年間を通して八王子市在住・在勤・在学者の延べ30人の利用があったため。絵画、写真、刺繍、絵手紙、詩とオブジェなど多岐にわたるジャンルの作品発表の場として活用された。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		0	継続		0	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
335	3-②	か学びの成果を充実させる	八王子市民文化祭	市民が文化・芸術に触れたり、参加する機会を提供し、市民文化の向上・発展を目的とする。	第63回市民文化祭を実施(10月11日～11月17日) 参加・催事件数:33 来場者数:20,393人 参加人員:3,552人	応募者・参加者の人数	市民が文化・芸術に触れたり、参加する機会を提供し、市民文化の向上・発展を目的とする。	A	多くの市民が参加し、市民が文化・芸術に触れたり、参加する機会を提供できたため。	全市域	対象者制限なし	共催		5,884	継続		6,104	学園都市文化課 (八王子市民文化祭実行委員会)
336	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	シアターPJ演劇公演	財団のワークショップから誕生した市民劇団を支援する。	2日間で2回公演を実施し、354名の入場者があった。	応募者・参加者の人数	財団のワークショップから誕生した市民劇団を支援する。	A	公演も今回で8回目を迎え、財団から出演者に制作上のアドバイスや会場利用料の負担等の支援を行い公演の安定的実施が図られ、また入場者数も多いため。	本庁	対象者制限なし	補助		263	継続		268	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
337	3-②	活学かび充すの実機会成果の	学生芸術祭	大学団体によるコンサート を財団が支援する	学生演劇団体のリサーチ、および類似の企画を進める主催者との調整に時間がかかったため、実施を見合わせた。	参加者の満足度		D			対象者制限なし	補助		0	継続		4,584	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
338	3-②	学びの成果を充実させる	第2回青少年のための南大沢音楽祭	音楽祭の開催を通して地域の市民と共同で地域の児童・学生に日頃の音楽活動の発表の場を提供し、芸術文化を鑑賞する機会を創出する。	6つの青少対と協働で実施 出演は17団体(小中学校)で 出演者は477名、来場者は2,011名と地域に浸透した行事になってきた。	協働事業の推進	音楽祭を通して、音楽を楽しむ土壌の醸成、芸術文化を鑑賞する機会の創出による市民文化の振興、芸術を生かした地域の活性化、市民参加・協働による地域づくり、児童、学生に発表の場を提供し、芸術文化を表現することにより青少年の豊かな心の醸成などを実現する。	A	アンケート結果では、9割を超える方から高評価を得た。昨年から1青少対と6団体が増えた	由木	由木地区青少対Fブロックに属する小中学生等	指定管理者		269	継続		246	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
339	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	南大沢文化会館ロビーコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞・発表する機会を提供する	出演者には音楽の発表の場を、来館者には幅広いジャンルの音楽を身近な場所で鑑賞する機会を提供する。ビル管理会社との調整により事務所前通路を会場として確保し、目標回数を超える開催が出来るようにする。	応募者・参加者の人数	年間を通じ、様々なジャンルの音楽の発表の場と鑑賞する機会を提供する。	A	年間52回開催し幅広いジャンルの演奏の発表の場を提供した。出演者の中から厳選したアーティストに更にステップアップした発表の場(南大沢モーニングコンサート)を	由木	対象者制限なし	指定管理者		0	継続		0	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
340	3-②	活学かび充すの実機会成果の	中学校絵画展	若年層の芸術文化活動の支援を図る。	今年で6回目の絵画展で、入場者数539名、出品者数278名であった。	応募者・参加者の人数	若年層の芸術文化活動の支援を図る。	A	多くの中学生からの応募があったため。	市外	子ども	補助		210	継続		426	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
341	3-②	学びの成果を活かす機会の充実	南大沢地域音楽祭	音楽祭の開催を通して音楽活動の発表の場を提供し、芸術文化を鑑賞する機会を創出する。	芸術文化活動を行っている芸術家の支援や地域の市民に鑑賞の機会を提供する取組として実施 今回12団体が参加 クラシックやピアノ・琴の演奏パレエやかっぱれなどの踊り等多彩な催物を実施し、来館者継続し好評の声をいただいた	事業の拡大	音楽祭を通して、音楽を楽しむ土壌の醸成や芸術を生かした地域の活性化を目的に地域で活動する音楽サークル等に芸術文化を表現する場を提供する。	A	青少年以外にも音楽の裾野を広げられる音楽祭を開催し、芸術文化活動を行っている芸術家の支援や地域の市民に、鑑賞の機会を更に提供し、南大沢ミュージックウィークスを更に盛り上げたいとの理由から、地域音楽祭を実施することになった。	由木	対象者制限なし	指定管理者		165	継続		187	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
342	3-②	学び機会の成果を活かす	八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	市内高等学校吹奏楽部等の練習成果の発表会を市民を対象に実施し市民文化活動・文化交流の一助とする。	市内高等学校吹奏楽部等による市民を対象とした無料演奏会 参加学校 16校 来場者数2,300名 ※賛助出演 中学校合同バンド、清水小プラスバンド	応募者・参加者の人数	音楽教育の振興と市民文化の向上を図る。	A	平成26年度来場者2,100名→平成27年度2,300名と増加した。	本庁	なし	共催		304	継続		320	生涯学習政策課
343	3-②	学びの成果を活かす機会	第12回生涯学習フェスティバル	市民が自ら学習活動を行うきっかけづくりと、学びあう交流の場を提供する。	市民との共催で、生涯学習センターを会場とし、学習のきっかけづくり及び成果の場を提供した。来場者数：5,917人	応募者・参加者の人数	来場者数5,500人	A	来場者・応募団体が、いずれも昨年度を上回り、本事業が成果発表の場として定着し、広く市民に周知されていることが窺える。	本庁	対象者制限なし	共催		68	継続		97	生涯学習政策課
344	3-③	市民との協働による地域の活性化	消費生活に関するパネル展	消費者相談のなかで被害の多い事例や消費生活に役立つ情報を提供することにより、消費生活に関する啓発を図る。	南口総合事務所で実施。 期間：平成27年5月12日～5月28日	協働事業の推進	関係団体と連携し効果的な啓発を実施する。	A	啓発推進委員と連携し、南口総合事務所を会場として開催することにより、多くの市民に消費生活に関する情報提供することができたため。	本庁	対象者制限なし	共催		0	継続		0	消費生活センター
345	3-③	市民との協働による地域の活性化	消費生活フェスティバル	消費者が直面する諸問題について理解と認識を深める。	クリエイトホール5F(ホール、展示室)・9F(試食コーナー、料理講習室)で実施。 612名参加	協働事業の推進	関係団体と連携し、効果的な啓発を実施する。	A	関係団体と連携し、内容を充実させ、昨年度と比べ、来場者の増加に繋がった。その結果、幅広い年代の市民に対して、消費生活に関する情報を提供することができたため。	本庁	対象者制限なし	共催		115	継続		181	消費生活センター
346	3-③	域市に民活よと性的るの地協	八王子環境フェスティバル	市民への環境保全等への関心と理解を深め、その活動意欲を高める。	6月6日に開催 来場者：約55,000人	応募者・参加者の人数	来場者数の維持	A	過去最高の来場者であったため	本庁	対象者制限なし	実行委員会		800	継続		800	環境政策課 (八王子環境フェスティバル実行委員会)
347	3-③	市民との協働による地域の活性化	地区まちづくりフォーラム	「地区まちづくり推進条例」の周知及び条例の活用促進を図る。	29名が参加。3名のまちづくりアドバイザーを中心にワークショップを実施。空き家を活用したまちづくりに対する提案をいただいた。	応募者・参加者の人数	参加予定者のうち、半分程度、新規参加者の獲得増	B	参加者数や目標は達成できたが、話題性のあるテーマであったため、一部の参加者からは、もっと踏み込んだ内容の希望があった。	本庁	対象者制限なし	市単独		102	継続		87	まちなみ景觀課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
348	3-③	市民との協働による地域の活性化	都市景観セミナー	市民と行政の協働による魅力ある景観づくりを推進する。	12名が参加。景観審議会委員の田口敦子氏を講師として、重要な景観要素である屋外広告物について考えるワークショップと、参加者から講師・市への質疑応答を行い議論を深めた。	応募者・参加者の人数	参加予定者のうち、半分程度、新規参加者の獲得増	B	参加者数や目標は概ね達成できた。ワークショップと質疑応答を通して、参加者から活発な発言が得られた。また、アンケートにおいては満足との意見が多く、全体として高い評価を得た。	本庁	対象者制限なし	市単独		58	継続		47	まちなみ景観課
349	3-③	市民との協働による地域の活性化	留学生とめぐる施設見学会	公募市民対象の施設見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	市内の公共施設や大学、企業などをバスでめぐり見学する。留学生とめぐる施設見学会(1回・参加者12名)	参加者の満足度	施設見学会への満足度や市政への関心を高めること及び市民参加のきっかけ作り。留学生との交流及び多文化共生推進課の施策との連携	B	各回ともに、参加者の満足度が高く、また参加したい旨の意見が多数あった。募集定員を下回ってしまい、周知の方法などの課題が残った。	全市域	どなたでも(18歳以上)	共催		0円	検討中		管財課で計上バス借り上げ費	広聴課
350	3-③	市民との協働による地域の活性化	市史編さん室、八王子・日野カワセミ会共催「浅川の野鳥観察会」	市民との連携・協働を図りながら浅川で色とりどりの野鳥を観察し、市民に対して自然への理解を深める機会とする。【八王子・日野カワセミ会共催事業】	市史編さん室、八王子・日野カワセミ会共催「浅川の野鳥観察会」を実施。市民参加総数24名。	参加者の満足度	「満足」の声が参加者から聞けること。	A	適切な人数であったため、多くの参加者がじっくり野鳥を観察できた。合計32種の野鳥を観察することができ、参加者からも「とてもよかった」等の感想が聞かれたため。	本庁	対象者制限なし	共催		0	継続		0	市史編さん室
351	3-③	市民との協働による地域の活性化	タブレットとパソコン祭り	ボランティア団体と連携して初心者向けの講座を実施することにより、市民のICT利活用促進を図る。	11月14日クリエイトホールで「タブレットとパソコン祭り」を共催。180名参加。	応募者・参加者の人数	参加者数200人	B	情報ボランティアの会(八王子)と連携し、IT関連の各種講座の開催や実演コーナーを設置。昨年度に比べ全体の参加者数が増加した。	本庁	対象者制限なし	共催		32	継続		36	情報管理課 (ボランティア団体)
352	3-③	市民との協働による地域の活性化	交通安全市民の集い	交通安全運動の一環として開催し、交通安全思想の高揚を図るとともに、交通事故防止を図る。	秋の全国交通安全運動前の9月5日、いちょうホールで市民の集いを開催。警察、交通安全協会と連携し交通安全教室等を実施し、交通安全意識の高揚を図った。	協働事業の推進	警察署、交通安全協会と連携し、多くの市民の参加する交通安全教室を開催し、交通安全意識の高揚を図る。	B	高齢者の参加者が多く、交通事故の割合が高い年齢層を対象とした交通安全教育を実施することができた。	本庁	対象者制限なし	共催		144	継続		158	交通事業課
353	3-③	市民との協働による地域の活性化	ふれあいこどもまつり	子どもたちが芸術への理解、表現や創造の素晴らしさを実感し、文化を生み出す心と感性を育てる。	いちょうホールの各施設を使用し、全館規模で様々なイベントを通じて芸術文化の体験・参加・鑑賞の場を提供する。	応募者・参加者の人数	2,000	A	参加者約3,000人と目標を大きく上回り、多くの子どもに芸術文化の体験・参加・鑑賞の機会を提供することができた。	本庁	子どもとその保護者	実行委員会		0	継続		0	子どものしあわせ課 (学園都市文化ふれあい財団)
354	3-③	市民と地域の協働性による地域の活性化	八王子市消防団出初式	消防団員の日頃の訓練成果を披露し、消防・防災意識の高揚を図る。	表彰式典、梯子登り、一斉放水等各種演技	応募者・参加者の人数	市民が消防団活動や伝統芸能の触れることのできる場として、引き続き継続して開催していく	A	市役所前河川敷で開催し、約2000名の来場者があった。	本庁	対象者制限なし	共催		229	継続		233	防災課
355	3-③	市民と地域の協働性による地域の活性化	八王子市総合防災訓練	各機関相互の協力体制確立及び地域住民の防災対策の習慣化を図る	現地災害対策本部設置運営訓練、避難誘導訓練、救出救助訓練、緊急物資輸送訓練等	応募者・参加者の人数	各機関相互の協力体制確立及び地域住民の防災対策の習慣化を図る	A	多摩ニュータウン地域の特性を考慮した訓練を実施し、2,160名の参加があった。	由木	対象者制限なし	共催		2,011	継続		2,034	防災課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
356	3-③	市民との協働による地域の活性化	住民協議会主催講座等助成	講座の開催を助成し、コミュニティの活性化につなげる。	講座の実施 26年度12住民協議会12講座972名 27年度 6住民協議会 8講座394名	応募者・参加者の人数	講座の開催を助成し、コミュニティの活性化につなげる。	C	各住民協議会で地域に即した講座を企画していたが、参加人数が減少したため。	全市域	対象者制限なし	補助		138	継続		370	協働推進課 (各地域住民協議会)
357	3-③	市民と地域の協働性の向上	つるし雛まつり	地域住民協議会の活動を周知し、地域の活性化を目指す。	つるし雛の展示 26年度 来場者 914名 27年度 来場者 744名	応募者・参加者の人数	住民協議会の活動をPRし、より多くの市民に住民協議会の活動を広く周知する。	B	多くの市民にPRを行い、住民協議会の活動を広く周知したため。	本庁	対象者制限なし	共催		234	継続		212	協働推進課 (各地域住民協議会・学園都市文化ふれあい財団)
358	3-③	市民との協働による地域の活性化	地区図書室運営事業	地域の住民参加により、読書活動と地域住民の交流促進を目指す。	図書活動等を中心に文庫活動を行った。 26年度 延べ 65,916人の利用者 27年度 延べ 58,108人の利用者	応募者・参加者の人数	読書活動の活性化と地域住民の交流を図るため、市民参加により市民センター等17施設で地区図書室を運営し、図書の貸し出しを行う。	C	みなみ野分館の分室化と中野の改修工事により、地区図書室の利用者が減少したため。	全市域	対象者制限なし	補助		16,319	継続		16,397	協働推進課 (各地域住民協議会等)
359	3-③	市民との協働による地域の活性化	地区図書室運営研修講座	中央図書館と連携(共催)し、地区図書室の活性化を図る。	中央図書館担当職員を講師に招き本の並べ方についてをテーマに実施した。 平成26年度 23名 平成27年度 22名	スキルアップ	中央図書館担当職員を講師に招くことで連携を深めるとともに、図書部員のスキルアップを図る。	B	図書館の担当職員を講師に招くことで連携を深めるとともに、本の並べ方などをはじめ、図書部員に必要なスキルアップが図れたため。	全市域	地区図書室担当者	補助		0	継続		6	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団)
360	3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子いちよう祭り補助金	地域の発展と社会的な広がりを目指した有志市民によるまつり	「おもいやり的心 おもてなしの心 やさしい心」をテーマに実施し、522,000人の来客者を集めた。	来客者の人数	地域の発展と社会的な広がりを目指した有志市民によるまつり	A	御陵参道の交通規制を実施し、安全を確保して行事を行った。また、清掃活動には、高校・大学生がボランティアで積極的に参加しているため。	浅川	対象者制限なし	補助		6,000	継続		6,000	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・いちよう祭り祭典委員会)
361	3-③	市民との協働による地域の活性化	フラワーフェスティバル由木助成	由木地域の活性化とコミュニティづくり	南大沢周辺のゴールデンウィークの行事として定着し、119,000人の来客を集めた。	来客者の人数	由木地域の活性化とコミュニティづくり	A	由木地区の住民協議会及び町会自治会が協働し祭典を創りあげ、着実に新旧住民の交流やコミュニティの場となってきたため。	由木	対象者制限なし	補助		4,000	継続		4,000	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・フラワーフェスティバル祭典委員会)
362	3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子まつり補助金	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚	山車・神輿を中心とした、市街地での夏の祭典を行い、775,000人来場者があった。	来客者の人数	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚	A	八王子を代表する祭典として、山車や神輿を中心とした伝統祭りを実施・継承するとともに、住民の交流の場を創り出したため。また、市外からも多くの来場者があり、本市の観光PRの貢献した。	本庁	対象者制限なし	補助		39,950	継続		48,968	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・八王子まつり実行委員会)
363	3-③	市民との協働による地域の活性化	踊れ西八夏まつり助成	商店会、町会が一体となり、地域コミュニティの育成・活性化を目指す	地域コミュニティの育成と活性化を目指して実施し、48,000人の来場者があった。	来客者の人数	商店会、町会が一体となり、地域コミュニティの育成・活性化を目指す	A	商店会、町会が一体となり、地域コミュニティの育成・活性化が行われているため。	本庁	対象者制限なし	補助		1,500	継続		1,500	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・踊れ西八夏祭り実行委員会)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
364	3-③	よる民地と化域の協働性	ダンボールコンポスト講習会の開催	可燃ごみの約半分を占める生ごみの減量・資源化を図る。	家庭のベランダや軒下で手軽にできて臭いも少ないダンボールコンポストのやり方やコツを紹介する。 24回開催、述べ481名参加	応募者・参加者の人数	30回開催、450人参加	B	参加人数において当初の目標をほぼ達成できた。	全市域	対象者制限なし	市単独		2,602	継続		6,430	ごみ減量対策課
365	3-③	域働市のに民活よと性的るの化地協	みんなの川の清掃デー	清掃活動を通し美化意識の向上と地域のコミュニケーションを図る。	9月6日(日)を中心に実施 159団体8,904人参加 可燃ごみ24,250kg回収 不燃ごみ1,120kg回収	応募者・参加者の人数	150団体	A	参加団体の目標数を達成した。	全市域	対象者制限なし	補助		489 (うち補助金171)	継続		493 (うち補助金171)	ごみ減量対策課 (美しい八王子をつくる会)
366	3-③	よる民地と化域の協働性に	みんなの町の清掃デー	清掃活動を通し美化意識の向上と地域のコミュニケーションを図る。	5月31日(日)を中心に実施 238団体15,861人が参加 可燃ごみ14,550kg回収 不燃ごみ1,780kg回収	応募者・参加者の人数	230団体	A	参加団体の目標数を達成した。	全市域	対象者制限なし	補助		489 (うち補助金171)再掲	継続		493 (うち補助金171)再掲	ごみ減量対策課 (美しい八王子をつくる会)
367	3-③	に市民よる地性活化的化域の働	外国人留学生の高齢者施設訪問	外国人留学生が高齢者施設を訪問し、自国の文化を紹介しながら交流を深める。	外国人留学生が、高齢者施設を訪問し、自国の文化を紹介するなどの交流を行った。 実施日:12月17～19日 参加者:10人	応募者・参加者の人数	参加者数:10人	A	目標を達成し、参加者のアンケート満足度も高かったため。	北野	外国人留学生	市単独		3	継続		2	多文化共生推進課
368	3-③	る市民との協働による地域の活性化	海外友好交流都市の写真展	海外友好交流都市(中国泰安市、台湾高雄市、韓国始興市)を写真の展示を通じ市民に周知を図る。	韓国・始興市の写真の展示を通じて、市民に海外友好交流都市の理解を深める機会を提供した。 実施日:7月2～15日 来場者数:4,226人(H26 4036人)	応募者・参加者の人数	来場者数:4,000人	A	来場者数が目標を上回り、始興市に行ってみたなどの感想も寄せられたため。	本庁	対象者制限なし	市単独		69	継続		135	多文化共生推進課
369	3-③	市民との協働による地域の活性化	国際交流フェスティバル	国際理解を深めることを目的に、気軽な国際交流の場として、多くの方に異文化に接する機会を提供する。	八王子地域の外国人と市民の交流をととして、相互の習慣や文化の理解を深め、地域の多文化共生を図る機会を提供した。 実施日:11月8日 来場者数:1,255人(H26 1,200人)	応募者・参加者の人数	来場者数:1,200人	A	来場者数が目標を上回り、また、多くの国からボランティアスタッフが参加し、来場者に多様な文化を経験する機会を提供できたため。	本庁	対象者制限なし	実行委員会		375	継続		350	多文化共生推進課 (八王子国際協会)
370	3-③	市民との協働による地域の活性化	あったかホールまつり	あったかホールまつりに参加し見学や工場の仕組み等(廃棄物の処理)について環境教育全般(社会・自然環境)について学習機会の提供を図る。	あったかホールまつり来場者(20,036人) H26年度17,509人 14.4%増 環境ブース(かんきょうパーク)入場者数(5,409人) H26年度(5,011人)	事業の拡大	あったかホールまつりに参加し見学や工場の仕組み等(廃棄物の処理)について環境教育全般(社会・自然環境)について学習機会の提供を図る。	B	年々参加者や入場者数が増加傾向にある。また、市民との協働・連携によるまつり運営の充実が図れている。	北野	対象者制限なし	指定管理者		0	継続		0	北野清掃工場
371	3-③	市民との協働による地域の活性化	あったかホールフリーマーケット	出品物を家庭の不用品のみとすることで、市内のごみ削減を目指し、市民の自主的なリユースを推進。	屋外フリーマーケット:5回開催 屋内ファミリーフリマ:12回開催 来場者数合計17,388人	応募者・参加者の人数	市民の自主的なリユースを推進することにより、環境啓発について市民の意識や関心を高めていく。	B	指定管理者の自主事業として唯一の環境啓発事業である。モニタリング等の提案で充実を図っている。	北野	対象者制限なし	指定管理者		0	継続		0	北野清掃工場
372	3-③	る市民との協働による地域の活性化	南大沢コミュニティオペラ「愛の妙薬」公演とワークショップ	市民に身近な場所で音楽を提供し、芸術への市民参加を支援する	プロ歌手と市民合唱の共演で、衣装・メイク・記録撮影に市内大学や大学生を巻き込んだ、コミュニティオペラ。	応募者・参加者の人数	市民に身近な場所で音楽を提供し、芸術への市民参加を支援する	A	公演の集客は90%以上と高く、ワークショップも充実した内容であったため。	由木	対象者制限なし	指定管理者		9,501	継続		5,613	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
373	3-③	市民との協働による地域の活性化	大学共催事業	地域、大学と連携した芸術・文化を活用した地域の活性	市内美術大学の多摩美術大学、東京造形大学と連携した事業を各1回ずつ開催する。平成27年度は多摩美術大学と「清原啓子作品研究」事業、東京造形大学と「東京造形大学フラッグギャラリープロジェクト」事業を実施した。	協働事業の推進	市内美術大学との連携した事業の開催(計2回)。	A	市内美術大学と連携した事業の実施が計2回あったため。多摩美術大学とは美術館収蔵作品の作家についての共同研究、東京造形大学とは美術館のみならず商店街とも連携した事業として実施された点を評価する。	本庁	対象者制限なし	指定管理者		692	継続		1,613	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
374	4-①	生涯学習情報の収集	「税金の手引き」の発行	税金のしくみなどについて、市民の理解を深める。	「税金の手引き」発行部数:950部 市民配布部数:560部	本事業は、税に関する市民の理解を深めることを目的に冊子を発行しているため、具体的な数値目標はそぐわない。	税金のしくみなどについて、市民の理解を深める。	C	編集に前年度より長く期間を要したが、予定の部数を作成し、配布することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	税制課
375	4-①	生涯学習情報の収集	「市税白書」の発行	市税の状況について、市民の理解を深める。	「市税白書」発行部数:580部 市民配布部数:250部	本事業は、税に関する市民の理解を深めることを目的に冊子を発行しているため、具体的な数値目標はそぐわない。	市税の状況について、市民の理解を深める。	B	ほぼ前年度と同じ内容で計画通り作成し、配布することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	税制課
376	4-①	生涯学習情報の収集	くらしのレポート・消費生活ニュースの発行	食品の安全性や消費者問題等消費生活に関わる情報提供を定期的に行い、消費生活に関する啓発を図る。	・消費生活ニュース(毎月)各300部 ・くらしのレポート(3ヶ月毎)4、7、10、1月号各300部	協働事業の推進	市民に必要な情報を定期的に発信する。	A	定期的に消費生活に関する情報誌を提供することができたため。	全市域	対象者制限なし	共催		0	継続		0	消費生活センター
377	4-①	生涯学習情報の収集と	広報「はちおうじの教育」の発行	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	各戸配布による市教育行政情報の提供 駅や公共施設などにも配備	事業の拡大	4・7・10・1月の年4回の発行のうち、4・10月号については4ページ増とし、生涯学習スポーツ部や図書館部を含め、教育委員会全体の行政情報を掲載し、周知する。	A	予定どおり4・10月号について、4ページ増とし、生涯学習スポーツ部や図書館部を含めた行政情報を広く周知できた。	全市域	対象者制限なし	委託		3,637	継続		3,350	学校教育政策課
378	4-①	生涯学習情報の収集	市ホームページの運営	市ホームページ(PC版・モバイル版)の安定した運営を行う。	いつでもイベントの情報にアクセスできるよう市ホームページの安定した運営を行った。平成27年度は計画停止を除いて稼働率100%を達成した。	〔その他〕安定した運用	稼働率100%	A	ホームページの停止がなく、目標を達成した。	本庁	対象者制限なし	市単独		8,081	継続		37,025	情報管理課
379	4-①	生涯学習情報の収集と	電子申請システム共同運営	生涯学習関連事業として挙げられている講座の参加申込み等を行うことができる電子申請システムを共同運営により提供する。	子ども家庭支援センター、広聴課、大横保健福祉センター等の講座申込みに電子申請を活用。	応募者・参加者の人数	市民が必要とする各種申請・届出をインターネットで実現することにより、市民の利便性向上を図る。	B	子ども家庭支援センター等の講座申込み及び成人健診課の検診申込等に電子申請を活用。申請件数は、昨年度とほぼ同じであった。	全市域	対象者制限なし	市単独		2,021	継続		2,835	情報管理課
380	4-①	生涯学習情報の収集	小冊子「国民健康保険のしおり」	国民健康保険制度の趣旨を普及・啓発すること。	小冊子「国民健康保険のしおり」を作成。窓口配付。21000部作成	参加者の満足度	小冊子「国民健康保険のしおり」を21,000部作成。本庁市民課、保険年金課窓口及び各事務所にて随時配付。	B	事業目的である「国民健康保険の仕組みや保険給付内容の説明及び趣旨普及」を行うことができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		862	継続		953	保険年金課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
381	4-①	生涯学習 情報発信	ツイッター、フェイスブックによる情報発信	ツイッター、フェイスブックによる情報の提供	ツイッター、フェイスブックにより情報を発信する。	読者の満足度	SNSを活用して、より新しい情報を市民にお知らせする。	A	写真などを活用しながら、よりタイムリーな情報を発信することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		なし	継続		なし	広報課
382	4-①	生涯学習 情報発信	映像広報制作	映像による情報提供	映像により情報提供を行う。	視聴者の満足度	市内外に向けて市のPRとなる映像を制作し、発信する。	A	市の魅力をさまざまな視点から紹介する映像を制作・発信することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		5,521	継続		4,674	広報課
383	4-①	生涯学習 情報収集	広報はちおうじの発行	広報紙による情報提供	広報紙により情報提供を行う。	読者の満足度	市民にわかりやすく情報を発信するとともに、より手に取ってもらえるような広報紙を発行する。	A	より見やすい紙面づくりを心掛け、わかりやすく、効果的に情報を発信することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		45,500	継続		46,669	広報課
384	4-①	生涯学習 情報収集	くらしの便利帳	冊子及びCD、カセットテープ、デジジーによる情報の提供	冊子及びCD・カセットテープ・デジジーにより情報提供を行う。	読者の満足度	市の施設や業務、各種手続きなどの情報を提供する。	A	昨年度につづきタウンページにくらしの便利帳を掲載し、より新しい情報を提供した。	全市域	対象者制限なし	委託		1,621	継続		1,657	広報課
385	4-①	生涯学習 情報発信	八王子市の概要	冊子による情報の提供	冊子により市の情報を提供する。	読者の満足度	市勢の概況などをまとめて発行する。	A	市の概要についてより新しい情報を提供した。	全市域	対象者制限なし	市単独		なし (議会事務局で計上)	継続		なし (議会事務局で計上)	広報課
386	4-①	生涯学習 情報発信	「声の広報はちおうじ」の発行	声の広報による情報提供	音声版(CD・カセットテープ・デジジー)の広報により情報提供を行う。	読者の満足度	視覚障害のある方に向けて、音声で情報を発信する。	A	視覚障害のある方に向けて、最新の情報を発信することができた。	全市域	高齢者・障害者	市単独		1,560	継続		1,558	広報課
387	4-①	生涯学習 情報発信	「広報はちおうじ」点字版の発行	点字広報による情報提供	点字版の広報により情報提供を行う。	読者の満足度	視覚障害のある方に向けて、点字で情報を発信する。	A	視覚障害のある方に向けて、最新の情報を発信することができた。	全市域	高齢者・障害者	市単独		1,235	継続		1,929	広報課
388	4-①	生涯学習 情報収集と発信	市民センターだより発行助成	各地域住民協議会の活動を周知し、地域の活性化を目指す。	平成26年度 235, 760部 平成27年度 230, 560部	紙面の充実	各住民協議会で特色ある紙面づくりを行い、住民協議会の活動を周知する。	B	各住民協議会で特色ある紙面づくりを行い、住民協議会の活動を周知するなど、概ね期待通りの効果があったため。	全市域	対象者制限なし	委託		1,246	継続		1,360	協働推進課 (各地域住民協議会・学園都市文化ふれあい財団)
389	4-①	生涯学習 情報発信	「SUPPORT8 02」の発行	市民活動に関する情報発信を行う。	発行回数: 6回 発行部数: 30,000部 登録団体、市の施設、希望する町会・自治会などへ配布した。	参加者の満足度	市民活動支援センターのPRと活動報告を行う。	B	利用者満足度調査の結果から、概ね期待通りの効果があったと考える。	全市域	対象者制限なし	委託		指定管理料の中で実施	継続		指定管理料の中で実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
390	4-①	生涯学習 情報収集と発信	刊行物の発行	郷土資料館の調査・研究の成果を発表する。	郷土資料館の調査研究の成果を冊子としてまとめた研究紀要・資料館だよりを刊行。	刊行物発行の有無	地域の歴史資料・古文書の調査・研究を進め、研究紀要・八王子市郷土資料館だより(年2回)を発行する。	A	地域の歴史資料や古文書調査・研究の成果として研究紀要・郷土資料館だよりを発行し、郷土史の普及について寄与することができた。	本庁	対象者制限なし	市単独		393	継続		454	文化財課 (郷土資料館)

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
391	4-①	生涯学習 情報	多摩郷土誌 フェア	多摩地域の自治体と共同で、一堂に会して歴史関連図書を販売し、地域の歴史の普及に努める。	多摩地域の27市町が刊行する歴史関連図書を販売し、八王子の地域の歴史と文化を紹介する。	図書販売実績	前年度図書販売実績を上回る。	A	目標を達成し、八王子の地域の歴史と文化について紹介することができた。	本庁	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	文化財課 (郷土資料館)
392	4-①	の生涯 学習 情報	広報「ごみせ 口通信」の発 行	ごみの減量・リサイクルについて、市民に周知・意識啓発を行う。	ごみ・資源物の出し方や減量・リサイクル等に関する広報紙を年1回発行し、市の広報に折り込み、戸別配布する。 (280,750部発行)	協働事業の推進	280,000部発行	B	当初の目標どおりごみ減量・資源化の啓発を行うことができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		554	継続		630	ごみ減量対策課
393	4-①	生涯学 習情報 の収集	八王子市生涯学 習夢ネット	手軽に生涯学習情報を取得できるようにする	平成27年4月～平成28年2月までで、 情報広場アクセス件数 【講師】1,053件 【サークル】4,471件 【参考】26年度 情報広場アクセス件数 【講師】976件 【サークル】4673件	応募者・参加者の人数	手軽に生涯学習情報を取得できるようにする	B	概ね前年度水準の閲覧件数となったため。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	学習支援課
394	4-①	の生涯 学習 情報	学習情報プラ ザ	生涯学習関連情報の提供	1902件の受け入れを行った。 【参考】26年度 1,885件の受け入れ	応募者・参加者の人数	手軽に生涯学習情報を取得できるようにする	B	概ね前年度水準の受け入れ・市民への情報提供を行うことができたため。	本庁	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	学習支援課
395	4-①	の生涯 学習 情報	「八王子市図書館」(利用 案内)の発行	図書館を利用するための案内	4図書館2分室の窓口で、9,500部作成・配布した。ホームページでも同じ内容を掲載し、来館しなくても情報を得られるようにした。	応募者・参加者の人数	図書館について詳しく案内することで、図書館利用を促す。	A	大勢の人に図書館の利用方法を案内することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	中央図書館
396	4-①	の生涯 学習 情報	新着図書案内の発行	利用者に図書館の新着図書情報を提供する。	年に12回発行。市内4館2分室、16地区図書室の窓口を通じて合計3840部を配布。	参加者の満足度	利用者に図書館の新着図書情報を提供する。	A		全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	中央図書館
397	4-①	生涯学 習情報 の収集 と発信	「らいぶらり」 の発行	図書館のイベントやお知らせなどの最新情報を、図書館の窓口で、利用者に提供する。	年に4回合わせて8750部を発行し、4図書館2分室、地区図書室の窓口で配布したほか、関係団体にも配布、図書館ホームページにも掲載した(中央図書館みなみ野分室がオープンした号は通常より多めに発行している)。	応募者・参加者の人数	図書館の窓口で配布することで、図書館のイベントやお知らせなどの最新情報を利用者に提供する。	A	年4回、図書館に関する最新情報を記事にし、発行することができた。またホームページにもアップし、多くの利用者に情報を提供することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	中央図書館
398	4-①	の生涯 学習 情報	「男女共同参画センターだより」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供を行う。	「はちおうじし男女共同参画センターだより」を年3回発行した。	男女共同参画についての啓発	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供を行う。	B	広く市民に男女共同参画の情報を提供することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	男女共同参画課
399	4-①	生涯学 習情報 の収	男女共同参画情報紙「ぱ れっと」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供を行う。	男女共同参画情報紙「ぱれっと」の発行。 第36号 281,170部配布	男女共同参画についての啓発	「ぱれっと」を通して、市民に男女共同参画について啓発する。	B	男女共同参画情報紙を全戸配布し、多くの市民に男女共同参画について情報提供できた。	全市域	対象者制限なし	市単独		1,005	継続		1,096	男女共同参画課
400	4-①	生涯学 習情報 の収集 と発	外国人向け情報紙「Gin kgo」	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実をめざす。	外国人市民に必要な情報を掲載し、市内の公共施設などで配布した。 対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語 発行回数：6回(隔月偶数月) 発行部数：2,185部(3月号実績)	その他	掲載内容の充実	A	在留カードの更新、マイナンバー、子育て支援など、外国人市民にとって必要または届きにくい情報を掲載することができたため。	全市域	対象者制限なし	市単独		130	継続		270	多文化共生推進課

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合に内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
401	4-①	生涯学習情報の収集と発信	環境報告書	事業概要、環境への取り組み及び環境コミュニケーションの社会的な公表、説明責任を果たし、住民との信頼関係を築く。	環境報告書を9月1日発行。市HP上に掲載	参加者の満足度	事業概要、環境への取り組み及び環境コミュニケーションの社会的な公表、説明責任を果たし、住民との信頼関係を築く。	B	継続的に報告書を公表・公開することにより社会的説明責任を果たし、市民への信頼関係の構築、理解を得た。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	北野清掃工場
402	4-①	生涯学習情報の収集	学習支援委員	青少年から成人までを対象に、個人や団体での生涯学習活動を支援することを目的とする。	学習支援委員各人の生涯学習活動と並行して、学習支援委員全体で「しえんねっと講座」の実施、広報誌「しえんねっと」の発行を行った。	事業の拡大	学習支援委員が周知され、あらゆる場、機会に生涯学習の推進を図る。	B	しえんねっと講座では9講座148人が参加し、市民の生涯学習活動のきっかけ作りができた。	全市域	対象者制限なし	共催		2,400	継続		2,400	生涯学習政策課
403	4-①	生涯学習情報の収集と発信	八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の構築	地域情報を発信するサイトの構築	様々な地域活動に誰もが気軽に参加できる環境を整えるため、地域情報を市民活動団体等が発信できるサイトを構築した。	協働事業の推進	サイト構築及び利用開始	A	予定通り年度内に構築し、利用を開始した。	全市域	対象者制限なし	その他	構築は市で行い、管理運営(28年3月～)は、市民活動支援センター指定管理者が行う。	2,710	継続		1,469	協働推進課
404	4-①	生涯学習情報の収集	はちおうじっ子の夏休みイベント・催しいろいろイベントカレンダー	各所管においてそれぞれの告知チラシを小学校に送付し、児童に配布する煩雑さを避けるために平成23年度から生涯学習スポーツ部内の事業を集約し、平成24年度から全庁に広げたもの。	各所管で夏休み期間中に実施する小学生を対象とした事業について集約したリーフレットを作成し、各市立小学校を通じて児童(家庭数)へ配布する。	コスト削減	告知チラシの紙の削減と配付の手間を省くとともに、各所管の事業が周知されること。	A	各所管にもイベントカレンダーが認知され、掲載事業数も増加傾向にある。 ②⑩151→②⑪187	全市域	その他	その他	各掲載事業により異なる	-	継続		-	生涯学習政策課
405	4-②	相談体制の拡充	分譲マンション管理セミナー	分譲マンションの維持管理等の支援	講習と相談会 ・4月12日開催 受講人数：20名 ・10月18日開催 受講人数：26名	応募者・参加者の人数	分譲マンションの維持管理等の支援	A	セミナーを通じて、分譲マンション管理組合や居住者に対し、維持管理や建替え等の取り組みを支援することができた。	本庁	市内の分譲マンション居住者等	共催		88	継続		114	住宅政策課
406	4-②	相談体制の拡充	保健・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ、健康づくりを支援する。	面接相談 17人/年 電話相談 309件/年(成人) 電話+面接 257件/年	応募者・参加者の人数	安心して気軽になんでも相談できる機会を提供する	B	計画通り実施できた	本庁	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	大横保健福祉センター
407	4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	相談件数 50件/12回/年	参加者の満足度	身体機能の維持、運動能力の保持・増進に向けて、個々に運動や動作などの指導を行う	B	計画通り実施できた	本庁	高齢者	市単独		240	継続		240	大横保健福祉センター
408	4-②	相談体制の拡充	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ健康づくり支援をする。	348日3973人	参加者の満足度	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ健康づくり支援をする。	B	相談者の生活状況に応じた相談対応が出来、生活改善に繋がった。	浅川	対象者制限なし	市単独			継続		0	東浅川保健福祉センター
409	4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	17回97人	参加者の満足度	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	B	相談者の状況に合わせた個別対応が出来、生活改善に繋がった。	浅川	高齢者	市単独		255	継続		270	東浅川保健福祉センター
410	4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	年12回 述べ参加者 57人	参加者の満足度	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	A	参加者の満足度高くリピーターも多い。健康増進に効果があったため。	由木	高齢者	市単独		180	継続		180	南大沢保健福祉センター
411	4-②	相談体制の拡充	保健福祉・栄養・歯科相談	市民の健康の相談に応じ課題の解決・軽減への支援を行う。	299日/年 414人	応募者・参加者の人数	市民の健康の相談に応じ課題の解決・軽減への支援を行う。	A	市民の健康の相談に応じ課題の解決のためのプランについて一緒に考えた。	由木	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	南大沢保健福祉センター

A	B		C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
番号	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	平成27年度実績										平成28年度			担当課 (実施主体)
					事業の具体的な内容事業実績 (60字程度)	評価指標項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	対象者	協働 事業	【協働事業】で「その他」を選択した場合は内容を記入	決算 (千円)	今後の方向性	【今後の方向性】で「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	
412	4-②	相談体制の拡充	地域参加等支援デスク	定年を迎えた方などに、生きがいを持ちながら地域活動をしていただくため、総合的な情報提供や相談により支援を行う。	平成27年度の相談件数9件	応募者・参加者の人数	相談・問合せ件数の前年度比増。	B	ここ数年件数は低調であるが、目標としている前年度比増を達成できたため。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	協働推進課
413	4-②	相談体制の拡充	外国人のための無料専門家相談会	外国人が抱える様々な問題を、多言語で専門家と相談することで、解決の糸口を見つけられるよう支援する。	弁護士、行政書士などの専門家や市の相談員などが、多言語で外国人が抱える様々な課題の解決に向けて相談を受けた。 実施日：2月21日 相談者：24名(20組)	応募者・参加者の人数	相談者：20人	A	相談者目標を上待ったため。また、平成26年度に要望の多かった税理士を新たに相談員として加えることができたため。	本庁	対象者制限なし	委託		139	継続		131	多文化共生推進課 (八王子国際協会)
414	4-③	施設との開有効	フリースペース	空き学習室の活用と、青少年への学習スペースの提供	年間を通じて実施し、延べ8776名が利用した。 【参考】26年度9756名の参加。	応募者・参加者の人数	青少年(小・中・高・大学生等)の個人学習に無料で開放し、施設の有効活用を図る。	C	参加者数が減少したため、	全市域	子ども	市単独		0	継続		0	学習支援課
415	4-③	施設の有効活用と開	学習支援のための託児	育児中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	実施回数：322回 利用人数：1231名	乳幼児を育児中の保護者の学習機会の拡充	乳幼児を育児中の保護者の学習機会の拡充。	B	「ほっとタイムサービス」を実施し、保護者の学習・就労支援のための託児サービスを行うことができた。	本庁	保護者	市単独		5,495	継続		5,903	男女共同参画課
416	4-③	施設の有効活用と開放	八王子市立学校内開放教室の試行開放	生涯学習、地域コミュニティ活動等を行う団体に対して活動の場を提供する	市内3校(由井一小・浅川小・式分方小)の余裕教室を開放し、生涯学習活動団体等に学習の場を提供した。	参加者の満足度	生涯学習団体が利用できる場の提供を継続する。	B	平成27年度も引き続き3校の協力のもと事業を継続し、市民に生涯学習活動の場を提供することができた。	全市域	生涯学習団体等	市単独		0	継続		0	生涯学習政策課
417	4-③	施設の有効活用と開放	地区図書室・地域文庫の蔵書充実や広報支援	地区図書室や地域文庫の蔵書の充実を支援し、活動を図書館ホームページで紹介するなどの広報支援を行うことで、身近な場所での読書活動の推進を図る。	市民による地区図書室17館が運営され、読み聞かせ等の行事を実施され、地区図書室従事者を対象としてスキルアップ研修「配架の方法」を実施しました。地区図書室の蔵書を充実として、地区図書室が希望する図書を購入し配本(2,750冊)しました。また、地域文庫の広報支援として地域文庫のチラシ配布を図書館で行うなど活動を支援しました。	協働事業の推進	市民が身近な場所で読書活動ができるよう地区図書室や地域文庫の蔵書の充実を支援し、広報支援を行う。	B	平成27年度も引き続き市内各地区図書室や地域文庫の蔵書充実を支援し、市民に身近な場所での読書活動の場を提供することができた。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	中央図書館
418	4-③	施設との開有効活	地区図書室の図書館分室化	より身近な場所で読書が親しめるために、環境や状況が整った地区図書室について図書館分室化を推進する。	由井市民センターみなみ野分館に設置されている地区図書室を分室化し、平成27年10月に中央図書館みなみ野分室として開室した。	協働事業の推進	由井市民センターみなみ野分館地区図書室の図書館分室化	B	市内2か所目の分室が開室し、身近な場所での読書環境が整備された。	全市域	対象者制限なし	委託		23,543	継続		9,772	中央図書館
419	4-③	施設の開有効活用と	大学図書館の利用機会の充実	公共図書館と市内等大学図書館との連携を強化し、市民に大学図書館の利用情報を提供する。このことにより、市民の生涯学習において、普段目にすることが少ない専門書に触れる機会を提供する。	大学図書館との連携強化の一環として、市内等大学14校を訪問し、八王子市の地域資料の寄贈を申し出た上で、「八王子コーナー」の設置を提案した。	協働事業の推進	市民が身近な場所での調べ学習において、大学図書館において専門的な書籍等を利用することにより、生涯学習の一助とする。	B	市内大学図書館を直接訪問し、意見交換や情報提供を行った。	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	川口図書館
420	4-③	施設の開有効活用と	近隣自治体との図書館広域連携	近隣の8市図書館(府中市、調布市、町田市、日野市、多摩市、稲城市、あきる野市、相模原市)と相互利用協定を締結し、相互の市民が身近な場所です図書館を利用できること。	近隣市と図書館相互利用を継続し、関連市との連絡会議を開催し、意見交換を行った。貸出冊数が前年度より増加した。	応募者・参加者の人数	通勤・通学や買い物等で出かける場所で、八王子市内と同様に図書を利用できることにより、身近な場所での読書環境の整備を図る。	B	八王子市民の他市図書館利用の貸出冊数が増加した。H27:278,413冊、H26:274,286冊	全市域	対象者制限なし	市単独		0	継続		0	川口図書館